第 50 回地盤工学研究発表会

50th Japan National Conference on Geotechnical Engineering

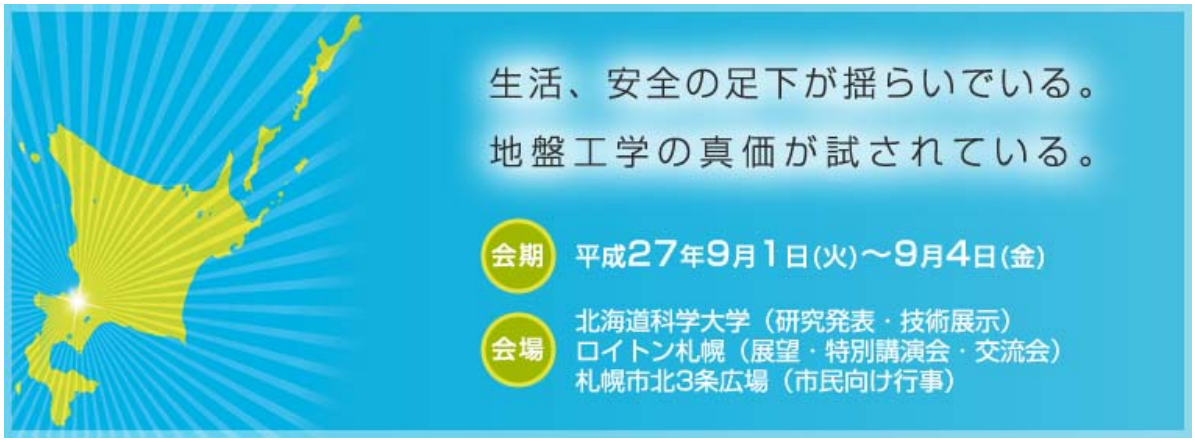
参加者のしおり

2015 年（平成 27 年）9 月　札　幌

日時：　2015 年 9 月 1 日（火）～4 日（金）（4 日（金）は見学会のみ）

会場：　北海道科学大学（研究発表会，技術展示コーナー，総合受付）
ロイトン札幌（展望，特別講演会，交流会）
札幌市北 3 条広場（市民向け行事）

1. 参加者へのお知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
2. 会場案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 6
3. 研究発表要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.12
4. 研究発表セッション一覧・プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.14
5. ディスカッションセッション（DS） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.39
6. 展望（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.41
7. 特別セッション（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.44
8. 特別講演会（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.49
9. 交流会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.51
10. 技術展示コーナー（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.53
11. 特別会員 PR コーナー（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.55
12. サロン・土・カフェW（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.58
13. 見学会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.59
14. 市民向け行事（一般開放） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.61
15. インターネット接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.62
16. 交通案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.63



第 50 回地盤工学研究発表会 実行委員会事務局
〒060-0061　札幌市中央区南 1 条西 2 丁目 南一条 K ビル 8F　公益社団法人地盤工学会 北海道支部
【事務局】電話／Fax：011-251-7038, E-mail：hjgs@olive.ocn.ne.jp
【会　場】9 月 1～3 日 大会本部(北海道科学大学)　代表電話:011-681-2161
【大会 HP】http://www.knt.co.jp/ec/2015/50jiban/

第50回地盤工学研究発表会　セッション一覧表

日時 / 会場		9月1日（火） 午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:45-12:15	午後Ⅰ 13:15-14:45	午後Ⅱ 15:00-16:30	午後Ⅲ 16:45-18:15
ロイトン札幌						
第1	北海道科学大学 G201（96名）	2 調査・分類 地質・リモートセンシング・GPS 小峯秀雄 / 早大 74～80	2 調査・分類 地盤情報データベース① 村上 哲 / 茨城大 129～136	2 調査・分類 地盤情報データベース② 藤堂博明 / 基礎地盤C 137～144	2 調査・分類 リスクマネージメント他 原 隆史 / 岐阜大 145～152	2 調査・分類 地下水調査 日比義彦 / 名城大 153～160
第2	北海道科学大学 G202（96名）	2 調査・分類 調査・試験技術 山木正彦 / 寒地土研 161～167	4 地盤挙動 凍結・凍土 小野 丘 / 北海学園大 443～449	4 地盤挙動 現地計測 上野勝利 / 徳島大 450～458	4 地盤挙動 圧密，沈下① 小島謙一 / 鉄道総研 385～391	4 地盤挙動 圧密，沈下② 片桐雅明 / 日建設計シビル 392～397
第3	北海道科学大学 G203（160名）	8 地盤環境 地盤環境調査① 保高徹生 / 産総研 1141～1147	8 地盤環境 地盤環境調査② 乾 徹 / 京大 1148～1153	8 地盤環境 土壌・地下水汚染① 稲垣由紀子 / 土研 1154～1161	8 地盤環境 土壌・地下水汚染② 肴倉宏文 / 国環研 1162～1169	8 地盤環境 廃棄物処分場① 遠藤和人 / 国環研 1170～1176
第4	北海道科学大学 G204（187名）	DS-9 各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性 座長：規矩大義（関東学院大学） 副座長：利藤朋男（応用地質） 42～52		DS-10 斜面の凍土対策工の調査・設計に関する研究 座長：小野 丘（北海学園大学） 66～73	DS-4 地盤情報データベースの整備とその利活用 座長：三村 衛（京都大学） 副座長：北田奈緒子（地域地盤環境研究所） 53～59	
第5	北海道科学大学 G205（84名）	1 一般 規格・基準，設計法① 谷 和夫 / 防災科研 26～34	1 一般 規格・基準，設計法② 曽根照人 / ニュージェック 35～41	特別セッション 地盤工学会におけるダイバーシティの実現 座長：和田里絵（応用地質） 168～176	DS-8 低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する検討 座長：西垣 誠（岡山大学） 副座長：千々松正和（安藤ハザマ）	
第6	北海道科学大学 G301（96名）	7 地盤防災 地震 一般① 稲垣秀輝 / 環境地質 869～876	7 地盤防災 地震 一般② 大竹 雄 / 新潟大 877～884	7 地盤防災 地震 斜面安定① 棗 吉弥 / 大阪大 985～991	7 地盤防災 地震 斜面安定② 石丸 真 / 電中研 992～999	7 地盤防災 地震 地盤震動① 森 伸一郎 / 愛媛大 1000～1007
第7	北海道科学大学 G303（160名）	7 地盤防災 地震 液状化① 原 忠 / 高知大 885～892	7 地盤防災 地震 液状化② 内田明彦 / 竹中工務店 893～900	7 地盤防災 地震 液状化③ 原田健二 / 不動テトラ 901～908	7 地盤防災 地震 液状化④ 高橋章浩 / 東工大 909～915	7 地盤防災 地震 液状化⑤ 永尾浩一 / 佐藤工業 916～923
第8	北海道科学大学 G304（187名）	DS-3 歴史的地盤構造物の修復と保全 座長：岩崎好規（地域地盤環境研究所） 副座長：三村 衛（京都大学） 11～21		DS-11 東日本大震災による住宅地被害からの復興 座長：安田 進（東京電機大学） 副座長：橋本隆雄（千代田コンサルタント） 855～868		特別セッション 汚染水対策・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラムの必要性 座長：東畑郁生（関東学院大学） 副座長：小峯秀雄（茨稲田大学）
第9	北海道科学大学 G306（84名）	7 地盤防災 地すべり・落石① 小山倫史 / 関西大 1083～1089	7 地盤防災 地すべり・落石② 内村太郎 / 東大 1090～1097	7 地盤防災 地すべり・落石③，その他 石澤友浩 / 防災科研 1098～1104	7 地盤防災 豪雨 斜面安定① 松木宏彰 / 復建調査設計 1025～1032	7 地盤防災 豪雨 斜面安定② 小泉圭吾 / 大阪大 1033～1040
第10	北海道科学大学 G307（84名）	7 地盤防災 平成23年台風12号に関する地盤災害報告① 三田村宗樹 / 大阪市大 1127～1133	7 地盤防災 平成23年台風12号に関する地盤災害報告② 深川良一 / 立命館大 1134～1140	7 地盤防災 地盤の安定① 橋 伸也 / 埼玉大 1105～1111	7 地盤防災 地盤の安定② 後藤 聡 / 山梨大 1112～1118	7 地盤防災 地盤の安定③ 宮武裕昭 / 土研 1119～1126
第11	北海道科学大学 G308（84名）	3 地盤材料 軟岩・硬岩① 清木隆文 / 宇都宮大 247～254	3 地盤材料 軟岩・硬岩② 岡田哲実 / 電中研 255～259	3 地盤材料 特殊土① 林 宏親 / 寒地土研 373～378	3 地盤材料 特殊土② 鳥居 宣之 / 神戸高専 379～384	DS-1 地盤工学会における基準の国際化対応 座長：今村 聡（大成建設） 副座長：浅田素之（清水建設） 22～25
第12	北海道科学大学 G棟4F G401（96名）	3 地盤材料 改良土・軽量土① 赤木寛一 / 早大 295～301	3 地盤材料 改良土・軽量土② 熊谷隆宏 / 五洋建設 302～308	3 地盤材料 改良土・軽量土③ 並河 努 / 芝浦工大 309～315	3 地盤材料 改良土・軽量土④ 鍋島康之 / 明石高専 316～322	3 地盤材料 改良土・軽量土⑤ 笠間清伸 / 九大 323～330
第13	北海道科学大学 G402（96名）	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土① 石原雅規 / 土研 545～551	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土② 横田聖哉 / ネクスコ総研 552～558	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土③ 豊田浩史 / 長岡技科大 559～565	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土④ 石川達也 / 北大 566～573	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑤ 佐々木哲也 / 土研 574～579
第14	北海道科学大学 G403（84名）	6 地盤と構造物 トンネル）① 砂金伸治 / 土研 765～771	6 地盤と構造物 トンネル② 津野 究 / 鉄道総研 772～779	6 地盤と構造物 トンネル③ 吉川直孝 / 安衛研 780～787	6 地盤と構造物 トンネル④ 土門 剛 / 首都大 788～795	6 地盤と構造物 トンネル⑤，シールド 小西真治 / 東京メトロ 796～803
第15	北海道科学大学 G404（84名）	6 地盤と構造物 補強土① 桑野二郎 / 埼玉大 813～821	6 地盤と構造物 補強土② 平川大貴 / 中央大 822～829	6 地盤と構造物 補強土③ 河村 隆 / 信州大 830～837	6 地盤と構造物 補強土④ 篠田昌弘 / 鉄道総研 838～845	6 地盤と構造物 ダム・堰防① 小高猛司 / 名城大 493～499
第16	北海道科学大学 G406（84名）	6 地盤と構造物 杭基礎② 関口 徹 / 千葉大 645～652	6 地盤と構造物 杭基礎③ 濱田純次 / 竹中工務店 653～660	6 地盤と構造物 杭基礎④ 冨澤幸一 / 寒地土研 661～668	6 地盤と構造物 杭基礎⑤ 三辻和弥 / 山形大 669～675	6 地盤と構造物 杭基礎⑥ 鈴木比呂子 / 千葉工大 676～682
第17	北海道科学大学 G407（84名）	6 地盤と構造物 杭基礎⑨ 渡邊 徹 / 大成建設 697～703	6 地盤と構造物 杭基礎⑩ 松本樹典 / 金沢大 704～711	6 地盤と構造物 杭基礎⑪ 水谷崇亮 / 港空研 712～718	6 地盤と構造物 基礎一般① 眞野英之 / 清水建設 612～619	6 地盤と構造物 直接基礎 西岡英俊 / 鉄道総研 629～636
北海道科学大学 体育館		技術展示				
札幌市北3条広場（アカプラ）		市民向け展示（防災体験等）				

日時 / 会場		9月2日（水） 午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:45-12:15	午後Ⅰ 13:15-14:45	午後Ⅱ 15:00-16:30	午後Ⅲ 16:45-18:15
ロイトン札幌				14:20～17:40 展望・特別講演会		18:00～20:00 交流会
第1	北海道科学大学 G201（96名）	2 調査・分類 サウンディング・物理探査① 利藤朋男 / 応用地質 81～88	2 調査・分類 サウンディング・物理探査② 山中 稔 / 香川大 89～96			
第2	北海道科学大学 G202（96名）	4 地盤挙動 圧密，沈下③ 田代むつみ / 名大 398～404	4 地盤挙動 切土・掘削，地盤改良① 小竹 望 / 香川高専 405～412			
第3	北海道科学大学 G203（160名）	8 地盤環境 廃棄物処分場② 隅倉光博 / 清水建設 1177～1183	8 地盤環境 廃棄物処分場③ 渡邊保貴 / 電中研 1184～1190			
第4	北海道科学大学 G204（187名）	特別セッション 道路保全地盤技術向上に資する調査・研究 成果報告会 座長：総務部長	特別セッション 学会賞表彰賞審議課 座長：表彰委員会委員長			
第5	北海道科学大学 G205（84名）	DS-2 地盤材料試験の技能評価と精度・ばらつきの実態 座長：日置和昭（大阪工業大学） 副座長：澤 孝平（関西地盤環境研究センター） 1～10				
第6	北海道科学大学 G301（96名）	7 地盤防災 地震 地盤震動② 野津 厚 / 港空研 1008～1016	5 地盤中の物質移動 地下水移動，移流拡散 椋木俊文 / 熊本大 459～467			
第7	北海道科学大学 G303（160名）	7 地盤防災 地震 液状化⑥ 西村 聡 / 北大 924～931	7 地盤防災 地震 液状化⑦ 珠玖隆行 / 岡山大 932～939			
第8	北海道科学大学 G304（187名）	DS-5 多発する地盤災害に挑む時間・空間のマルチスケール解析・実験技術 座長：中田幸男（山口大学） 副座長：森口周二（東北大学） 846～854	特別セッション 断層の問題 ～地盤工学は何ができるのか～ 座長：國生剛治（中央大学名誉教授） 副座長：大塚康範（応用地質）			
第9	北海道科学大学 G306（84名）	7 地盤防災 豪雨 斜面安定③ 荒木功平 / 山梨大 1041～1047	7 地盤防災 豪雨 斜面安定④ 外狩麻子 / 鉄道総研 1048～1054			
第10	北海道科学大学 G307（84名）	DS-6 最近のエネルギー事情と岩盤工学 座長：鈴木健一郎（大林組） 副座長：小早川博亮（電力中央研究所） 60～65				
第11	北海道科学大学 G308（84名）	3 地盤材料 中間土① 杉本知史 / 長崎大 207～214	3 地盤材料 中間土② 西尾伸也 / 日大 215～222			
第12	北海道科学大学 G棟4F G401（96名）	3 地盤材料 改良土・軽量土⑥ 大野進太郎 / 鹿島建設 331～338	3 地盤材料 改良土・軽量土⑦ 原 弘行 / 山口大 339～346			
第13	北海道科学大学 G402（96名）	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑥ 廣岡明彦 / 九州工大 580～587	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑦ 峯岸邦夫 / 日大 588～595			
第14	北海道科学大学 G403（84名）	6 地盤と構造物 ケーソン基礎，杭基礎① 本多 剛 / 竹中工務店 637～644	6 地盤と構造物 擁壁 藤田智弘 / 土研 727～735			
第15	北海道科学大学 G404（84名）	6 地盤と構造物 ダム・堰防② 谷本俊輔 / 土研 500～506	6 地盤と構造物 ダム・堰防③ 常田賢一 / 大阪大 507～514			
第16	北海道科学大学 G406（84名）	6 地盤と構造物 杭基礎⑦ 下村修一 / 日大 683～689	6 地盤と構造物 杭基礎⑧ 竹村次朗 / 東工大 690～696			
第17	北海道科学大学 G407（84名）	6 地盤と構造物 基礎一般② 長尾俊昌 / 大成建設 620～628	6 地盤と構造物 埋設管 桑野玲子 / 東大 804～812			
北海道科学大学 体育館		技術展示				
札幌市北3条広場（アカプラ）		市民向け展示（防災体験等）				

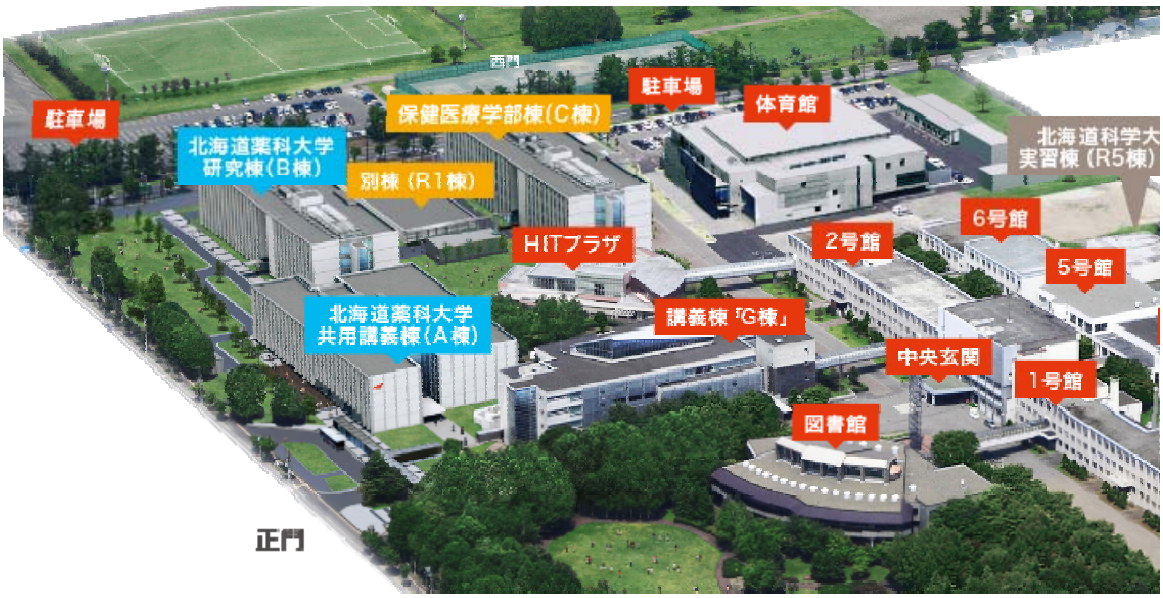
日時 / 会場		9月3日（木） 午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:45-12:15	午後Ⅰ 13:15-14:45	午後Ⅱ 15:00-16:30
ロイトン札幌					
第1	北海道科学大学 G201（96名）	2 調査・分類 サウンディング・物理探査③ 神宮司元治 / 産総研 97～104	2 調査・分類 サウンディング・物理探査④ 高原利幸 / 金沢大 105～112	2 調査・分類 サウンディング・物理探査⑤ 澤田俊一 / 応用地質 113～120	2 調査・分類 サウンディング・物理探査⑥ 田中 剛 / 東京都市大 121～128
第2	北海道科学大学 G202（96名）	4 地盤挙動 地盤改良② 佐藤 毅 / アサノ大成基礎エンジニアリング 413～420	4 地盤挙動 地盤改良③ 森川嘉之 / 港空研 421～428	4 地盤挙動 地盤改良④ 大石幹太 / 日建設計シビル 429～435	4 地盤挙動 地盤改良⑤ 北詰 昌樹 / 東工大 436～442
第3	北海道科学大学 G203（160名）	8 地盤環境 自然環境 佐藤研一 / 福岡大 1191～1195	8 地盤環境 リサイクル材 末次大輔 / 佐賀大 1196～1202	8 地盤環境 生態系・緑被化，他 畠 俊郎 / 富山県立大 1208～1214	8 地盤環境 地盤膨軟 伊藤和也 / 東京都市大 1203～1207
第4	北海道科学大学 G204（187名）				
第5	北海道科学大学 G205（84名）				
第6	北海道科学大学 G301（96名）	5 地盤中の物質移動 地盤浸透① 進士喜英 / 日本原燃 468～472	5 地盤中の物質移動 地盤浸透② 森 友宏 / 前橋工科大 473～477	5 地盤中の物質移動 地盤浸透③ 前田健一 / 名工大 478～484	5 地盤中の物質移動 地盤浸透④，浸食 野々山栄人 / 防衛大 485～492
第7	北海道科学大学 G303（160名）	7 地盤防災 地震 液状化⑧ 小濱英司 / 港空研 940～947	7 地盤防災 地震 液状化⑨ 高野大樹 / 港空研 948～955	7 地盤防災 地震 液状化⑩ 満岡良介 / 徳島大 956～962	7 地盤防災 地震 液状化⑪ 竹内秀克 / 不動テトラ 963～970
第8	北海道科学大学 G304（187名）	7 地盤防災 地震 液状化⑫ 兵動太一 / 東京理科大 971～977	7 地盤防災 地震 液状化⑬ 仙頭紀明 / 日大 978～984	7 地盤防災 地震 その他 中澤博志 / 防災科研 1017～1024	
第9	北海道科学大学 G306（84名）	7 地盤防災 豪雨，その他 酒匂一成 / 鹿児島大 1075～1082	7 地盤防災 豪雨 斜面安定⑤ 酒井直樹 / 防災科研 1055～1061	7 地盤防災 豪雨 斜面安定⑥ 阪口和之 / アジア航測 1062～1067	7 地盤防災 豪雨 斜面安定⑦ 川村志麻 / 室蘭工大 1068～1074
第10	北海道科学大学 G307（84名）	3 地盤材料 砂質土① 片岡沙都紀 / 神戸大 223～230	3 地盤材料 砂質土② 河井克之 / 近大 231～238	3 地盤材料 砂質土③ 海野寿康 / 宇都宮大 239～246	
第11	北海道科学大学 G308（84名）	3 地盤材料 不飽和土① 杉井俊夫 / 中部大 347～353	3 地盤材料 不飽和土② 肥後陽介 / 京大 354～359	3 地盤材料 不飽和土③ 向後雄二 / 東京農工大 360～365	3 地盤材料 不飽和土④ 山田正太郎 / 名大 366～372
第12	北海道科学大学 G棟4F G401（96名）	3 地盤材料 リサイクル材料① 吉本憲正 / 山口大 260～266	3 地盤材料 リサイクル材料② 松尾雄治 / 九州産業大 267～272	3 地盤材料 リサイクル材料③ 藤川拓朗 / 福岡大 273～279	
第13	北海道科学大学 G402（96名）	6 地盤と構造物 路盤，路床① 木幡行宏 / 室蘭工大 596～600	6 地盤と構造物 路盤，路床② 吉田信之 / 神戸大 601～605	6 地盤と構造物 土構造物，他 早野公敏 / 横浜国大 606～611	6 地盤と構造物 グラウンドアンカー 山本 彰 / 大林組 719～726
第14	北海道科学大学 G403（84名）	6 地盤と構造物 土留め・山留め① 渡邊康司 / 大林組 736～743	6 地盤と構造物 土留め・山留め② 石井武司 / 中央大 744～752	6 地盤と構造物 岸壁・護岸① 飛田哲男 / 京大 753～758	6 地盤と構造物 岸壁・護岸② 樋口俊一 / 大林組 759～764
第15	北海道科学大学 G404（84名）	6 地盤と構造物 ダム・堰防④ 岡村未対 / 愛媛大 515～522	6 地盤と構造物 ダム・堰防⑤ 野田利弘 / 名大 523～530	6 地盤と構造物 ダム・堰防⑥ 李 圭太 / 建設技研 531～537	6 地盤と構造物 ダム・堰防⑦ 森口周二 / 東北大 538～544
第16	北海道科学大学 G406（84名）	3 地盤材料 粘性土① 川口貴之 / 北見工大 177～184	3 地盤材料 粘性土② 荻野俊寛 / 秋田大 185～192	3 地盤材料 粘性土③ 大向直樹 / 応用地質 193～199	3 地盤材料 粘性土④ 金田一広 / 竹中工務店 200～206
第17	北海道科学大学 G407（84名）	3 地盤材料 補強材・排水材① 宮田喜壽 / 防衛大 280～287	3 地盤材料 補強材・排水材② 金子賢治 / 八戸工大 288～294		
北海道科学大学 体育館		技術展示			
札幌市北3条広場（アカプラ）		市民向け展示（防災体験等）			

◎ 特別講演会・展望　9月2日（水）　ロイトン札幌　ロイトンホールAB
◎ 交流会　9月2日（水）　ロイトン札幌　ロイトンホールCD
◎ 技術展示コーナー　9月1日（火）～9月3日（木）
◎ 見学会　9月2日（水），9月4日（金）
◎ 市民向け展示コーナー　9月1日（火）～9月3日（木）

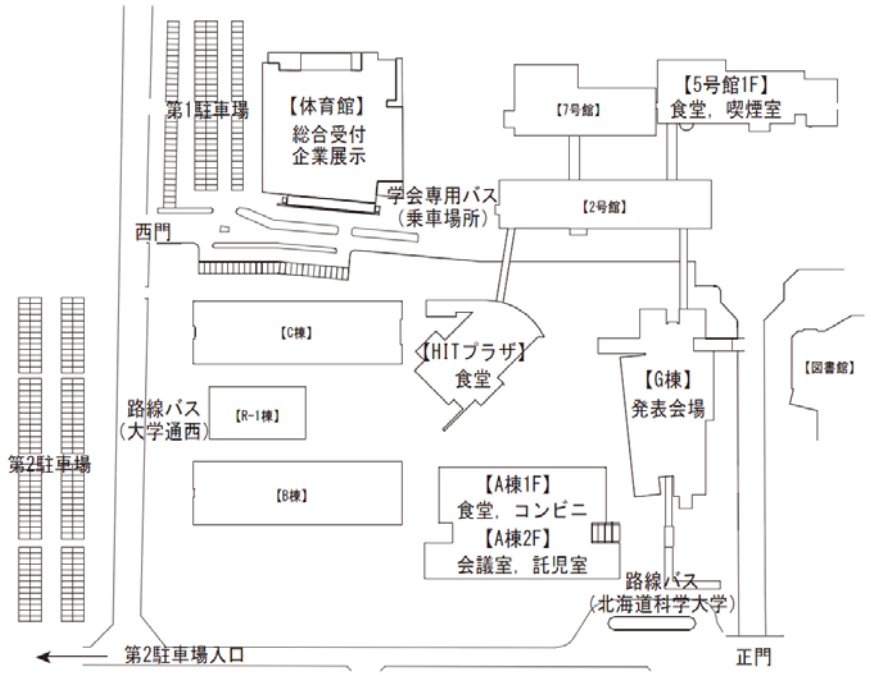
研究発表会会場 全体案内図

各会場の詳細は**「2.会場案内」**（☞ pp.6）を，各会場へのアクセスは**「16.交通案内」**（☞ pp.63）をご覧下さい。

総合受付は北海道科学大学体育館（受付：8 時 15 分～）に，発表受付は各会場前（受付：8 時 30 分～）に設置しています。



北海道科学大学　会場鳥瞰図



北海道科学大学　会場平面図

- タクシー（手稲駅北口まで 900 円程度）　北海道科学大学　正門前または西門前とお伝えください。
  安全タクシー（011-666-6000），札幌団地タクシー（011-661-5656），東邦交通（011-662-1040）

1. 参加者へのお知らせ

発表者申込みまたは事前参加申込み（5 月末日まで）がお済みでない方は，「総合受付」（北海道科学大学体育館 ☞ pp.7）で，当日参加申込みの手続きをして下さい。その際，下表に示す参加料のお支払いをお願いします。

総合受付は，9 月 1 日から 3 日の間，8 時 15 分から業務を開始します（業務終了は各日とも北海道科学大学での最終セッション終了時）。

発表者以外の参加料（DVD 版講演集含む）

	会員		非会員	
	正会員・国際会員	学生会員	一般	学生
大会期間中の参加申込み	13,000 円	7,000 円	18,000 円	10,000 円
参考 : 事前申込み（5 月末日まで）	10,000 円	4,000 円	15,000 円	8,000 円

※ プレミアム会員（タイプⅠ）特典，特別会員特典につきましては，総合受付にてお問合せ下さい。

本研究発表会のお世話をします係員は「ＳＴＡＦＦ」と入ったネームプレートをつけていますので，不明な点はお尋ね下さい。「参加者のしおり」は総合受付で配布します。

各行事の参加受付に関するご案内

- 参加者全員

  会場内では必ず参加票（名札）をお付け下さい。但し，一般開放行事（☞ 本しおり表紙を参照）は参加申込み不要で，無料で自由に入場できます。

- 座長・副座長

  担当するセッションの開始 10 分前までに，各会場の「発表受付」（G 棟 ☞ pp.8）に会場到着の旨をお申し出下さい。

- 口頭発表者

  発表するセッション前に，各会場の「発表受付」（G 棟 ☞ pp. 8）に設置された受付用パソコンに発表用ファイルをコピーし，各自で動作確認をして下さい（セッション開始 10 分前までに完了して下さい）。詳細は**「3. 研究発表要領」**（☞ pp.12）をご覧下さい。

- 交流会参加者

  事前申込み（7 月 31 日まで）をされている方は，事前に交流会参加票と領収書をお送りしております。

  入場の際は交流会参加票をネームホルダーに入れて入口係員にご提示下さい。

  事前申込みをされていない方は，総合受付（体育館 ☞ pp.7，交流会当日は 12 時まで），または交流会会場（ロイトン札幌 3F ロイトンホール）の会場受付（☞ pp.10，当日 14 時より受付開始）で，参加のお申込みを受付けております。

交流会参加票を領収書とともにお渡ししますので，会費を現金にてお支払い願います。

入場の際は交流会参加票をネームプレートに入れて入口係員にご提示下さい。ただし，定員に達した場合は，当日のお申し込みをお断りすることがあります。

交流会に関する詳細は**「12. 交流会」**（☞ pp.51）をご覧下さい。

交流会の会費

	一 般	学 生
大会期間中の参加申込み	7,000 円	2,000 円
参考:事前申込み(7 月 31 日まで)	6,000 円	－

- 見学会参加者

事前申込み（7 月 31 日まで）をされている方は，見学会当日の集合時刻・場所などの詳細案内について**「13. 見学会」**（☞ pp.59）をご覧下さい。なお，受付けはすでに締め切っております。

各行事のご案内

- 研究発表

セッション一覧ならびに研究発表プログラムは**「4. 研究発表一覧・プログラム」**（☞ pp.14）にございます。各発表会場の場所は，**「2. 会場案内」**（☞ pp.6）をご参照下さい。研究発表要領については，**「3. 研究発表要領」**（☞ pp.12）をご覧下さい。

- ディスカッションセッション（DS）

全 10 テーマのディスカッションセッション（DS）を開催します。テーマ一覧・日時・場所等については，**「5. ディスカッションセッション」**（☞ pp.39 ）をご覧下さい。

- 展望（一般開放）

9 月 2 日（水）14:20～16:10（13:30 受付開始），ロイトン札幌 3F ロイトンホール（☞ pp.10）において，以下の二つの講演が行われます。詳細は**「6. 展望」**（☞ pp. 41 ）をご覧下さい。なお，ロイトン札幌への無料直行バスを運行いたします（☞ pp. 64 ）。

○ 「積雪寒冷地における地盤工学の歩みと展望」
　講師：土木研究所 理事 寒地土木研究所長 池田 憲二 氏

○「地下の可視化推進と地質情報利活用に向けた産総研の研究戦略」
　講師:産業技術総合研究所 理事 佃 栄吉 氏 （地質分野研究統括地質調査総合センター代表）

- 特別セッション（一般開放）

次の 5 セッションを開催します。

○ 9 月 1 日（火）13:15～14:45，第 5 会場（G 棟 ☞ pp. 8）
「地盤工学会におけるダイバーシティの実現」
　詳細は**「7.特別セッション」**（☞ pp. 44）をご覧下さい。

○ 9月1日（火）16:45~18:15，第8会場（G棟 ☞ pp.8）
「汚染水対策・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラムの必要性」
詳細は**「7.特別セッション」**（☞ pp.45）をご覧下さい。

○ 9月2日（水）10:45~12:15，第8会場（G棟 ☞ pp.8）
「断層の問題 ～地盤工学は何ができるのか～」
詳細は**「7.特別セッション」**（☞ pp.46）をご覧下さい。

○ 9月2日（水）9:00~10:30，第4会場（G棟 ☞ pp.8）
「道路保全地盤技術向上に資する調査・研究 成果報告会」
詳細は**「7.特別セッション」**（☞ pp. 47）をご覧下さい。

○ 9月2日（水）10:45~12:15，第4会場（G棟 ☞ pp.8）
「学会賞受賞者講演」
詳細は**「7.特別セッション」**（☞ pp. 48）をご覧下さい。

- 特別講演会（一般開放）

9月2日（水）16:30～17:40，ロイトン札幌3Fロイトンホール（☞ pp.10）において，特別講演「北前船の軌跡がつなぐ 海の道の未来」（講師：明楽 みゆき 氏 チェンバロ奏者，現代版北前船プロジェクト 代表）が行なわれます。事前申込みは不要，参加無料です。詳細は**「8. 特別講演会」**（☞ pp. 49）をご覧下さい。

- 交流会

9月2日（水）18:00～20:00（14:00受付開始）に，ロイトン札幌3Fロイトンホール（☞ pp.10）において，地盤技術者や研究者の懇親を目的とした交流会を開催します。お誘い合わせの上，ご参加ください。事前申込みされていない方でも，大会期間中または交流会当日に参加お申し込み頂けます（ただし，定員に達した場合はお断りすることがあります）。詳細は**「9. 交流会」**（☞ pp.51）をご覧下さい。

- 技術展示コーナー（一般開放）

技術展示コーナー（体育館 ☞ pp.7）では，新しい施工法，材料，調査法，試験法，設計法，解析法や防災，環境保全に関して，出展者59(53ブース)による技術展示を行っております。同会場内には，特別会員PRコーナー，スタンプラリー，無料ドリンクコーナー，休憩・商談スペース，G-CPD登録機が併設され，ちょっとした打ち合せや休息にもご利用いただけます。展示技術一覧などの詳細については，**「10. 技術展示コーナー」**（☞ pp. 53）をご覧下さい。

- 特別会員PRコーナー

地盤工学会特別会員の紹介パンフレット・資料を展示する「特別会員PRコーナー」を設置しております（体育館 ☞ pp. 7）。 本コーナーとともに，会場には技術展示コーナー，無料ドリンクコーナー，休憩･商談スペース，G-CPD登録機が併設されています。詳細は**「11. 特別会員PRコーナー」**（☞ pp.55）をご覧下さい。

- サロン・土・カフェW

  9月1日（火）15:00～16:30，北海道科学大学　G棟2階　オープンスペース（G棟 ☞ pp. 8）において，地盤工学に関わる女性同士の懇親会を開催します。会員以外の方や男性の方もぜひご参加ください。場所・参加費用などの詳細は**「12. サロン・土・カフェW」**（☞ pp. 58）をご覧下さい。

- 見学会

  9月2日（水）および4日（金）に，2コースの見学会を開催します。見学会は事前申し込み制で，受付はすでに締め切っております。各コースの集合時刻・場所，見学会行程などの詳細案内は**「13. 見学会」**（☞ pp. 59）をご覧下さい。

  半日コース　「LNG基地見学ツアーとLNG火力発電所の建設現場見学コース」

  　　9月2日（水）　集合時刻：12:45　　集合場所：北海道科学大学体育館入口

  1日コース　「小樽・余市 土木と歴史浪漫コース」

  　　9月4日（金）　集合時刻：8:15　　集合場所：札幌駅北口　鐘の広場

- 市民参加行事（一般開放）

  多くの方に参加いただき，地盤工学や防災についての知識を深めていただく機会となるよう，以下の市民参加行事を企画しています。事前申込みは不要，参加無料です。開催時間帯や行事の内容についての詳細は**「14. 市民参加行事」**（☞ pp. 61）をご覧下さい。

  ○ 「暮らしに役立つ防災への備え！ ～自然災害は突然に！普段から防災への心構え～」

  　　9月1日（火）～3日（木），札幌市北3条広場（アカプラ）（☞ pp. 11）

その他のご案内

- 書籍販売

  学会刊行物の書籍販売コーナーを「総合受付」付近（体育館 ☞ pp. 7）に設けております。

- G-CPD登録

  G-CPDポイントは，研究発表会の各日，展望，こども地盤学会，特別講演会および見学会にそれぞれに対し，それぞれ以下のように設定しております。

  　　研究発表会　1日目：7.5，　2日目3.0，　3日目6.0

  　　展望：2.0，特別講演会：1.5

  　　見学会　LNG基地見学ツアーとLNG火力発電所の建設現場見学コース：3.0

  　　　　小樽・余市 土木と歴史浪漫コース：4.0

  カードリーダーは，「総合受付」付近（体育館 ☞ pp.7），及び大会本部G206（G棟 ☞ pp. 8）に設置しておりますのでご利用下さい。

- 弁当

  本大会では，例年行っているお弁当の事前申し込みを行いません。会場内には学生食堂およびコンビニ（☞ 巻頭の全体案内図）があります。なお，夏季休業期間中のため，14：00 までの営業となります。また，会場付近にも食事場所がありますので，総合受付でお尋ねください。

- ドリンクコーナー，休憩スペース

  技術展示コーナー（体育館 ☞ pp. 7）において無料ドリンクサービスを行っております。休憩スペースも併設しており，打ち合せや休息・昼食の場としてもご利用いただけます。

- 手荷物のお預かり（クローク）

  遠方から参加され直接会場入りされる方，研究会終了後に会場から直接駅や空港へ向かわれる方の手荷物をお預かりする場所を，体育館（☞ pp.7）に用意しております。預かり時間は，9/1（火）8:15～18:30，9/2（水）8:15～13:00，9/3（木）8:15～17:00 となります。

- インターネット接続

  北海道科学大学内では，インターネットの利用が可能です（☞ pp.62）。希望者には総合受付（体育館 ☞ pp.7）にて利用のための ID とパスワードを配布いたします。なお，研究発表会場内での接続は，机上のポートを介した有線接続になりますので，各自で LAN ケーブル（1m 程度）をご準備ください。それ以外の場所では，無線 LAN の利用が可能です。

- 託児施設

  託児施設のご利用は，大会ホームページでの事前申込み制（8 月 14 日まで）となっております。ご利用は事前に申し込みを承った分のみとさせて頂きますのでご了承ください。

- 会場内のご案内

  会場内でご不明な点がございましたら，最寄りの係員，または総合受付（体育館 ☞ pp. 7）にお尋ね下さい。本研究発表会のお世話をします係員は「ＳＴＡＦＦ」と入ったネームプレートをつけています。

- 会場内禁煙

  研究発表会会場（北海道科学大学）では，敷地内は喫煙室を除き禁煙となっております。

  喫煙室　北海道科学大学 5 号館 1F（☞ 巻頭の全体案内図）

- 大会期間中の連絡先

  大会期間中の万一の事故などの際の緊急時連絡は，最寄りの係員にお申し出いただくか，総合受付（体育館 ☞ pp. 7）または大会本部 G206（G 棟 ☞ pp. 8）へご連絡下さい（9 月 1 日（火）～3 日（木））。

  電話による連絡は，地盤工学会北海道支部　TEL/FAX 011-251-7038 までお願い致します。

2. 会場案内

会場一覧を以下に示します。各会場への交通アクセスは，**「16. 交通案内」**（☞ pp.63 ）をご参照下さい。また，会場間の位置関係は，巻頭の「研究発表会会場 全体案内図」をご覧ください。

研究発表会 会場一覧

施設・会場				会場利用		
				セッション会場	その他会場	備考
北海道科学大学	G棟	2F	G201	第1会場		
			G202	第2会場		
			G203	第3会場		
			G204	第4会場		
			G205	第5会場		
			G206		大会本部	
			G207		大会本部控室	
			G209		休憩室兼予備室	プロジェクター故障時の代替え室
			G204横		サロン・土・カフェW	オープンスペース
		3F	G301	第6会場		
			G303	第7会場		
			G304	第8会場		
			G306	第9会場		
			G307	第10会場		
			G308	第11会場		
			G309		休憩室	
		4F	G401	第12会場		
			G402	第13会場		
			G403	第14会場		
			G404	第15会場		
			G406	第16会場		
			G407	第17会場		
	A棟	2F	A203		会議室1	本部委員会等
			A204		会議室2	本部委員会等
			A205		会議室3	本部委員会等
	体育館	1F	メインアリーナ		総合受付 特別会員PRコーナー 技術展示コーナー	書籍販売コーナー 物産販売コーナー 無料ドリンクコーナー 休憩コーナー
			サブアリーナ		クローク	
ロイトン札幌		3F	ロイトンホール		展望・特別講演 交流会	
札幌市北3条広場（アカプラ）					市民向け行事	防災体験等

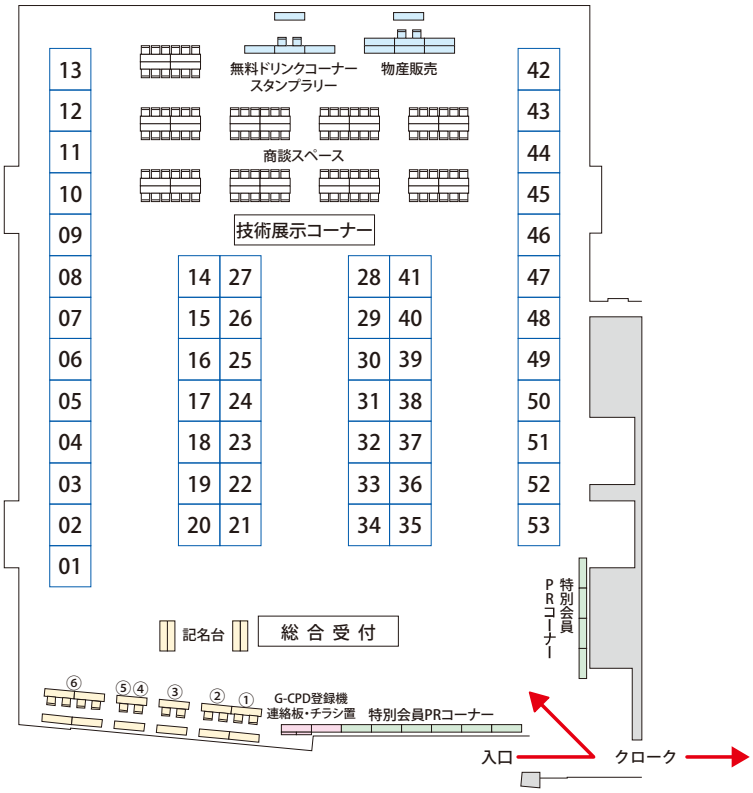
次ページからの各会場位置図を参照下さい。

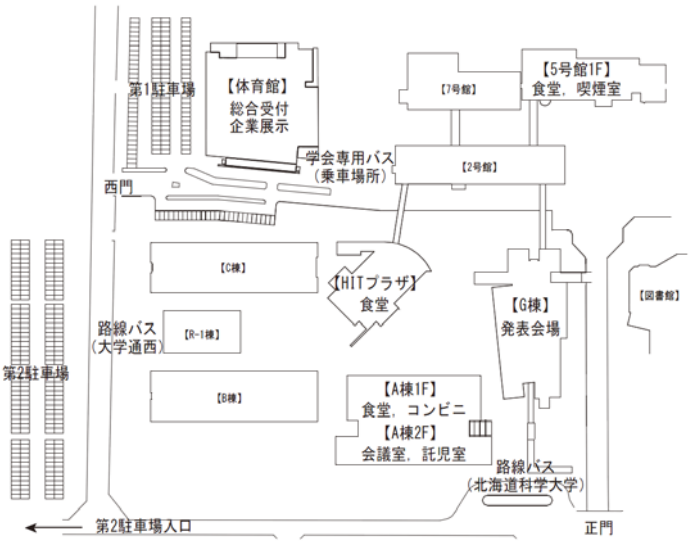
各会場配置図

[北海道科学大学]　〒006-8585　札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1
Tel (代)011-681-2161

総合受付，企業展示，G-CPD 登録機，特別会員 PR コーナー，ドリンクコーナー，クローク

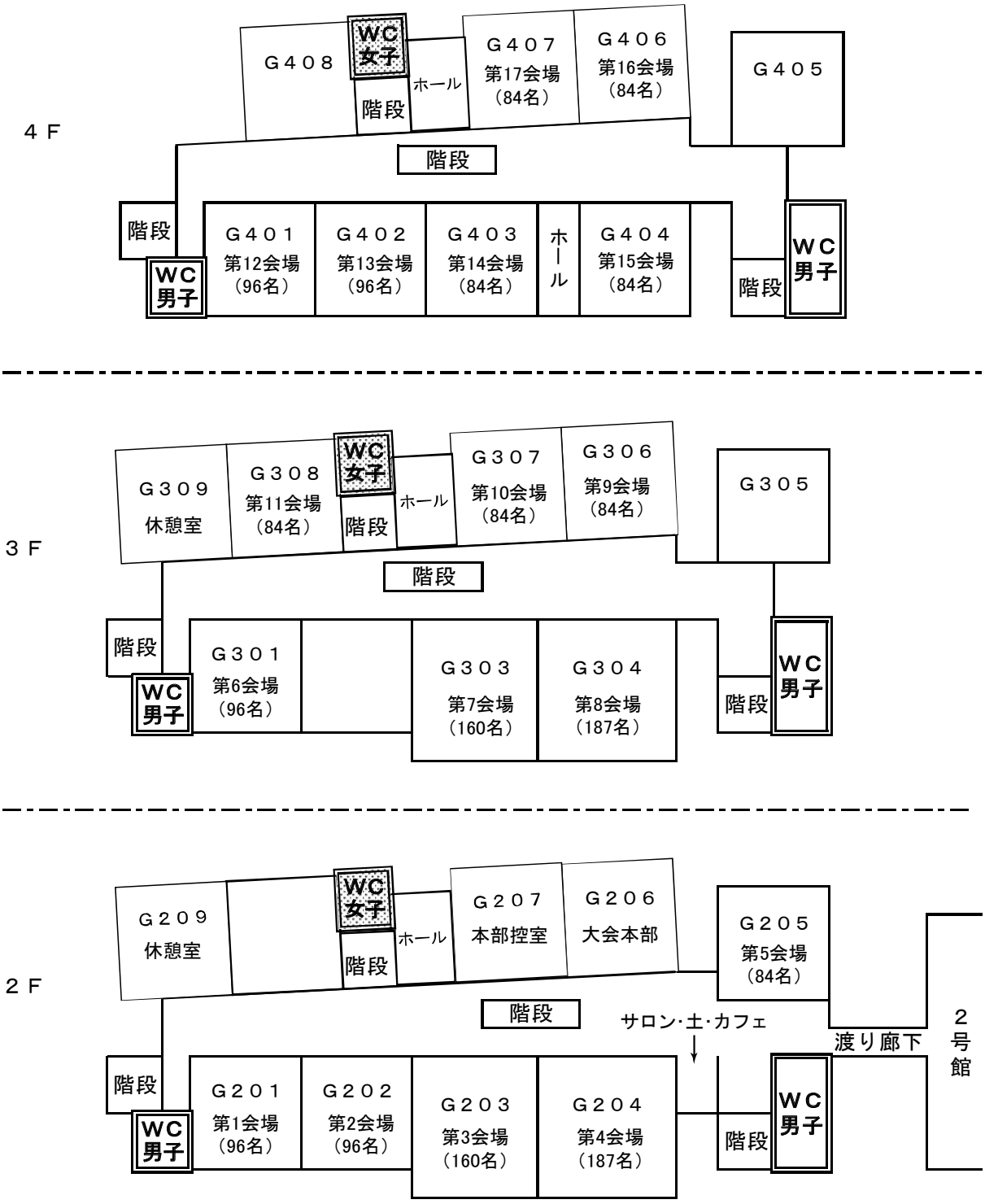
体育館（メインアリーナ，サブアリーナ）





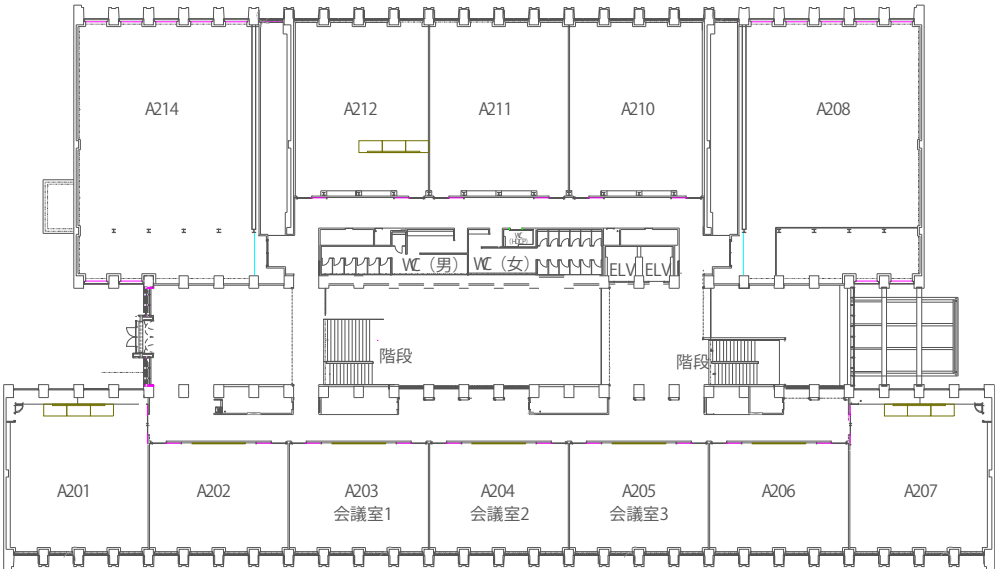
研究発表会場，大会本部，サロン・土・カフェ W

Ｇ棟　2F～4F



会議室

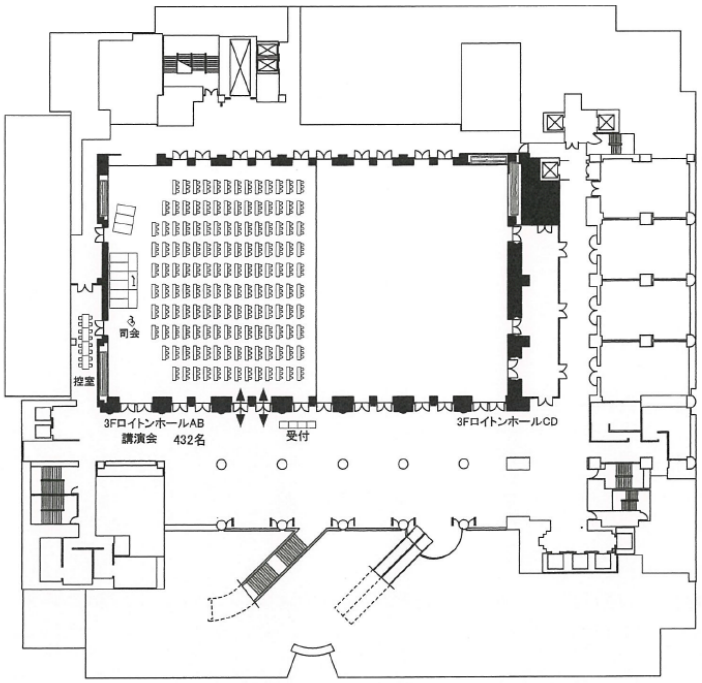
A棟　2F

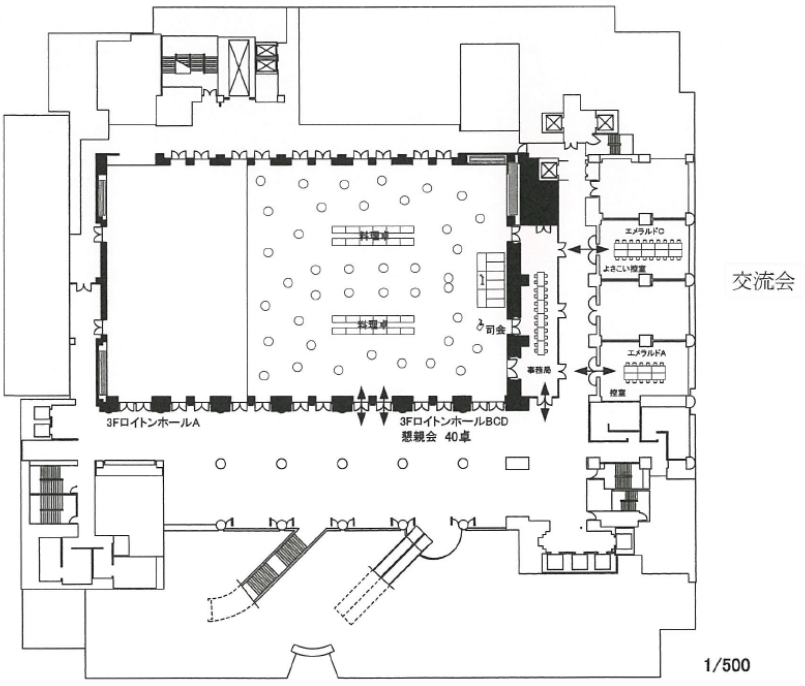

A214
A212
A211
A210
A208
WC（男）
WC（女）
ELV
ELV
階段
階段
A201
A202
A203
会議室1
A204
会議室2
A205
会議室3
A206
A207

[ロイトン札幌] 〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11 丁目
Tel 011-271-2711 Fax 011-207-3344

展望，特別講演会，交流会

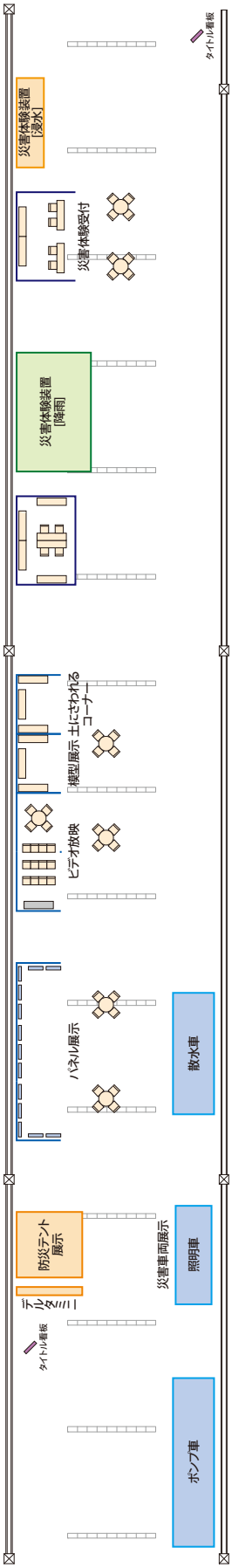
3F ロイトンホール





［札幌市北３条広場（アカプラ）］〒060-0003 札幌市中央区北３条西３丁目

市民向け行事



3. 研究発表要領

発表用ファイルの作成

- 発表形式はパソコンを用いたプロジェクタ方式です。OHP やスライドは使用できませんのでご注意下さい。発表にあたっては，会場に備え付けの発表用ノートパソコンを使用することを原則とします。
- 発表用ファイル作成においては，Windows の標準フォント（MS ゴシックや MS 明朝等）をご利用ください。それ以外のフォントをご使用の場合は，正しく表示されない場合があります。
- 発表用パソコンおよび受付用パソコンの基本仕様は以下のとおりです。
  OS：Microsoft Windows 7
  使用できるアプリケーション：Microsoft PowerPoint 2010， Adobe Reader X
- 発表用ファイル名は，論文番号と発表者名を用いて以下のように付けて下さい。
  例） 論文番号 58，発表者名が地盤太郎の場合 → 「0058_地盤太郎.ppt」
- 発表者は，発表用ファイルを記憶メディア（主として USB メモリ）に保存し，自分が発表するセッション会場の「発表受付」（2.会場案内 ☞ pp. 8）にご持参ください。
- SD カード，CD-R，DVD-R などの媒体の場合は別途ドライブをご準備ください．尚，動作保証はいたしかねます．

発表者受付，発表ファイルのコピー，動作確認

- **「発表受付」**に受付用パソコンを設置しています。発表するセッションの前に，セッション会場の受付用パソコンに発表用ファイルをコピーし，各自で動作確認をして下さい（セッション開始 10 分前までに完了して下さい）。
- 各日とも 8 時 30 分から発表者受付を開始しますが，11 時までは当日午前中のセッションでの発表者受付を優先します。午後のセッションの発表者受付は 11 時以降にお願いします。
- 発表時のトラブルを回避するために，発表者は発表用ファイルをコピーする際に，受付用パソコンで正常に表示・動作するかを確認して下さい（受付用パソコンは発表用パソコンと同じ仕様です）。
- 発表用パソコンでの動画再生は，リンク設定を含めて動作保証は致しかねます。動画ファイルを使用される場合は，受付時に受付用パソコンで動作確認をしていただくか，発表者自身でパソコンをご持参し，それを用いて発表して下さい。後者の場合，モニタケーブルの差し替えも含めて発表時間内にお済ませください。
- USB メモリ等経由のウイルス感染がないよう，主催者側でもウイルス対策を行っておりますが，発表者各位におかれましても十分注意をお願いします。
- 受付用パソコンにコピーした発表用ファイルを，セッション開始前に会場スタッフがまとめてセッション会場の発表用パソコンにコピーします。
- 発表会終了後に，発表用ファイルは主催者側で削除します。

セッションの進行方法，発表時間

- 一般発表での発表時間は 1 編あたり 7 分を基本とします。報告数の多いセッション，少ないセッションや，特別セッション，ディスカッションセッションについては，発表時間および討論の形式は座長に一任しています。
- 発表者は会場の前方にご着席下さい。
- 発表はプログラム記載の順序で行い，割り当ての時間よりも早く終わったり，発表者が遅刻したりしても，発表時間は変更しません。また，パソコン操作や接続切り替え等に要する時間も発表時間に含まれます。
- 発表中のベル合図は，発表 6 分経過後（1 鈴）と 7 分経過後（2 鈴）に行います。2 鈴が鳴ったら，直ちに発表を終了して下さい。
- 主催者側では，発表中のパソコン操作の補助者は用意しておりません。発表者各自でパソコン操作を行って下さい。なお，発表者用にレーザーポインターを用意しております。

優秀論文・講演賞

- 申込み時に 35 才以下の若手研究者奨励のため，優秀論文・講演賞を設けています。選出は各セッション座長の推薦に基づき，表彰者には賞状を授与するとともに，地盤工学会誌に受賞者氏名を掲載します。
- 実りのある議論を期待するため，優秀論文・講演賞に関する評価対象は，
  ① 論文と発表内容，発表方法
  ② 各質疑における初回の回答

  のみとし，その後の共同研究者からの補足や議論については，評価対象とはいたしません。これは，評価を気にされて，補足説明がないまま無難な討議に始終したり，質問者も受賞対象者に遠慮されて，議論が未消化のまま終わってしまうことがある，といったご意見を受け変更したものです。連名者も含め，セッション参加者全員での自由闊達な討議をお願いいたします。

4. 研究発表セッション一覧・プログラム

9月1日（火）

日時 / 会場		9月1日（火）				
		午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:45-12:15	午後Ⅰ 13:15-14:45	午後Ⅱ 15:00-16:30	午後Ⅲ 16:45-18:15
ロイトン札幌						
第1	北海道科学大学 G201 （96名）	2 調査・分類 地質・リモートセンシング・GPS 小峯秀雄　早大 74～80	2 調査・分類 地盤情報データベース① 村上 哲　茨城大 129～136	2 調査・分類 地盤情報データベース② 藤堂博明　基礎地盤C 137～144	2 調査・分類 リスクマネージメント他 原 隆史　岐阜大 145～152	2 調査・分類 地下水調査 日比義彦　名城大 153～160
第2	北海道科学大学 G202 （96名）	2 調査・分類 調査・試験技術 山木正彦　寒地土研 161～167	4 地盤挙動 凍結・凍土 小野 丘　北海学園大 443～449	4 地盤挙動 現地計測 上野勝利　徳島大 450～458	4 地盤挙動 圧密, 沈下① 小島謙一　鉄道総研 385～391	4 地盤挙動 圧密, 沈下② 片桐雅明　日建設計シビル 392～397
第3	北海道科学大学 G203 （160名）	8 地盤環境 地盤環境調査① 保高徹生　産総研 1141～1147	8 地盤環境 地盤環境調査② 乾 徹　京大 1148～1153	8 地盤環境 土壌・地下水汚染① 稲垣由紀子　土研 1154～1161	8 地盤環境 土壌・地下水汚染② 肴倉宏文　国環研 1162～1169	8 地盤環境 廃棄物処分場① 遠藤和人　国環研 1170～1176
第4	北海道科学大学 G204 （187名）	DS-9 各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性 座長：規矩大義（関東学院大学） 副座長：利藤房男（応用地質） 42～52		DS-10 斜面の凍上対策工の調査・設計に関する研究 座長：小野 丘（北海学園大学） 66～73	DS-4 地盤情報データベースの整備とその利活用 座長：三村 衛（京都大学） 副座長：北田奈緒子（地域地盤環境研究所） 53～59	
第5	北海道科学大学 G205 （84名）	1 一般 規格・基準, 設計法① 谷 和夫　防災科研 26～34	1 一般 規格・基準, 設計法② 曽根照人　ニュージェック 35～41	特別セッション 地盤工学会におけるダイバーシティの実現 座長：和田里絵（応用地質）	DS-8 低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する検討 座長：西垣 誠（岡山大学） 副座長：千々松正和（安藤ハザマ） 168～176	
第6	北海道科学大学 G301 （96名）	7 地盤防災 地震 一般① 稲垣秀輝　環境地質 869～876	7 地盤防災 地震 一般② 大竹 雄　新潟大 877～884	7 地盤防災 地震 斜面安定① 秦 吉弥　大阪大 985～991	7 地盤防災 地震 斜面安定② 石丸 真　電中研 992～999	7 地盤防災 地震 地盤震動① 森 伸一郎　愛媛大 1000～1007
第7	北海道科学大学 G303 （160名）	7 地盤防災 地震 液状化① 原 忠　高知大 885～892	7 地盤防災 地震 液状化② 内田明彦　竹中工務店 893～900	7 地盤防災 地震 液状化③ 原田健二　不動テトラ 901～908	7 地盤防災 地震 液状化④ 高橋章浩　東工大 909～915	7 地盤防災 地震 液状化⑤ 永尾浩一　佐藤工業 916～923
第8	北海道科学大学 G304 （187名）	DS-3 歴史的地盤構造物の修復と保全 座長：岩崎好規（地域地盤環境研究所） 副座長：三村 衛（京都大学） 11～21		DS-11 東日本大震災による住宅地被害からの復興 座長：安田 進（東京電機大学） 副座長：橋本隆雄（千代田コンサルタント） 855～868		特別セッション 汚染水対策・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラムの必要性 座長：東畑郁生（関東学院大学） 副座長：小峯秀雄（早稲田大学）
第9	北海道科学大学 G306 （84名）	7 地盤防災 地すべり・落石① 小山倫史　関西大 1083～1089	7 地盤防災 地すべり・落石② 内村太郎　東大 1090～1097	7 地盤防災 地すべり・落石③, その他 石澤友浩　防災科研 1098～1104	7 地盤防災 豪雨 斜面安定① 松木宏彰　復建調査設計 1025～1032	7 地盤防災 豪雨 斜面安定② 小泉圭吾　大阪大 1033～1040
第10	北海道科学大学 G307 （84名）	7 地盤防災 平成23年台風12号に関する地盤災害報告① 三田村宗樹　大阪市大 1127～1133	7 地盤防災 平成23年台風12号に関する地盤災害報告② 深川良一　立命館大 1134～1140	7 地盤防災 地盤の安定① 橘 伸也　埼玉大 1105～1111	7 地盤防災 地盤の安定② 後藤 聡　山梨大 1112～1118	7 地盤防災 地盤の安定③ 宮武裕昭　土研 1119～1126
第11	北海道科学大学 G308 （84名）	3 地盤材料 軟岩・硬岩① 清木隆文　宇都宮大 247～254	3 地盤材料 軟岩・硬岩② 岡田哲実　電中研 255～259	3 地盤材料 特殊土① 林 宏親　寒地土研 373～378	3 地盤材料 特殊土② 鳥居 宣之　神戸高専 379～384	DS-1 地盤工学会における基準の国際化対応 座長：今村 聡（大成建設） 副座長：浅田素之（清水建設） 22～25
第12	北海道科学大学 G棟4F G401 （96名）	3 地盤材料 改良土・軽量土① 赤木寛一　早大 295～301	3 地盤材料 改良土・軽量土② 熊谷隆宏　五洋建設 302～308	3 地盤材料 改良土・軽量土③ 並河 努　芝浦工大 309～315	3 地盤材料 改良土・軽量土④ 鍋島康之　明石高専 316～322	3 地盤材料 改良土・軽量土⑤ 笠間清伸　九大 323～330
第13	北海道科学大学 G402 （96名）	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土① 石原雅規　土研 545～551	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土② 横田聖哉　ネクスコ総研 552～558	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土③ 豊田浩史　長岡技科大 559～565	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土④ 石川達也　北大 566～573	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑤ 佐々木哲也　土研 574～579
第14	北海道科学大学 G403 （84名）	6 地盤と構造物 トンネル）① 砂金伸治　土研 765～771	6 地盤と構造物 トンネル② 津野 究　鉄道総研 772～779	6 地盤と構造物 トンネル③ 吉川直孝　安衛研 780～787	6 地盤と構造物 トンネル④ 土門 剛　首都大 788～795	6 地盤と構造物 トンネル⑤, シールド 小西真治　東京メトロ 796～803
第15	北海道科学大学 G404 （84名）	6 地盤と構造物 補強土① 桑野二郎　埼玉大 813～821	6 地盤と構造物 補強土② 平川大貴　中央大 822～829	6 地盤と構造物 補強土③ 河村 隆　信州大 830～837	6 地盤と構造物 補強土④ 篠田昌弘　鉄道総研 838～845	6 地盤と構造物 ダム・堤防① 小高猛司　名城大 493～499
第16	北海道科学大学 G406 （84名）	6 地盤と構造物 杭基礎② 関口 徹　千葉大 645～652	6 地盤と構造物 杭基礎③ 濱田純次　竹中工務店 653～660	6 地盤と構造物 杭基礎④ 冨澤幸一　寒地土研 661～668	6 地盤と構造物 杭基礎⑤ 三辻和弥　山形大 669～675	6 地盤と構造物 杭基礎⑥ 鈴木比呂子　千葉工大 676～682
第17	北海道科学大学 G407 （84名）	6 地盤と構造物 杭基礎⑨ 渡邊 徹　大成建設 697～703	6 地盤と構造物 杭基礎⑩ 松本樹典　金沢大 704～711	6 地盤と構造物 杭基礎⑪ 水谷崇亮　港空研 712～718	6 地盤と構造物 基礎一般① 眞野英之　清水建設 612～619	6 地盤と構造物 直接基礎 西岡英俊　鉄道総研 629～636
北海道科学大学 体育館		技術展示				
札幌市北3条広場 （アカプラ）		市民向け展示（防災体験等）				

第50回地盤工学研究発表会　参加者のしおり

９月２日（水）

日時 / 会場		9月2日（水）				
		午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ	午後Ⅲ
		9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30	16:45-18:15
ロイトン札幌				14:20～17:40 **展望・特別講演会**		18:00～20:00 **交流会**
第1	北海道科学大学 G201 （96名）	2 調査・分類 サウンディング・物理探査① 利藤房男　応用地質 81～88	2 調査・分類 サウンディング・物理探査② 山中　稔　香川大 89～96			
第2	北海道科学大学 G202 （96名）	4 地盤挙動 圧密，沈下③ 田代むつみ　名大 398～404	4 地盤挙動 切土・掘削，地盤改良① 小竹　望　香川高専 405～412			
第3	北海道科学大学 G203 （160名）	8 地盤環境 廃棄物処分場② 隅倉光博　清水建設 1177～1183	8 地盤環境 廃棄物処分場③ 渡邊保貴　電中研 1184～1190			
第4	北海道科学大学 G204 （187名）	特別セッション　道路保全地盤技術向上に資する調査・研究 成果報告会 座長：総務部長	特別セッション 学会賞表受賞者講演 座長：表彰委員会委員長			
第5	北海道科学大学 G205 （84名）	DS-2　地盤材料試験の技能評価と精度・ばらつきの実態 座長：日置和昭（大阪工業大学） 副座長：澤　孝平（関西地盤環境研究センター） 1～10				
第6	北海道科学大学 G301 （96名）	7 地盤防災 地震　地盤震動② 野津　厚　港空研 1008～1016	5 地盤中の物質移動 地下水移動，移流拡散 椋木俊文　熊本大 459～467			
第7	北海道科学大学 G303 （160名）	7 地盤防災 地震　液状化⑥ 西村　聡　北大 924～931	7 地盤防災 地震　液状化⑦ 珠玖隆行　岡山大 932～939			
第8	北海道科学大学 G304 （187名）	DS-5　多発する地盤災害に挑む時間・空間のマルチスケール解析・実験技術 座長：中田幸男（山口大学） 副座長：森口周二（東北大学） 846～854	特別セッション　断層の問題　～地盤工学は何ができるのか～ 座長：國生剛治（中央大学名誉教授） 副座長：大塚康範（応用地質）			
第9	北海道科学大学 G306 （84名）	7 地盤防災 豪雨　斜面安定③ 荒木功平　山梨大 1041～1047	7 地盤防災 豪雨　斜面安定④ 外狩麻子　鉄道総研 1048～1054			
第10	北海道科学大学 G307 （84名）	DS-6　最近のエネルギー事情と岩盤工学 座長：鈴木健一郎（大林組） 副座長：小早川博亮（電力中央研究所） 60～65				
第11	北海道科学大学 G308 （84名）	**3 地盤材料** 中間土① 杉本知史　長崎大 207～214	**3 地盤材料** 中間土② 西尾伸也　日大 215～222			
第12	北海道科学大学 G棟4F G401 （96名）	**3 地盤材料** 改良土・軽量土⑥ 大野進太郎　鹿島建設 331～338	**3 地盤材料** 改良土・軽量土⑦ 原　弘行　山口大 339～346			
第13	北海道科学大学 G402 （96名）	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑥ 廣岡明彦　九州工大 580～587	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑦ 峯岸邦夫　日大 588～595			
第14	北海道科学大学 G403 （84名）	6 地盤と構造物 ケーソン基礎，杭基礎① 本多　剛　竹中工務店 637～644	6 地盤と構造物 擁壁 藤田智弘　土研 727～735			
第15	北海道科学大学 G404 （84名）	6 地盤と構造物 ダム・堤防② 谷本俊輔　土研 500～506	6 地盤と構造物 ダム・堤防③ 常田賢一　大阪大 507～514			
第16	北海道科学大学 G406 （84名）	6 地盤と構造物 杭基礎⑦ 下村修一　日大 683～689	6 地盤と構造物 杭基礎⑧ 竹村次朗　東工大 690～696			
第17	北海道科学大学 G407 （84名）	6 地盤と構造物 基礎一般② 長尾俊昌　大成建設 620～628	6 地盤と構造物 埋設管 桑野玲子　東大 804～812			
北海道科学大学 体育館		**技術展示**				
札幌市北3条広場 （アカプラ）		**市民向け展示（防災体験等）**				

第50回地盤工学研究発表会　参加者のしおり

９月３日（木）

日時 / 会場		9月3日（木）			
		午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ
		9:00-10:30	10:45-12:15	13:15-14:45	15:00-16:30
ロイトン札幌					
第1	北海道科学大学 G201 (96名)	2 調査・分類	2 調査・分類	2 調査・分類	2 調査・分類
		サウンディング・物理探査③	サウンディング・物理探査④	サウンディング・物理探査⑤	サウンディング・物理探査⑥
		神宮 司元治 / 産総研	高原利幸 / 金沢大	澤田俊一 / 応用地質	田中 剛 / 東京都市大
		97～104	105～112	113～120	121～128
第2	北海道科学大学 G202 (96名)	4 地盤挙動	4 地盤挙動	4 地盤挙動	4 地盤挙動
		地盤改良②	地盤改良③	地盤改良④	地盤改良⑤
		佐藤 毅 / アサノ大成基礎エンジニアリング	森川嘉之 / 港空研	大石幹太 / 日建設計シビル	北詰 昌樹 / 東工大
		413～420	421～428	429～435	436～442
第3	北海道科学大学 G203 (160名)	8 地盤環境	8 地盤環境	8 地盤環境	8 地盤環境
		自然環境	リサイクル材	生態系・温暖化，他	地盤震動
		佐藤研一 / 福岡大	末次大輔 / 佐賀大	畠 俊郎 / 富山県立大	伊藤和也 / 東京都市大
		1191～1195	1196～1202	1208～1214	1203～1207
第4	北海道科学大学 G204 (187名)				
第5	北海道科学大学 G205 (84名)				
第6	北海道科学大学 G301 (96名)	5 地盤中の物質移動	5 地盤中の物質移動	5 地盤中の物質移動	5 地盤中の物質移動
		地盤浸透①	地盤浸透②	地盤浸透③	地盤浸透④，浸食
		進士喜英 / 日本原燃	森 友宏 / 前橋工科大	前田健一 / 名工大	野々山栄人 / 防衛大
		468～472	473～477	478～484	485～492
第7	北海道科学大学 G303 (160名)	7 地盤防災	7 地盤防災	7 地盤防災	7 地盤防災
		地震 液状化⑧	地震 液状化⑨	地震 液状化⑩	地震 液状化⑪
		小濱英司 / 港空研	高野大樹 / 港空研	渦岡良介 / 徳島大	竹内秀克 / 不動テトラ
		940～947	948～955	956～962	963～970
第8	北海道科学大学 G304 (187名)	7 地盤防災	7 地盤防災	7 地盤防災	
		地震 液状化⑫	地震 液状化⑬	地震 その他	
		兵動太一 / 東京理科大	仙頭紀明 / 日大	中澤博志 / 防災科研	
		971～977	978～984	1017～1024	
第9	北海道科学大学 G306 (84名)	7 地盤防災	7 地盤防災	7 地盤防災	7 地盤防災
		豪雨，その他	豪雨 斜面安定⑤	豪雨 斜面安定⑥	豪雨 斜面安定⑦
		酒匂一成 / 鹿児島大	酒井直樹 / 防災科研	阪口和之 / アジア航測	川村志麻 / 室蘭工大
		1075～1082	1055～1061	1062～1067	1068～1074
第10	北海道科学大学 G307 (84名)	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	
		砂質土①	砂質土②	砂質土③	
		片岡沙都紀 / 神戸大	河井克之 / 近大	海野寿康 / 宇都宮大	
		223～230	231～238	239～246	
第11	北海道科学大学 G308 (84名)	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**
		不飽和土①	不飽和土②	不飽和土③	不飽和土④
		杉井俊夫 / 中部大	肥後陽介 / 京大	向後雄二 / 東京農工大	山田正太郎 / 名大
		347～353	354～359	360～365	366～372
第12	北海道科学大学 G棟4F G401 (96名)	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	
		リサイクル材料①	リサイクル材料②	リサイクル材料③	
		吉本憲正 / 山口大	松尾雄治 / 九州産業大	藤川拓朗 / 福岡大	
		260～266	267～272	273～279	
第13	北海道科学大学 G402 (96名)	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物
		路盤，路床①	路盤，路床②	土構造物，他	グラウンドアンカー
		木幡行宏 / 室蘭工大	吉田信之 / 神戸大	早野公敏 / 横浜国大	山本 彰 / 大林組
		596～600	601～605	606～611	719～726
第14	北海道科学大学 G403 (84名)	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物
		土留め・山留め①	土留め・山留め②	岸壁・護岸①	岸壁・護岸②
		渡邉康司 / 大林組	石井武司 / 中央大	飛田哲男 / 京大	樋口俊一 / 大林組
		736～743	744～752	753～758	759～764
第15	北海道科学大学 G404 (84名)	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物	6 地盤と構造物
		ダム・堤防④	ダム・堤防⑤	ダム・堤防⑥	ダム・堤防⑦
		岡村未対 / 愛媛大	野田利弘 / 名大	李 圭太 / 建設技研	森口周二 / 東北大
		515～522	523～530	531～537	538～544
第16	北海道科学大学 G406 (84名)	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**
		粘性土①	粘性土②	粘性土③	粘性土④
		川口貴之 / 北見工大	荻野俊寛 / 秋田大	大向直樹 / 応用地質	金田一広 / 竹中工務店
		177～184	185～192	193～199	200～206
第17	北海道科学大学 G407 (84名)	**3 地盤材料**	**3 地盤材料**		
		補強材・排水材①	補強材・排水材②		
		宮田喜壽 / 防衛大	金子賢治 / 八戸工大		
		280～287	288～294		
北海道科学大学 体育館		**技術展示**			
札幌市北3条広場 (アカプラ)		**市民向け展示（防災体験等）**			

第 50 回地盤工学研究発表会プログラム

第 1 会場～第 17 会場： 北海道科学大学

・一般セッションの発表時間は 1 人約 7 分です。
・口頭発表者は最初に記載しました。
・紙面の都合上，共著者の所属は省略しました。
・所属は申し込み時のものです。
・本データは発表申込み時に申込者によってご入力いただいたデータを基に構成しております。

●９月１日（火）　午前（I）の部　第１会場
【調査・分類ー地質・リモートセンシング・GPS】
9:00 ～ 10:30
座　長：小峯　秀雄（早稲田大学）

74 徳島市海岸部における単粒構造の沖積粘性土層の特性
平塚智幸（基礎地盤コンサルタンツ）・島田徹也・八尋拓也・砂川伸雄

75 最終処分場の第四紀断層調査について
大野博之（環境地質）・小坂英輝・稲垣秀輝

76 橋梁支持基盤調査における地形と地質分布の事例ー丘陵・沖積低地境界における
高木俊男（復建調査設計）

77 地盤の圧縮性調査のための孔内球状載荷試験の開発
杉浦陽子（東京都市大）・末政直晃

78 岩盤地すべり地における難移動成分を用いた変質岩の区分
鈴木　聡（奥山ボーリング）・石山大三・鈴木真悟

79 ケーブルレスの GNSS モニタリングシステムの開発
武智国加（古野電気）・宮原一典・山田　宏・望月勝紀

80 斜面災害発生時の迅速対応に向けた試み
山村　充（国土防災技術）・内山庄一郎・熊井直也・山崎　勉

●９月１日（火）　午前（II）の部　第１会場
【調査・分類ー地盤情報データベース①】　10:45 ～ 12:15
座　長：村上　哲（茨城大学）

129 摩擦音による土質判別機能を付加したスウェーデン式サウンディング試験に関する研究ーフィールド地盤の土質判別例ー
酒匂敦明（日大）・下村修一

130 地盤情報データベースを利用した近江盆地における土質特性と地域性
春日井麻里（地域地盤環境研究所）・三村　衛・大島昭彦・藤原照幸・濱田晃之

131 地盤情報データベースを利用した近江盆地の広域的な液状化危険度評価
濱田晃之（地域地盤環境研究所）・三村　衛・大島昭彦・藤原照幸・春日井麻里

132 大阪・神戸地域の上部洪積層（Dg1，Ma12）の 250m メッシュモデルによる分布性状
堤　杏紗（大阪市大）・新井　瞬・大島昭彦・濱田晃之・春日井麻里・近藤隆義

133 大阪地域の洪積粘土 Ma12 層の 250m メッシュモデルによる土質特性の分布
新井　瞬（大阪市大）・堤　杏紗・大島昭彦・濱田晃之・春日井麻里・近藤隆義

134 全国電子地盤図の地盤モデル作成手順再考　ー モデルの品質統一化をめざして
藤堂博明（基礎地盤コンサルタンツ）

135 全国電子地盤図を用いた出雲平野の表層地盤特性
河原荘一郎（松江高専）・今津杏菜

136 千葉市沿岸平野域のボーリングデータに基づく高精度浅部地盤モデル
木村克己（防災科学技術研究所）・大井昌弘・花島裕樹・落合　努

●９月１日（火）　午後（I）の部　第１会場
【調査・分類ー地盤情報データベース②】　13:15 ～ 14:45
座　長：藤堂　博明（基礎地盤コンサルタンツ）

137 常時微動観測と地盤情報データベースによる基盤・堆積構造の推定手法の構築に関する研究
三村　衛（京大）・桐山真臣

138 地形ごとの地盤構造の特徴を考慮した地盤モデル作成ー茨城県那珂郡東海村を例としてー
新妻　憂（茨城大）・村上　哲

139 地盤情報データベースによる大阪平野古地形の復元（その 3）
山本浩司（地域地盤環境研究所）・濱田晃之・近藤隆義・河田恵昭

140 広島の地盤モデルを用いた南海トラフの地震に対する液状化発生予測
垂水秀樹（東京電機大）・安田　進・石川敬祐

141 栃木県における電子地盤図の補間と活用の試み
清木隆文（宇都宮大）・富樫　駿・吉川敏之

142 ボーリングデータベースからみた近江盆地の地盤特性
北田奈緒子（地域地盤環境研究所）・伊藤浩子・大島昭彦・三田村宗樹

143 新潟市の表層地盤における微地形区分と地盤情報データベースに基づく工学的特性の関係
保坂吉則（新潟大）・金光　渚

144 地盤図を用いた沖積層の層厚さ推定と広域地盤沈下分布
高橋真一（大林組）・森尾義彦

●９月１日（火）　午後（II）の部　第１会場
【調査・分類ーリスクマネージメント　その他】
15:00 ～ 16:30
座　長：原　隆史（岐阜大学）

145 画像認識システムによる道路舗装路面ひび割れ検出の試み
石井詩穂（広島大）・一井康二・玉木　徹・平川　翼・園山昌司

146 走行車両からの撮影画像による道路路面の平坦性評価の研究
伊東達彦（広島大）・一井康二・玉木　徹

147 道路映像化による道路ストック維持管理支援システムの開発
佐藤由子（基礎地盤コンサルタンツ）・松村真一郎

148 電気比抵抗法による盛土の地下水位探査に関する基礎的室内実験
Bayu Gatry Devi Rakhmadyah（大阪大）・常田賢一・山本正人・村岡　直・池田善考・上出定幸

149 不飽和地盤における原位置透水試験実施事例
岡野裕平（復建調査設計）・菅野雄一・西田宣一・上熊秀保・松本敏明

150 可燃性ガス調査の方法と一考察
宮内　拓（興亜開発）・梅津幸治

151 地下水圧計測方法と地震時影響評価に関する考察
白石知成（清水建設）

152 鉛直不均質場における現場透水試験が受ける影響と、ピエゾメータ法とチューブ法を組み合わせた補正方法
阪田義隆（北大）・今井紀和・池田隆司・西垣　誠

●９月１日（火）　午後（III）の部　第１会場
【調査・分類ー地下水調査】　16:45 ～ 18:15
座　長：日比　義彦（名城大学）

153 接地抵抗を応用した地下水位簡易測定法
柳浦良行（基礎地盤コンサルタンツ）・千葉久志・武政　学

154 接地抵抗を応用した地下水位簡易測定法の実施例
千葉久志（基礎地盤コンサルタンツ）・柳浦良行・武政　学・石川敬祐

155 目的に合わせた地下水調査のための観測孔の仕上げ方について
岩瀬信行（キタイ設計）・竹内篤雄・秋山晋二

156 地下水調査のための観測孔仕上げに関するボーリング掘削径について
五十嵐慎久（キタイ設計）・竹内篤雄・武田伸二

157 地下水調査のための観測孔仕上げに関する室内実験的考察ーその 1：フィルター材について
酒井信介（阪神コンサルタンツ）・竹内篤雄・門川泰人・秋山晋二

158 地下水調査のための観測孔仕上げに関する室内実験的考察ーその 2：ストレーナー加工について
櫻井皆生（同志社大）・竹内篤雄・門川泰人・酒井信介

159 地下水調査のための観測孔仕上げに関する室内実験的考察ーその 3：間詰材について
都築孝之（日本物理探鑛）・竹内篤雄・秋山晋二・酒井信介

160 地下水調査のための観測孔仕上げに関する孔内洗浄について
宮崎基浩（芙蓉地質）・竹内篤雄・山西正朗・足立直樹

●９月２日（水）　午前（I）の部　第１会場
【調査・分類ーサウンディング・物理探査①】
9:00 ～ 10:30
座　長：利藤　房男（応用地質）

81 SDS 試験による有明海北岸低地の第四系の土質判別について
辻　浩平（ジャパンホームシールド）・末政直晃・田中　剛・菅野安男・大和眞一

82 凝灰質粘土と沖積粘土における土質試験結果の比較、および SDS 試験データの比較
吉井孝文（ジャパンホームシールド）・末政直晃・田中　剛・大和眞一・菅野安男

83 SDS 試験法による土の力学パラメータの推定に関して（2）
菅野安男（ジャパンホームシールド）・末政直晃・田中　剛・前田裕介・酒井　豪・大和眞一・辻　浩平

84 SDS 試験法と FL 法による地盤の液状化安全率の対比
前田裕介（ジャパンホームシールド）・末政直晃・田中　剛・菅野安男・酒井　豪・大和眞一

85 大阪市住之江区泉における地盤調査（その 1：サウンディング試験結果）
峯翔太郎（大阪市大）・大島昭彦・小坂慎一・久保田耕司・平田茂良・深井　公・下平祐司・山口伸治

86 大阪市住之江区泉における地盤調査（その 2：室内土質試験との比較）
小坂慎一（大阪市大）・大島昭彦・峯翔太郎・張　林松・京矢侑樹・久保田耕司・新井　瞬

87 浦安市千鳥における地盤調査（その 1：サウンディング試験結果）
張　林松（大阪市大）・大島昭彦・峯翔太郎・久保田耕司・平田茂良・深井　公・山口伸治

88 浦安市千鳥における地盤調査（その 2：室内土質試験との比較）
京矢侑樹（大阪市大）・大島昭彦・峯翔太郎・張　林松・小坂慎一・久保田耕司・新井　瞬

●９月２日（水）　午前（II）の部　第１会場
【調査・分類ーサウンディング・物理探査②】
10:45 ～ 12:15
座　長：山中　稔（香川大学）

89 電気比抵抗コーン貫入試験による土層区分
松浦良信（ソイルアンドロックエンジニアリング）・三村　衛・岩崎好規・藤原照幸・吉村　貢

90 電気比抵抗測定試験装置の開発と河川砂を用いた基礎的実験
宇野匡範（京大）・三村　衛・矢野隆夫・吉村　貢

91 浅層地盤の S 波速度構造把握に対する表面波探査の適用性
川尻峻三（北見工大）・鈴木信太朗・台丸谷俊輝・川口貴之・中村　大・山下　聡

92 表面波探査を用いた降雨・凍結に伴う地盤性状変化の把握
鈴木信太朗（北見工大）・台丸屋俊輝・川尻峻三・川口貴之・中村　大・山下　聡

93 補強盛土の経年変化を把握するための非破壊調査の試み（その 1）
岩知道呉夫（岐阜大）・沢田和秀・田中貴洋・村田芳信・野々山麻衣子・八嶋　厚・大谷義則・佐藤　登

94 補強盛土の経年変化を把握するための非破壊調査の試み（その 2）
沢田和秀（岐阜大）・岩知道呉夫・田中貴洋・村田芳信・野々山麻衣子・八嶋　厚・大谷義則・佐藤　登

95 スウェーデン式サウンディング試験による火山灰地

盤の強度評価
塩田好輝（上山試錐工業）・中田隆文・阿部和弘・神谷光彦

96 音響トモグラフィ探査による薬液注入改良効果の検証
坂本寛章（JR 西日本）・古藤　賢・近藤政弘・仲山貴司・澤田　亮・小山幸則・白川和靖

●９月３日（木）　午前（I）の部　第１会場
【調査・分類－サウンディング・物理探査③】9:00 ～ 10:30
座　長：神宮司　元治（産業技術総合研究所）

97 動的コーン貫入試験による土質判定のための一面せん断試験装置を用いたステンレス鋼と砂の摩擦音計測実験
水野建人（大阪市大）・山田　卓・大島昭彦

98 高周波表面波分散特性を利用した舗装の物性構造調査
稲崎富士（土研）・青池邦夫・今村杉夫・林　宏一

99 大型動的コーン貫入試験における調査方法（時間）の影響について
山本明弘（大和ハウス工業）・平田茂良・大島昭彦・西田　功・柴田芳彦

100 人工干潟を形成する超軟弱な浚渫土層においてMASW で得られたせん断波速度の検証
渡部要一（港空研）・金子　崇・林　宏一・橋本裕司・上野一彦

101 潮来市液状化トレンチ調査地点で実施したスウェーデン式サウンディング試験
蕗　紀宇（東京理科大）・兵動太一・塚本良道

102 常時微動測定による高知城石垣部の地震時不安定箇所の検出について
山中　稔（香川大）・西脇大祐・長谷川修一・小泉勝彦

103 SWS 試験孔を利用した簡易サーマルレスポンス試験
石垣拓也（東京都市大）・末政直晃・櫻井勇治

104 車両牽引式チャープレーダの開発
今井利宗（川崎地質）・山田茂治・吉田　潔

●９月３日（木）　午前（II）の部　第１会場
【調査・分類－サウンディング・物理探査④】
10:45 ～ 12:15
座　長：高原　利幸（金沢大学）

105 マイクロラムサウンディング（μRAM）の開発－その１先端コーン－
澤田俊一（応用地質）

106 ラジオアイソトープコーン（RI-CPT）による鋭敏粘土の検出
後藤政昭（ソイルアンドロックエンジニアリング）・大島昭彦・吉村　貢・小山博司・石井正紀・重富正幸・松浦良信・吉留花江・長澤　遼

107 RI コーン貫入試験による堤体の土層構造調査の一例
吉留花江（ソイルアンドロックエンジニアリング）・三村　衛・岩崎好規・藤原照幸・吉村　貢

108 平板載荷試験機を用いた支持力評価の迅速化に関する実験的検討
堀　智仁（安衛研）・玉手　聡

109 スウェーデン式サウンディング試験におけるロッドの周面摩擦補正方法の試案
下平祐司（日本建築総合試験所）・大島昭彦・廣瀬竜也

110 ３次元地中レーダ探査と MMS の融合システムによる河川堤防の点検への活用事例
若狭　愛（パシフィックコンサルタンツ）・舘川逸朗・片山辰雄・加藤裕将・畠山直樹

111 河川堤防の土質断面モデル構築に関する研究
―電気探査結果に基づく地盤構成の推定について―
藤原照幸（地域地盤環境研究所）・岩崎好規・三村　衛・吉村　貢・城森　明・宮下隆太郎

112 ハイブリッド表面波探査法の開発と堤防道路盛土調査への適用
北　高穂（TK 海陸調査事務所）・稲崎富士・林　宏一

●９月３日（木）　午後（I）の部　第１会場
【調査・分類－サウンディング・物理探査⑤】
13:15 ～ 14:45
座　長：澤田　俊一（応用地質）

113 これからの地盤調査 序章 II　サウンディング
酒井運雄（基礎地盤コンサルタンツ）

114 地質統計学手法によるため池堤体における CPT 先端抵抗分布の推定
今出和成（岡山大）・西村伸一・珠玖隆行・柴田俊文・村上　章・藤澤和謙

115 凍結工法のモニタリング技術のための凍結土の電気比抵抗特性
齋藤祐磨（早大）・小峯秀雄

116 スウェーデン式サウンディング試験機を用いた掘削孔による孔内水平載荷試験
津野将馬（旭化成建材）・塚田義明・山田雅人・佐藤　誠

117 液状化地点の砂地盤から採取した Gel-push サンプリング試料の品質評価
梅原由貴（東大）・細野康代・清田　隆・Gabriele Chiaro・柳浦良行・千葉久志

118 盛土遺構の構造と劣化現象について
松川尚史（関西地盤環境研究センター）・松本修司・中山義久・西田一彦・笠　博義

119 地盤の劣化度判定指数とその適用性
松本修司（関西地盤環境研究センター）・松川尚史・中山義久・西田一彦

120 地下水の蛍光強度と濁度・透視度による腐植土の判別に関する研究
武智耕太郎（ジャパンホームシールド）・藤井　衛・李　小橋・深谷敏史

●９月３日（木）　午後（II）の部　第１会場
【調査・分類－サウンディング・物理探査⑥】
15:00 ～ 16:30
座　長：田中　剛（東京都市大学）

121 動的貫入試験を用いた細粒分含有率推定に関する土槽実験の試み
山口恵美（関東学院大）・規矩大義・利藤房男・吉澤大造・澤田俊一・安田　悟・富岡　崇

122 微動を用いた浅部構造探査の高度化（自動読み取りアルゴリズムの開発と適用）
先名重樹（防災科研）・長　郁夫・藤原広行

123 簡易サンプリングとブロックサンプリングによる試料に関する研究（その 1. 概要）
高橋正志（ポラス暮し科学研究所）・大浦和香子・菊地康明

124 簡易サンプリングとブロックサンプリングによる試料に関する研究（その 2. 物理特性）
大浦和香子（ポラス暮し科学研究所）・菊地康明・高橋正志

125 簡易サンプリングとブロックサンプリングによる試料に関する研究（その 3. 力学特性）
菊地康明（ポラス暮し科学研究所）・大浦和香子・高橋正志

126 コアボーリング技術の見える化によるサンプリングの向上
谷川正志（応用地質）

127 北海道における礫質土のサンプリング事例
伊藤恵輔（基礎地盤コンサルタンツ）・斎藤和夫・知本康男・廣林毅之

128 廃棄物最終処分場の地盤調査における GS サンプラーの適用
大繁忠治（復建調査設計）・仲野浩司・中西典明・澁谷　啓・片岡沙都紀・平井孝治

●９月１日（火）　午前（I）の部　第２会場
【調査・分類－調査・試験技術】　9:00 ～ 10:30
座　長：山木　正彦（寒地土木研究所）

161 杭の急速載荷試験における解析手法に関する考察
高野公作（地盤試験所）・亀井秀一・樋口　靖・山本伊作・中山　敦

162 リアルタイムの薬液浸透範囲把握と改良後のボアホールソナーによる検層（その 1）
本橋俊之（大阪防水建設社）・稲川雄宣・山本　彰

163 土工事における土質材料のトレーサビリティシステムの適用
安井利彰（前田建設工業）・伊藤　明

164 産業用ロボットを用いた供試体作成作業の自動化（混合経路と工具形状の検討）
藤井祥太（金沢大）・浅川直紀・岡田将人・野尻博美・松村沙弥佳

165 防災に利用する廉価な小型電動マルチコプタの性能評価
齋藤　修（茨城大）

166 リフトオフ試験によるグラウンドアンカーの残存引張り力調査結果の一考察
松崎孝汰（ネクスコ・エンジニアリング東北）・澤野幸輝・高梨俊行・松井端亘・伊藤　潔・千坂俊治・佐藤直輝・永井　宏

167 斜面で簡単に設置できる小型間隙水圧計の開発－その 3、従来型水位計との観測結果の比較事例
森川倫人（応用地質）・谷瀬正寿・矢部　満・和田昌樹・高柳　剛・塗師芳昭

●９月１日（火）　午前（II）の部　第２会場
【地盤挙動－凍結・凍土】　10:45 ～ 12:15
座　長：小野　丘（北海学園大学）

443 小規模凍土方式遮水壁の構築－地下水流入抑制のための凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業－（その 1）
佐藤一成（鹿島建設）・吉田　輝・照井秀幸・高村　尚・山本正嗣・中嶋陽一

444 地下水流速が凍土方式遮水壁施工に与える影響－凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業（その 2）－
森川誠司（鹿島建設）・並川　正・吉田　輝・佐藤一成・相馬　啓

445 リチャージ特性に関する原位置評価試験－凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業（その 3）－
瀬尾昭治（鹿島建設）・岩野圭太・川端淳一・田部井和人・森川誠司・上原昌也

446 凍結融解による岩石の強度劣化の評価法についての研究（その 2）
日下部祐基（土研）・伊東佳彦・倉橋稔幸

447 Mechanical Behavior of Frozen Clay Under Effects of Temperature and Strain Rate
王　金元（北大）・西村　聡

448 過圧密粘土の凍結融解による透水係数変化に関する実験
伊藤　譲（摂南大）・石川達也・赤川　敏・所　哲也・大西有三・上田保司・広瀬　剛

449 地下水流量および熱移動量が凍土造成に及ぼす影響解析
久門義史（精研）・松岡啓次・上田保司

●９月１日（火）　午後（I）の部　第２会場
【地盤挙動－現地計測】　13:15 ～ 14:45
座　長：上野　勝利（徳島大学）

450 交換可能な間隙水圧計の開発とその適用性
竹森　基（応用地質）・伊藤義行・森永靖志

451 ノンプリズムトータルステーションのトンネル内道路路面監視への適用事例
鶴原敬久（応用地質）・宮沢一雄・菊池慎司・安田賢哉・土屋潤一

452 多段式間隙水圧計を利用した沈下測定の検証実験
伊藤義行（応用地質）・竹森　基

453 盛土における土壌水分計による含水比計測の適用性
塚本将康（川崎地質）・三嶋信雄

454 Field investigation at Ohya slide site using Portable cone penetration tests and seismic refraction tests
Muhammad Ali（東大）・Ikuo Towhata

455 MEMS センサ・ネットワークを用いた地盤挙動モニタリングの研究
秦野佑也（岡山大）・西山　哲・龍　明治・岩崎佳介

456 軟弱地盤における重機荷重による近接地下躯体の変位抑制効果
熊谷博人（竹中工務店）・河野貴穂・青木雅路

457 変状が生じた既設道路盛土の現状評価のための原位置・室内試験
原　崇彰（神戸大）・岡本健太・片岡沙都紀・戎　剛史・野並　賢・澁谷　啓

458 液浸法による地盤内可視化実験の基礎的検討
小林俊一（金沢大）・石川千裕・松本樹典

●９月１日（火）　午後（II）の部　第２会場
【地盤挙動－圧密・沈下①】　15:00 ～ 16:30
座　長：小島　謙一（鉄道総合技術研究所）

385 真空圧密土槽実験における浚渫粘土の改良効果（その 1）－沈下と PVD の曲がり形状－
新舎　博（真空圧密ドレーン工法研究会）・山内義文・堤　彩人・長津辰男

386 真空圧密土槽実験における浚渫粘土の改良効果

（その 2）－圧密中に測定した PVD の通水量－
山内義文（真空圧密ドレーン工法研究会）・新舎　博・宮本健児

387 真空圧密土槽実験における浚渫粘土の改良効果（その 3）－周辺摩擦の影響と含水比分布－
堤　彩人（真空圧密ドレーン工法研究会）・新舎　博・熊谷隆宏

388 宅地盛土の原位置水浸沈下試験方法の開発 ～その 1：原位置および室内試験～
片岡沙都紀（神戸大）・岡本健太・澁谷　啓・齋藤雅彦・芥川真一・橋本光則・本多典久

389 宅地盛土の原位置水浸沈下試験方法の開発 ～その 2：浸透流解析～
齋藤雅彦（神戸大）・片岡沙都紀・岡本健太・澁谷　啓

390 数値解析による海底地盤の 3 次元変形挙動評価手法の開発
矢田啓晃（京大）・三村　衛・肥後陽介・元宗美郷

391 三次元弾粘塑性有限要素解析による多次元集排水挙動に関する基礎的研究
元宗美郷（京大）・三村　衛・矢田啓晃

●９月１日（火）　午後（III）の部　第２会場
【地盤挙動－圧密・沈下②】　16:45 ～ 18:15
座　長：片桐　雅明（日建設計シビル）

392 軟弱地盤上の高速道路用盛土の長期圧密沈下予測に対する事後評価
高比良翔（NEXCO 中日本）・稲垣太浩・田代むつみ・野田利弘・中堀千嘉子

393 11m 沈下した超軟弱地盤上に構築した 2 基のカルバートボックスの比較
稲垣太浩（NEXCO 中日本）・高比良翔・中堀千嘉子・安藤貴宏・阿久根幸孝・岡野　靖

394 佐賀平野における更新統の沈下予測のための設計定数について
喜連川聰容（佐賀県建設技術支援機構）・三浦哲彦・岩永忠則

395 地盤情報データベースを利用した泉州沖洪積粘土の透水特性の空間推定
横田健一（大阪大）

396 泥炭地盤表層における二次元長期沈下挙動に関する模型実験と有限要素数値解析
三木拓也（北大）・西村　聡・山添誠隆

397 一次元圧密逆問題の性質
珠玖隆行（岡山大）・西村伸一・柴田俊文

●９月２日（水）　午前（I）の部　第２会場
【地盤挙動－圧密・沈下③】　9:00 ～ 10:30
座　長：田代　むつみ（名古屋大学）

398 地盤材料のひずみ速度依存性
太田雄己（北大）・田中洋行

399 宮城県塩竈市新浜地区に堆積する超軟弱粘土の圧密特性に関する一考察
出村隆能（石川高専）・重松宏明・今西　肇・月館優太

400 神戸空港浚渫土処分地の沖積粘土層の沈下予測
岡田広久（神戸市）・大島昭彦・長谷川憲孝・久保田耕司・峯啓一郎

401 河川堤防の築堤履歴に着目した盛土による地盤変状解析に関する考察
中土井佑輔（建設技術研究所）・李　圭太・小林猛嗣・小西康之・柚木真介・藤田庸介・小山倫史・大西有三

402 土 - 水連成 NMM-DDA の開発と検証解析
橋本涼太（京大）・小山倫史・菊本　統・三村　衛

403 3 次元 FEM による盛土の圧密変形解析
花本孝一郎（ワールド測量設計）・汪　発武・國清智之・吉原潤平

404 塩釜粘土を対象とした不撹乱・撹乱試料の圧縮曲線に関する一考察
月館優太（東北工大）・今西　肇

●９月２日（水）　午前（II）の部　第２会場
【地盤挙動－切土・掘削，地盤改良①】　10:45 ～ 12:15
座　長：小竹　望（香川高等専門学校）

405 偏土圧を受ける山留め架構の計画法（その 1：有限要素法による山留め変形の評価）
中沢楓太（東急建設）・沼上　清・三浦正悟・田中　肇・松尾三郎

406 偏土圧を受ける山留め架構の計画法（その 2：非対称梁ばねモデルによる山留め変形の評価）
松尾三郎（丸藤シートパイル）・沼上　清・三浦正悟・中沢楓太・田中　肇

407 上総層固結シルトを対象とした大深度地盤の力学モデルと有限要素法への適用
中道洋平（大林組）・鈴木和明・杉江茂彦

408 Effect of different alignment of faults to the slope stability
タナチョート テチャウォンサコン（東工大）・ティラポン ピパットポンサー・高橋章浩

409 表面粗さに着目した地盤改良体と粘土の摩擦発現特性
石藏良平（九大）・安福規之・有間　航・江　振波

410 Time-dependent skin friction model for floating type improved ground during consolidation
江　振波（九大）・安福規之・石藏良平・有間　航

411 壁式改良を併用した軟弱地盤対策工の偏荷重下における対策効果について
工藤敦弘（鉄道総研）・渡辺健治・佐藤武斗・島田貴文・森川嘉之・高橋英紀・森　誠二

412 軟弱地盤上の腹付け盛土施工における対策工の試計算
島田貴文（鉄道総研）・渡辺健治・工藤敦弘・佐藤武斗・森川嘉之・高橋英紀

●９月３日（木）　午前（I）の部　第２会場
【地盤挙動－地盤改良②】　9:00 ～ 10:30
座　長：佐藤　毅（アサノ大成基礎エンジニアリング）

413 2 次元平面 FEM モデルによる SCP 打設時における変位緩衝孔の効果検討方法
舘川逸朗（パシフィックコンサルタンツ）・宗片　渉・平野由行

414 2 次元平面 FEM モデルによる SCP 打設時における変位緩衝孔と鋼矢板併用工法の効果検討事例
宗片　渉（パシフィックコンサルタンツ）・舘川逸朗・平野由行

415 山形盆地に堆積する泥炭性軟弱地盤における試験盛土施工
佐藤春夫（ダイヤコンサルタント）・高坂敏明・大泉隆是・須藤隆之・根本靖子

416 山形盆地に堆積する泥炭性軟弱地盤の地盤挙動
谷口雄太（ダイヤコンサルタント）・高坂敏明・須藤隆之・笹原和彦

417 山形盆地に堆積する泥炭性軟弱地盤の長期沈下低減対策
高坂敏明（ダイヤコンサルタント）・佐藤春夫・須藤隆之・中島博行

418 小型ベースマシンを用いたスラリー撹動攪拌式中層混合処理工法（WILL 工法）
島野　嵐（三信建設工業）・市坪天士・中馬忠司

419 変位緩衝孔打設域の締固め砂杭改良による性状変化と排土量の関係
佐藤希絵（不動テトラ）・今井優輝

420 薬液注入材料の礫質地盤への適用性に関する基礎実験
深田　久（不動テトラ）・矢部浩史・渡辺英次

●９月３日（木）　午前（II）の部　第２会場
【地盤挙動－地盤改良③】　10:45 ～ 12:15
座　長：森川　嘉之（港湾空港技術研究所）

421 ライムストーンと砂の混合地盤上の空港滑走路拡張工事における MVT（一定振動）による表層締固め
野津光夫（不動テトラ）・榊原　優・松下和紀

422 発泡ウレタンを用いた杭状地盤改良工法の開発 ―その 4：フィールド試験概要と考察―
及川理香子（アップコン）・石田清人・松藤展和・末政直晃・田中　剛

423 PVD の部分的な透水係数低下における圧密に及ぼす影響の実験的研究
小﨑香菜子（国際協力機構）・竹山智英・北詰昌樹

424 Centrifuge model tests on external failure of DM columns reinforced by a stabilized shallow layer
Binh Nguyen（東工大）・Tomohide Takeyama・Masaki Kitazume

425 柱状浸透注入の実験的研究
角田百合花（強化土エンジニヤリング）・島田俊介・木嶋　正

426 地下鉄直下における高圧噴射工法による水平方向地盤改良
笹原崇志（エステック）・伊藤博幸・大道準矢・細田史朗・篭橋　忍・岡本郁也

427 浅海域における海上 SCP 工法の効率的な施工方法
尾形　太（不動テトラ）・知念正吉・小西敦也・久野敦史

428 裏込め材料の盛土変位挙動に及ぼす影響に関する遠心模型実験
鷺　裕樹（東工大）

●９月３日（木）　午後（I）の部　第２会場
【地盤挙動－地盤改良④】　13:15 ～ 14:45
座　長：大石　幹太（日建設計シビル）

429 拘束圧を受けるセメント改良地盤の破壊挙動に関する研究
上野嵩太（東工大）・竹山智英・関　　栄・北詰昌樹

430 砂圧入式静的締固め工法の施工域周辺における水質調査事例
森鼻章治（不動テトラ）・片山　岳・竹内秀克・渡辺英次

431 格子状地盤改良した粘性土地盤の地震時応答
田村修次（東工大）・Mohammad Khosravi・Ross Boulanger・Daniel Wilson・Guney Olgun・Deepak Rayamajhi・Wang Yongzhi

432 Precipitation of Phosphates and Carbonates to Improve The Engineering Properties of Soil
Debendra Neupane（愛媛大）・安原英明・木下尚樹

433 場所打ち杭孔壁防護工への高圧噴射撹拌工法（ジェットクリート工法）の適用検討
伊藤弘之（鹿島建設）・田中　誠・倉石泰男・藤崎勝利・山道芳徳

434 スラグ系薬液注入材改良地盤における注入材含有量測定方法の検討
塩澤拓哉（千葉工大）・小宮一仁・大西高明・林田　晃

435 等方応力状態における圧密特性の異方性
筒井康平（北大）・田中洋行・山添誠隆

●９月３日（木）　午後（II）の部　第２会場
【地盤挙動－地盤改良⑤】　15:00 ～ 16:30
座　長：北詰　昌樹（東京工業大学）

436 鉛直材に接続した水平排水材内の水圧測定
片桐雅明（日建設計シビル）・中道正人・河野正文・梅山　崇・坂本光信・上田達也・山本修司・川原　修・大石幹太・吉福　司

437 数値解析を用いた薬液改良体の長期耐久性能の評価
森　拓之（早大）・仲田泰大・赤木寛一・川村　淳・渡邊陽介

438 エジェクター吐出式深層混合処理工法による供用中ガス導管近接施工時の鉛直変位計測例
秋間　健（不動テトラ）・杉本知弘・今井優輝・熊　勝則

439 促進養生されたソイルセメントの強度特性に関する研究
遠藤宗仁（千葉工大）・小宮一仁・山野辺純一・塩澤拓哉

440 シート式真空圧密工法における長尺ドレーンの打設及びドレーン内負圧と間隙水圧の関係
佐々木徹（大林組）・加藤真司・遠藤佳紀・後藤雄一

441 分散剤添加による深層混合処理工法の品質改善
平野　聡（兼松日産農林）・水谷羊介・中村　博・下村修一・笹田　寛

442 ドレーンの集排水機能を具備したマクロエレメント法に基づく板状ドレーンのモデル化に関する一考察
田代むつみ（名大）・Hong Son Nguyen・山田正太郎・野田利弘

●９月１日（火）　午前（I）の部　第３会場
【地盤環境－地盤環境調査①】　9:00 ～ 10:30
座　長：保高　徹生（産業技術総合研究所）

1141 土壌溶出試験における振とう時間及び六価クロムの溶出量について
山口　暁（オオスミ）・松川晋也・高羽泰久

1142 上向流カラム通水試験の飽和方法および再現性に関する一考察

藤川拓朗（福岡大）・佐藤研一・古賀千佳嗣・
肴倉宏史

1143　供試体乾燥密度が上向流カラム通水試験での溶出挙動に及ぼす影響の検討
竹尾美幸（京大）・肴倉宏史・Angelica Naka・
乾　　徹・勝見　武

1144　富山湾周辺海域由来の微生物を用いた地盤改良技術に関する研究
伊藤留寿都（富山県立大）・高松友見・畠　俊郎

1145　不溶化処理土におけるヒ素の再溶出にあたえるpHの影響
隅倉光博（清水建設）・児島敏一・田崎雅晴

1146　上向流カラム通水試験データ解釈方法の試案
肴倉宏史（国立環境研究所）・細野賢一・
横山裕之

1147　セレン汚染土の不溶化に関する検討
中條邦英（応用地質）・堀　雅明・大野敦史

●９月１日（火）　午前（II）の部　第３会場
【地盤環境－地盤環境調査②】　10:45 ～ 12:15
座　長：乾　徹（京都大学）

1148　粒度分布に注目した土粒子吸着物質の除去法の検討
西門　優（神戸大）・飯塚　敦・河井克之

1149　地下水流動の連続性に関する調査と考察
西田憲司（大林組）・日笠山徹巳

1150　繰返し非排水三軸試験を適用した強度低下特性の一考察
久保裕一（中部土質試験協同組合）・萩原協仁・
坪田邦治・池田謙信

1151　災害廃棄物処理過程で発生した分別土砂からの元素溶出挙動の変化
山口拓也（岐阜大）・加藤雅彦・佐藤　健

1152　２種類の土壌水分計の挿入特性とキャリブレーション
齊藤準平（日大）・下辺　悟・佐藤洋介・
白石駿一

1153　10分割カラムを用いた重金属等の汚染土壌発生リスクの評価方法
保高徹生（産総研）・黒澤暁彦

●９月１日（火）　午後（I）の部　第３会場
【地盤環境－土壌・地下水汚染①】　13:15 ～ 14:45
座　長：稲垣　由紀子（土木研究所）

1154　使用済みヒ素吸着材に関する安定性評価
－鉄－アルミニウム水酸化物被覆活性炭－
杉田　創（産総研）・張　　銘・小熊輝美・原　淳子・
高橋伸也

1155　自然由来でヒ素・ふっ素・ほう素を溶出する掘削土砂の不溶化処理に関する検討
大山　将（鴻池組）

1156　シールド一体型の自然由来砒素汚染土壌の浄化・減容化
設樂和彦（清水建設）・毛利光男・石鍋誠一・
江口　崇・山本千絵・田中仁志

1157　沖縄県の粘性土を用いた油汚染土壌のバイオ処理における実大混練り実験
門倉伸行（熊谷組）・佐々木静郎・村上順也・
高柳　宏・村田　均・川口博史・久保　幹

1158　通水式カラム評価試験機を用いた鉄粉によるアルカリ性ヒ素溶液の吸着および破過挙動
吉川英一郎（神戸製鋼所）・古田智之・飯島勝之

1159　各種土壌に対するPb，Cdの分配係数利用時における配慮事項の検討
山田優子（国際航業）・小林　剛・亀屋隆志

1160　Pb不溶化処理における不溶態形成量と粘土鉱物含有量との関係解明
清水　創（岐阜大）・加藤雅彦・佐藤　健

1161　濃尾平野南西部G1地下水圏におけるフミン物質による形態別のヒ素溶出特性
河合祐輔（岐阜大）・加藤雅彦・佐藤　健

●９月１日（火）　午後（II）の部　第３会場
【地盤環境－土壌・地下水汚染②】　15:00 ～ 16:30
座　長：肴倉　宏史（国立環境研究所）

1162　砒素吸着材の室内試験および解析による性能評価方法について
井出一貴（大林組）・三浦俊彦・西田憲司・鈴木和明・
保高徹生

1163　産業副産物を有効利用したソイルセメント遮水壁の工学的特性の評価
Yuelei Li（京大）・三浦俊彦・新村　亮・宮岡修二・
乾　　徹・勝見　武

1164　リン資材添加による鉛汚染土供試体の安定鉱物形成量と一軸圧縮強度
小川翔平（岐阜大）・加藤雅彦・佐藤　健

1165　ADR-MT法を用いた土中へのNAPL浸潤過程のモニタリング－プロファイリング手法の構築に関する基礎的研究
小野　亮（日大）・下辺　悟・齊藤準平

1166　Effects of Precipitation on Diesel Migration in Subsurface
Giancarlo Flores（京大）・勝見　武・
Daeyoon Kim

1167　天然材料を用いたヒ素・セレン対策に関する原位置カラム試験
田本修一（寒地土研）・倉橋稔幸・五十嵐敏文

1168　ゼオライト機能紙を用いた簡易な水質浄化システム－通水によるアンモニア態窒素の吸着特性－
水谷俊明（信州大）・河村　隆・梅崎健夫・早川　典・
石井大悟・志賀信彦

1169　吸着層に用いるCa／Mg系固化材改良土の砒素吸着特性に及ぼす共存イオンの影響
瀬尾　葵（京大）・乾　　徹・高井敦史・勝見　武・
國西健史・林慎太郎

●９月１日（火）　午後（III）の部　第３会場
【地盤環境－廃棄物処分場①】　16:45 ～ 18:15
座　長：遠藤　和人（国立環境研究所）

1170　泥水の自重脱水処理における脱水・ろ過特性（その3）
新井大揮（信州大）・梅崎健夫・河村　隆・
宮下周弥

1171　泥水の自重脱水処理における脱水・ろ過特性（その4）
宮下周弥（信州大）・梅崎健夫・河村　隆・
新井大揮

1172　締固め密度の違いによるゼオライト混合造粒物のセシウム吸着特性
磯さち恵（大成建設）・森川義人・山本茂樹

1173　圧縮ベントナイトの一軸圧縮強さに与えるハイドレーションの影響
西村友良（足利工大）

1174　光ファイバーの利用による放射線検知センサーの小型化について
伊藤圭二郎（鹿島建設）・瀬尾昭治・川端淳一

1175　中間貯蔵施設を想定したベントナイト遮水工の室内配合試験
佐藤　毅（鹿島建設）・伊藤圭二郎・川端淳一

1176　中間貯蔵施設における高含水比除去土壌の草木等選別前処理方法の検討
田中真弓（鹿島建設）・大橋麻衣子・間宮　尚

●９月２日（水）　午前（I）の部　第３会場
【地盤環境－廃棄物処分場②】　9:00 ～ 10:30
座　長：隅倉　光博（清水建設）

1177　事故を起こした原子力発電所の廃止措置に向けた地盤工学的技術開発と土木技術者育成の必要性
小峯秀雄（早大）・東畑郁生・後藤　茂・鈴木　誠・
高尾　肇・渡邊保貴

1178　飛灰溶出液を用いたベントナイトのセシウム吸着試験
三浦俊彦（大林組）・柴田健司・小竹茂夫・
辻　博和

1179　ベントナイト砕石（NB工法）の自然含水比における施工性評価
成島誠一（NB研究会）・藤田健一・藤原照幸

1180　実施工におけるナチュラルブランケット工法の品質評価事例
新井靖典（NB研究会）・成島誠一・水野正之・
稲元裕二

1181　薄層吸着材ゼオライトシートの吸着性能の評価
皆瀬　慎（NB研究会）・遠藤和人・長谷川覚

1182　低レベル放射性廃棄物処分における埋戻し材に関する材料特性評価試験について（その3）
山田淳夫（原子力環境整備促進・
資金管理センター）・秋山吉弘・千々松正和・
永井裕之

1183　最終処分場覆土構造の違いが保護層の水分量に与える影響
竹崎　聡（国立環境研究所）・遠藤和人・皆瀬　慎・
佐藤昌宏・勝見　武・高井敦史

●９月２日（水）　午前（II）の部　第３会場
【地盤環境－廃棄物処分場③】　10:45 ～ 12:15
座　長：渡邊　保貴（電力中央研究所）

1184　処分場内に浸透した雨水の非帯水層を流下する過程でのpH挙動調査
太田勇希（中央開発）・遠藤和人・角田康輔・
東原　純・前田直也

1185　基礎杭を用いた海面管理型廃棄物処分場の高度利用について
平尾隆行（中電技術コンサルタント）・菊池喜昭・
森脇武夫・服部　晃・竹本　誠

1186　Fundamental experiment on Swelling characteristics of bentonite mixture soil(10 ～ 20% of bentonite mixing ratio)
金子雄司（早大）・小峯秀雄・山田淳夫・秋山吉弘・
千々松正和

1187　海面処分場保有水の面集排水方式に関する土槽試験
遠藤和人（国立環境研究所）・竹崎　聡・東原　純・
前田直也・荒井靖仁・太田勇希・角田康輔

1188　地層処分におけるベントナイト緩衝材の変質挙動評価
神藤卓哉（神戸大）・樋野隆太・飯塚　敦・
河井克之

1189　地盤中の蒸発過程のモデル化
劉　　冰（関西大）・小林　晃・塚田泰博・
千々松正和

1190　種々のジオシンセティッククレイライナー重ね合わせ部の境界面摩擦特性と遮水性能の評価
佐藤一貴（京大）・小川翔太郎・乾　　徹・高井敦史・
勝見　武

●９月３日（木）　午前（I）の部　第３会場
【地盤環境－自然環境】　9:00 ～ 10:30
座　長：佐藤　研一（福岡大学）

1191　桜島火山灰を活用した環境に優しい藻場基盤材の開発とその長期モニタリング
山本健太郎（鹿児島大）・根上武仁・溝口直敏・
中島常憲・島佳奈子

1192　廃プラスチック漂着ゴミによる海浜砂への汚染リスク
山口晴幸

1193　石炭灰・鉄鋼スラグの各種操作因子による二酸化炭素固定化量への影響
坂巻潤平（早大）・小峯秀雄

1194　The relationship between electrical conductivity of soil and salinity in Northeastern Thailand
サムポワ トウチ（東工大）・
ティラポン ピパットポンサー・竹村次朗

1195　透明化が進行する有明海の浮遊細粒土の沈降堆積特性
塚本一裕（佐賀大）・末次大輔・Suman Manadhar

●９月３日（木）　午前（II）の部　第３会場
【地盤環境－リサイクル材】　10:45 ～ 12:15
座　長：末次　大輔（佐賀大学）

1196　バングラデシュ農村部における商品価値の無いレンガ屑を用いた未舗装道路整備技術に関する研究
大東優馬（京大）・木村　亮

1197　土木資材利用を考慮したエージング処理焼却主灰の環境安全性評価
平川裕也（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・
古賀千佳嗣・肴倉宏史・宮田省吾

1198　石炭灰改良土を用いた防潮堤盛土の長期モニタリング
山田祐樹（大林組）・佐々木徹・井出一貴・
熊谷祐一

1199　資源再生製造業を目指し、建設汚泥を原料にした再生土の品質管理手法の事例
浜野廣美（大幸工業）・藤原照幸・遠藤和人・
乾　　徹・勝見　武

1200　シルト、粘土、コロイドを主たる原料とした細粒流動化処理土を使用した閉鎖した水道管の充填事例
東　真季（大幸工業）・水野克己・藤原照幸・
遠藤和人・乾　　徹・勝見　武

1201　非飛散性アスベスト含有建材の無害化処理過程で排出される高含水比残渣に対する地盤改良技術の適用性
篠原智志（京大）・乾　　徹・高井敦史・
勝見　武

1202　災害廃棄物統合管理システムで得られた実績データによる災害廃棄物処理と分別物の特性の評価
三方浩允（京大）・勝見　武・乾　　徹・高井敦史・
大塚義一・岡崎　稔・濱谷洋平・西村龍彦

●９月３日（木）　　午後（I）の部　　第３会場
【地盤環境－生態系・温暖化　その他】　13:15 ～ 14:45
座　長：畠　俊郎（富山県立大学）
1208　東名遺跡の保存環境に関する考察
井上由美（応用地質）・山田靖司・林　満年・三浦哲彦・梅本健児
1209　地下水熱利用ヒートポンプ導入事例の紹介
西村修一（中央開発）
1210　Bioelectricity Generation by Plant Microbial Fuel Cell in Organic soil and Marine sediment
Moqsud Azizul（山口大）・Masayuki Hyodo・Yukio Nakata・Kiyoshi Omine
1211　斜め方向に設置した小口径揚水井による揚水試験
本田　論（JR 東日本）・吉井恭一郎・柳　博文・栗栖基彰・桑原　清
1212　福岡市の津波災害時における廃棄物発生量予測と仮置場の選定
高口拓也（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣
1213　微生物機能を利用した砂の固化における連続注入方法の検討
稲垣由紀子（土研）・加藤俊二・佐々木哲也
1214　土砂流出防止対策としての土壌微生物の機能
藤澤久子（日本工営）・下村幸男・石塚忠範

●９月３日（木）　　午後（II）の部　　第３会場
【地盤環境－地盤震動】　15:00 ～ 16:30
座　長：伊藤　和也（東京都市大学）
1203　おもりを用いた地盤環境振動低減工法の現場実験
成田修英（戸田建設）・保井美敏・石丸達朗・田口智也・三輪明広・廣野直記・馬場朝之
1204　防振壁の長さが地盤振動低減効果に及ぼす影響の実験的検討
金田　淳（JR 東日本）・池本宏文・高崎秀明・豊田浩史・高田　晋
1205　鉄道高架橋から伝播される振動の特性
石井武司（中央大）・林　東毅・金田　淳・池本宏文・高崎秀明・齋藤邦夫
1206　Evaluation on mitigation of train-induced vibration as using LSS for backfill ground of cut and cover tunnel by FEM
フン ズゥオン　クアン（室蘭工大）・木幡行宏・ドゥン グェン　クワン
1207　軟弱地盤における道路舗装状況が車両走行時の近傍地盤応答に及ぼす影響
石田理永（石田振動環境研究室）・石田栄介・岩田克司

●９月１日（火）　　午前（I, II）の部　　第４会場
【DS-9　各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性】　9:00 ～ 12:15
主催委員会：関東支部　各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性に関する研究委員会
座　長：規矩　大義（関東学院大学）
副座長：利藤　房男（応用地質）
プログラム：
開会挨拶
規矩　大義（委員長、関東学院大学）
第１部　　一般発表（5 編、No.42 ～ 46）
座長：規矩　大義（関東学院大学）
休　憩
第２部　　指定発表
座長：末政　直晃（東京都市大学）
1. 文献資料整理結果（3 編、No.47 ～ 49）
2. 香取現場実験結果
(1) 基準ボーリングの概要
吉澤　大造（応用地質）
(2) 発表（3 編、No.50 ～ 52）
休　憩
第３部　委員会成果の報告と総合討論
座長：菊池　喜昭（東京理科大学）
1. 委員会成果の報告
利藤　房男（応用地質）
2. 総合討論
閉会挨拶
規矩　大義（委員長、関東学院大学）
42　CPT による塑性指数を考慮した液状化判定（その 2）
北條　豊（地盤試験所）・齋藤邦夫・深沢　健・黛　廣志・西原　聡・大塚　潤・若月洋朗・石川恵司・後藤政昭
43　スウェーデン式サウンディング試験の砂地盤の液状化抵抗の推定への適用
塚本良道（東京理科大）・兵動太一・蕗　紀宇
44　大型動的コーン貫入試験による地盤強度と土質判定の調査例
平田茂良（大和ハウス工業）・大島昭彦・峯翔太郎・小坂慎一・柴田芳彦・西田　功・山本明弘・山田　卓
45　中型動的コーン貫入試験による地盤強度と土質判定の調査例
深井　公（積水ハウス）・大島昭彦・峯翔太郎・京矢侑樹・佐藤　将・山田　卓・松谷裕治
46　スウェーデン式サウンディング試験による地盤強度と土質判定の調査例
大島昭彦（大阪市大）・峯翔太郎・張　林松・深井　公・下平祐司・山田　卓・松谷裕治・廣瀬竜也
47　液状化判定に有効なサウンディング技術資料の収集・整理と適用性の検討 その１動的貫入試験（WG1）
吉澤大造（応用地質）・規矩大義・石川敬祐・伊集院博・小濱英司・澤田　亮・中澤博志・平出　務・山口恵美
48　液状化判定に有効なサウンディング技術資料の収集・整理と適用性の検討 その２回転貫入（W2）
田中　剛（東京都市大）・末政直晃・菅野安男・尾上篤生・金　哲鎬・久世直哉・西岡佑介・水谷羊介
49　液状化判定に有効なサウンディング技術資料の収集・整理と適用性の検討 その３静的貫入試験（WG3）
西村真二（シーズエンジニアリング）・菊池喜昭・國生剛治・須々田幸治・高田　徹・平林　弘・室山拓生
50　千葉県香取市における現地一斉試験 その１動的貫入試験（WG1）
中澤博志（復建調査設計）・規矩大義・吉澤大造・澤田　亮・小濱英司・平出　務・石川敬祐・伊集院博・山口恵美
51　千葉県香取市における現地一斉実験 その２回転貫入（W2）
菅野安男（ジャパンホームシールド）・末政直晃・尾上篤生・久世直哉・金　哲鎬・西岡佑介・水谷羊介・田中　剛
52　千葉県香取市における現地一斉実験 その３静的貫入試験（WG3）
岡信太郎（地盤試験所）・利藤房男・後藤政昭・宮坂享明・谷本俊輔・神宮司元治

●９月１日（火）　　午後（I）の部　　第４会場
【DS-10　斜面の凍上対策工の調査・設計に関する研究】　13:15 ～ 14:45
主催委員会：北海道支部　凍上対策工の調査・設計法に関する研究委員会
座　長：小野　丘（北海学園大学）
副座長：
プログラム：
1. 論文発表（4 編、No.66 ～ 69）
2. 論文発表（4 編、No.70 ～ 73）
3. 総合ディスカッション
66　植生基盤材によるのり面の断熱効果
佐藤厚子（寒地土研）・山梨高裕・鈴木輝之・川端伸一郎
67　凍結融解と繰返し載荷履歴を受けた火山灰質盛土の降雨時力学挙動
山田亮一（室蘭工大）・川村志麻
68　断熱材を用いた切土のり面の凍上対策
林　啓二（ドーコン）・原　　靖・松田圭大
69　寒冷地における斜面の土の凍上性評価方法に関する考察
岩倉　徹（北海道技術コンサルタント）・神原孝義・小野　丘・佐藤厚子・佐々木裕一・谷藤義弘
70　凍上力が地山補強土工に及ぼす影響
安達隆征（寒地土研）・小野　丘・山梨高裕・佐藤厚子・沖崎　裕
71　凍上地盤におけるロックボルト引張力について
室住治伸（弘和産業）・野口　明
72　アンカー工における導入力の経年変化について
平田　文（日特建設）
73　模型実験による小段排水溝の凍上融解挙動の検証
中村　大（北見工大）・隅屋佑次・安達隆征・川口貴之・川尻峻三・山下　聡

●９月１日（火）　　午後（II, III）の部　　第４会場
【DS-4　地盤情報データベースの整備とその利活用】　15:00 ～ 18:15
主催委員会：ATC10（Urban Geo-Informatics：都市地盤情報）国内委員会
座　長：三村　衛（京都大学）
副座長：北田　奈緒子（地域地盤環境研究所）
プログラム：
1. はじめに
三村　衛（委員長、京都大学）
2. JGS の資格制度「地盤品質判定士」について（2 編、No.53 ～ 54）
3. 地盤情報の法制度化についての現状と取組み（1 編、No.55）
4. 利活用・利用促進事例　（4 編、No.56 ～ 59）
5. ディスカッション
53　地盤情報データベースを利活用する地盤品質判定士に期待すること
谷　和夫（防災科研）・中村裕昭・山田岳峰・濱田泰治・小川和也
54　地盤品質判定士は住宅地盤の評価が可能か？
諏訪靖二（諏訪技術士事務所）
55　地質地盤情報の共有化と法整備の必要性
佃　栄吉（産総研）
56　電子地盤図における利活用の現状と課題
村上　哲（茨城大）・清木隆文・石原与四郎・近藤隆義・山本浩司
57　統合化地下構造データベースの現状と課題
大井昌弘（防災科研）・木村克己
58　ボーリングデータベースによる地盤研究と地域特性
北田奈緒子（地域地盤環境研究所）・伊藤浩子・濱田晃之・藤原照幸
59　地盤情報データベースを活用した浅層地盤モデルとその適用例－地震発生後の氾濫リスクに備えた防潮堤の沈下対策－
江原竜二（大阪府）

●９月２日（水）　　午前（I）の部　　第４会場
【特別セッション　道路保全地盤技術向上に資する調査・研究成果報告会】　9:00 ～ 10:30
主催委員会：平成 26 年度道路保全地盤技術向上の調査・研究助成審査委員会
司会：岡村　未対（委員長，愛媛大学）
プログラム：
1. 開会あいさつ
2. 報告
・高速走行中に撮影した画像を用いた路面の健全性・平坦性評価システムの開発
○一井　康二（広島大学大学院）、玉木　徹、伊東達彦、石井　詩穂
・気候変動への対応を視野に入れた盛土内水位予測モデルの開発
○西村　聡（北海道大学大学院）、泉　典洋、山田朋人
・下水道管渠の老朽化に起因する道路陥没の対策工法の提案に関する研究
○椋木　俊文（熊本大学大学院）、大谷　順
・真空圧密を併用した盛土の施工における泥炭の強度増加とその推定に関する研究
○荻野　俊寛（秋田大学大学院）
3. 質疑応答

●９月２日（水）　　午前（II）の部　　第４会場
【特別セッション　学会賞受賞講演】　10:45 ～ 12:15
主催委員会：平成 26 年度表彰委員会
司会：三村　衛（委員長，京都大学）
プログラム：
1. 平成 26 年度地盤工学会賞に関する報告
三村　衛（京都大学）
2. 発表及び質疑（○印：口頭発表者）
【環境賞／技術賞部門】
・地盤環境賞　道路維持管理における放射性物質で汚染された発生土砂の土壌洗浄技術による処理・減容化に関する取組み
磯松　教彦、安藤　淳也、高畑　修、○熊田　正次郎（福島県土木部）、宮口　新治、門間　聖子、石山　宏二、保高　徹生、小峯　秀雄
・地盤環境賞　災害廃棄物・津波堆積物の復興資材としての再利用に向けた取組　－石巻ブロック災害廃

棄物処理業務についてー
宮城県、○鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木・若築・橋本・遠藤　特定共同企業体
・技術業績賞　三陸鉄道における地盤構造物による災害復旧工事（耐震・津波抵抗性の向上）
三陸鉄道（株）、○（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構
・技術開発賞　土砂災害の警戒避難支援のための斜面崩壊の予兆検知システム
王　林、○内村　太郎（東京大学）、西江　俊作、山口　弘志、瀬古　一郎、東畑　郁生、Qiao Jianping、Rolando P. Orense
・技術開発賞　小径倍圧型水圧ピストンサンプラー
○正垣　孝晴（防衛大学校）、中野　義仁

【研究・論文賞部門】
・研究業績賞　生態地盤学の創成と展開に関する研究
○佐々　真志（港湾空港技術研究所）
・論文賞（和文部門）　震災履歴を有する河川堤防20kmにおける地盤調査地点を考慮した液状化危険度解析とその有効性検証
○大竹　雄（新潟大学）、本城　勇介、平松　佑一、吉田　郁政、佐古　俊介、中山　修、長野　拓朗
・論文賞（和文部門）　溶存イオンデータの多変量解析に基づいた広域地下水流動系の評価
○神谷　浩二（岐阜大学）、眞鍋　洋、山崎　勲
・論文賞（和文部門）　固体系廃棄物の地盤工学的有効利用における遮水性コーティングの可能性
○稲積　真哉（国立明石工業高等専門学校）、川端　秀雄、重松　祐司、宍戸　賢一
・論文賞（英文部門）　Stability of caisson-type breakwater foundation under tsunami-induced seepage
高橋　英紀、○佐々　真志（港湾空港技術研究所）、森川　嘉之、高野　大樹、丸山　憲治
・論文賞（英文部門）　Centrifuge model tests on piled raft foundation in sand subjected to lateral and moment loads
○澤田　幸平（大成建設）、竹村　次朗
・研究奨励賞　地盤と構造物の耐震性評価の信頼性向上を目的とした既往の大規模地震において被災地点に作用した地震動の評価
○秦　吉弥（大阪大学）
・研究奨励賞　2011年東北地方太平洋沖地震における地震動特性
○後藤　浩之（京都大学防災研究所）

3. 質疑応答
4. 閉会挨拶
三村　衛（京都大学）

●９月１日（火）　午前（I）の部　第５会場
【一般ー規格・基準，設計法①】　9:00 ～ 10:30
座　長：谷　和夫（防災科学技術研究所）

26　樋門の耐震対策詳細設計における CIM の試行
水長　徹（川崎地質）・高尾　浩・飯田　誠
27　斜面防災に関わる社会インフラ維持管理教育
廣田清治（愛媛大）・竹田正彦・矢田部龍一
28　水系フルボ酸の機能を解りやすく可視化する試み（生化学的な鉄イオンとフルボ酸のキレート作用）
奈良崎浩美（帝人エコサイエンス）・吉見　昭・肴倉宏史・乾　　徹・勝見　武
29　名神高速道路多賀地区盛土のり面災害復旧に関する報告
後藤健二（NEXCO 中日本）
30　硬質地盤対応型ラディッシュアンカー工法の開発
蓮香朋宏（小野田ケミコ）・高橋　徳・館山　勝・田村幸彦
31　Particle breakage in granular materials observed by laboratory test
黄　千紋（首都大学東京）・吉嶺充俊
32　覆土工における排水能力の評価
岡田真理子（神戸大）・生田勇輝・飯塚　敦・河井克之・坂尾亮太・小原義之
33　堤内基盤排水工を離散配置とした盤膨れ対策の効果検討のための模型実験
平林　学（土研）・吉田直人・石原雅規・佐々木哲也
34　地下鉄トンネルの検査データに基づく河川下区間での健全度評価に関する研究
三浦丈典（早大）・赤木寛一・小西真治・西村高明・村上哲哉・鈴木彰吾

●９月１日（火）　午前（II）の部　第５会場
【一般ー規格・基準，設計法②】　10:45 ～ 12:15
座　長：曽根　照人（ニュージェック）

35　非線形動的解析のための地盤の変形特性試験に関する一考察 その１
井澤　淳（鉄道総研）・室野剛隆
36　非線形動的解析のための地盤の変形特性試験に関する一考察 その２
山田眞一（基礎地盤コンサルタンツ）・井澤　淳・室野剛隆
37　孔内局部載荷試験による岩石の物性測定に関する研究
丸山祐司（川崎地質）・皿井剛典・澤口啓希・岩月栄治
38　地盤全体系の非線形特性を表現する指標としての規準変位の有効性
日野篤志（ジェイアール総研エンジニアリング）・坂井公俊
39　地盤の非線形性を考慮した簡易な表層地盤の挙動評価手法に関する検討
宇佐美敦浩（鉄道総研）・井澤　淳・坂井公俊・小島謙一・室野剛隆
40　液状化判定に用いる液状化抵抗比（τ_1 / σ_v'）に関する一考察ーせん断歪振幅と繰返し回数ー
花岡俊久（応用地質）・木場綾乃・横田幸治・澤田俊一
41　環境振動対策への WIB 工法による性能設計事例
竹宮宏和（E&D テクノデザイン）・黒柳真司・小松明弘

●９月１日（火）　午後（I）の部　第５会場
【特別セッション　地盤工学会におけるダイバーシティの実現】　13:15 ～ 14:45

主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
座　長：和田　里絵（応用地質））
プログラム：
1. 概要紹介
田中　真弓（鹿島建設）
2. 話題提供
(1) 山田　菊子（土木学会ダイバーシティ委員会幹事長）
(2) 田本　修一（寒地土木研究所）
(3) 隅倉　光博（清水建設）
(4) 渋木　雅良（中部支部シニア会員継続 WG 長）
3. フロアディスカッション
4. 総括
工藤　里絵（応用地質）

●９月１日（火）　午後（II, III）の部　第５会場
【DS-8　低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する検討】　15:00 ～ 18:15

主催委員会：低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する研究委員会
座　長：西垣　誠（岡山大学）
副座長：千々松　正和（安藤ハザマ）
プログラム：
開会挨拶
西垣　誠（委員長、岡山大学）
委員会活動の概要
千々松　正和（幹事長、安藤ハザマ）
第１部
座長：前川　太（ニュージェック）
飯島　健（前田建設工業）
1. 委員会報告
(1) WG1 活動報告：
低透水性材料としての活用の現状（前川　太）
(2) WG2 活動報告：
透水性を支配する要因の整理（飯島　健）
2. 論文発表（4 編、No.168 ～ 171）
3. 全体討議
第２部
座長：神谷　浩二（岐阜大学）
千々松　正和（安藤ハザマ）
1. 委員会報告
(1) WG3 活動報告：
低透水性材料を対象にした透水試験方法の現状（渡邊保貴）
(2) WG3 活動報告：
低透水性材料を対象にした透水試験方法の課題（神谷浩二）
(3) WG3 活動報告：
一斉試験結果（小林　一三）
2. 論文発表（5 編、No.172 ～ 176）
3. 全体討議
閉会挨拶（総括及び今後の活動内容）
西垣　誠（委員長、岡山大学）

168　実規模で施工した緩衝材（ベントナイト）の透水係数の評価
山田淳夫（原子力環境整備促進・資金管理センター）・秋山吉弘・千々松正和
169　低透水性材料であるベントナイト混合土の施工品質を評価する代替指標の提案
工藤　淳（日本原燃）・浪岡翔吾・千々松正和・木村　誠・矢込吉則
170　低透水性材料の透水試験方法に関する一考察
千々松正和（安藤ハザマ）
171　剛壁および柔壁透水試験により得られたベントナイト系材料の透水係数の比較
渡邊保貴（電力中央研究所）・田中幸久
172　小型変水位透水試験における水位差の測定方法が砂・ベントナイト混合材料の透水係数に及ぼす影響
伊藤紗由未（茨城大）・小峯秀雄・松木　駿・関口高志
173　小型変水位透水試験における砂・ベントナイト混合材料の飽和状態に関する考察
関口高志（戸田建設）・松木　駿・小峯秀雄・伊藤紗由未
174　サンプラー体型簡易現場透水試験装置の低透水土質材料への適用性
平神拓真（長岡技科大）・沼田淳紀・村田拓海
175　低透水性材料への圧力型透水試験法の適用
梅田美彦（中部土質試験協同組合）
176　1E-13m／s の透水係数を短時間で測定する高速透水試験の適用範囲の検討
中島　均（清水建設）・齋藤　亮・石井　卓

●９月２日（水）　午前（I, II）の部　第５会場
【DS-2　地盤材料試験の技能評価と精度・ばらつきの実態】　9:00 ～ 12:15

主催委員会：技能試験実施委員会
座　長：日置　和昭（大阪工業大学）
副座長：澤　孝平（関西地盤環境研究センター）
プログラム：
1. 委員会活動報告
日置　和昭（委員長、大阪工業大学）
2. 論文発表（4 編、No.1 ～ 4）
休　憩
3. 論文発表（6 編、No.5 ～ 10）

1　技能試験にみられる地盤材料試験の変動係数
日置和昭（大阪工大）・澤　孝平・中澤博志・渡辺健治・中川　直
2　地盤材料試験の技能試験における配付試料の均質性評価
山内　昇（北海道土質試験協同組合）・澤　孝平・中山義久・城野克広・藤原照幸
3　地盤材料試験の精度・ばらつきの実態ー地盤材料試験の正規性評価ー
中山義久（関西地盤環境研究センター）・城野克広・澤　孝平・藤原照幸・山内　昇
4　技能試験結果の不確かさ評価による配付試料の均質性に関する検討（その２）
澤　孝平（関西地盤環境研究センター）・中山義久・城野克広
5　アンケート結果にみられる地盤材料試験の現状と課題　―技能試験全般―
藤原照幸（地域地盤環境研究所）・稲積真哉・浜田英治・沼倉桂一・日置和昭・中川　直
6　アンケート結果にみられる地盤材料試験の現状と課題　－含水比・土粒子の密度試験－
中澤博志（復建調査設計）・稲積真哉・浜田英治・沼倉桂一・日置和昭・保坂守男
7　アンケート結果にみられる地盤材料試験の現状と課題　－土の粒度試験－
沼倉桂一（川崎地質）・稲積真哉・浜田英治・日置和昭・保坂守男
8　アンケート結果にみられる地盤材料試験の現状と課題－土の液性限界・塑性限界試験－
浜田英治（基礎地盤コンサルタンツ）・稲積真哉・沼倉桂一・日置和昭・保坂守男
9　土の粒度試験結果がばらつく要因の分析例

服部健太（大阪工大）・日置和昭
10　地盤材料の空間的不均質性が系の力学挙動の不確実性へ与える影響（河川堤体を例として）
佐竹亮一郎（群馬大）・若井明彦

●９月１日（火）　午前（I）の部　第６会場
【地盤防災－地震　一般①】　9:00 ～ 10:30
座　長：稲垣　秀輝（環境地質）
869　2014 年長野県北部地震による白馬村神城地区の被害調査（その 1）
新井　洋（国総研）・柏　尚稔
870　2014 年長野県北部地震による白馬村神城地区の被害調査（その 2）
柏　尚稔（建研）・新井　洋
871　2014 年長野県北部の地震による宅地被害状況と地盤調査結果（三日市場地区）
岡　賢一（東京電機大）・安田　進・石川敬祐・脇中康太・千葉久志・浦野倫宏・武田　陽
872　2014 年長野県北部の地震による宅地被害状況と地盤調査結果（堀之内地区）
石川敬祐（東京電機大）・安田　進・脇中康太・千葉久志・浦野倫宏・武田　陽・岡　賢一
873　二重双曲線モデルの精度評価
吉田　望（東北学院大）
874　新潟県中越地震による鉄道盛土の被害要因の検証
中村貴志（JR 東日本）・藤原寅士良・谷口善則・池本宏文
875　2014 年長野県北部の地震による白馬村の建物被害
田地陽一（清水建設）・宮腰淳一・濁川直寛・西　琢郎
876　長野県神城断層地震による宅地被害について
橋本隆雄（千代田コンサルタント）

●９月１日（火）　午前（II）の部　第６会場
【地盤防災－地震　一般②】　10:45 ～ 12:15
座　長：大竹　雄（新潟大学）
877　バラスト軌道用座屈対策工の地震時道床横抵抗力に関する大型振動台試験
中村貴久（鉄道総研）・桃谷尚嗣・薮中嘉彦・野村清順
878　計測震度と土地条件を考慮した中越・中越沖地震の家屋被害予測
高橋健太（長岡技科大）・大塚　悟・宮木康幸・中川新地
879　土構造物の崩壊挙動に対する土質定数の適正検証
山内真也（JR 東日本）・三平伸吾・伊藤企陽司・中村　宏
880　地盤－煙突構造物相互作用系の耐震性評価
中井健太郎（名大）・野田利弘・伊藤彰浩・伊勢典央
881　水位の異なる河川堤防の変形に関する地震時浸透流解析
檜尾正也（名工大）・前田健一・齊藤　啓・李　兆卿
882　塩竈水産加工場における GPS・地震計によるモニタリング
井上直人（地盤研究財団）・北田奈緒子・金澤　泉・今西　肇
883　地震観測記録による液状化地盤の地震時挙動に関する検討
保井美敏（戸田建設）・山本健史・小豆畑達哉・飯場正紀・井上波彦・田沼毅彦・渡辺一弘
884　海岸付近の建物の地震被害と地盤の関係
那須　誠（元前橋工科大）

●９月１日（火）　午後（I）の部　第６会場
【地盤防災－地震　斜面安定①】　13:15 ～ 14:45
座　長：秦　吉弥（大阪大学）
985　送電設備斜面の地震時斜面崩壊に関する遠心模型実験 ―その 1：基礎の影響と基礎構造物保全に対する抑止杭の効果―
新屋陽理（東工大）・高橋章浩・関　栄・河原忠弘・足立倫海・西　俊彰・高橋秀明・菊池美香
986　送電設備斜面の地震時斜面崩壊に関する遠心模型実験―その 2：修正震度法による地震安定性評価法の適用検討―
高橋秀明（東電設計）・新屋陽理・高橋章浩・関　栄・河原忠弘・足立倫海・西　俊彰・菊池美香
987　人工泥岩斜面の動的遠心力模型実験とその数値シミュレーション－その 1：実験結果とすべり安全率－
吉田泰基（電力中研）・石丸　真・岡田哲実・中村大史
988　人工泥岩斜面の動的遠心力模型実験とその数値シミュレーション－その 2：時刻歴非線形解析－
石丸　真（電力中研）・岡田哲実・吉田泰基・中村大史
989　仙台市造成宅地被害の特徴を岩盤のスレーキング特性と地下水から考察する
市川　健（復建技術コンサルタント）
990　非円弧すべりを仮定した斜面の地震時残留変位量の算定法
篠田昌弘（鉄道総研）
991　緩慢に変位する斜面を構成する地盤材料のクリープ試験
小早川博亮（電力中研）・納谷朋広・久野春彦

●９月１日（火）　午後（II）の部　第６会場
【地盤防災－地震　斜面安定②】　15:00 ～ 16:30
座　長：石丸　真（電力中央研究所）
992　仙台市の被災造成宅地における動的有効応力解析手法を用いた被害の再現解析
本橋あずさ（パシフィックコンサルタンツ）・門田浩一
993　東日本大震災における盛土被災要因の推察　－常磐自動車道那珂地区－
藤岡一頼（NEXCO 総研）・安部哲生・安田　進
994　1G 場での振動実験による斜面模型の崩壊挙動の分析
中村　晋（日大）・伴　一彦・五月女敦・中村　智
995　和歌山県熊野（いや）地区における大規模斜面崩壊（深層崩壊）と水ミチとの関係
金村和生（中央復建コンサルタンツ）・桜井　亘・北垣啓文・酒井　良・平野　剛・小杉賢一郎・岡島信也・園眼　定
996　局所破壊の進展を考慮した斜面の地震時安定性評価手法
島端嗣浩（東電設計）・信岡　卓
997　道路盛土の耐震性能に関する評価方法の提案
林　訓裕（阪神高速道路）・常田賢一・秦　吉弥・魚谷真基
998　谷埋め盛土地盤における被害発生位置予測のための模型地盤振動実験および釣合い計算
石井　亘（東北大）・森　友宏・風間基樹・河井　正
999　質点解析による落石の到達位置に関する再現性
吉田郁政（東京都市大）

●９月１日（火）　午後（III）の部　第６会場
【地盤防災－地震　地盤震動①】　16:45 ～ 18:15
座　長：森　伸一郎（愛媛大学）
1000　鉛直アレー記録に基づく軟弱粘性土地盤の強非線形挙動の分析
谷本俊輔（土研）・川口　剛・佐々木哲也
1001　地表加速度記録に基づく地中せん断応力分布の簡易評価法の検証
川口　剛（土研）・谷本俊輔・佐々木哲也
1002　大阪府域を対象としたパルス性地震動に対する表層地盤の増幅特性評価（その 1）
小林素直（京大）・安本　宏・林　康裕・新井　洋
1003　大阪府域を対象としたパルス性地震動に対する表層地盤の増幅特性評価（その 2）
安本　宏（京大）・小林素直・林　康裕・新井　洋
1004　東京ベイエリアの広域地盤震動解析（その 1：解析条件と FEM モデルの検証）
濁川直寛（清水建設）・福武毅芳・田地陽一
1005　東京ベイエリアの広域地盤震動解析（その 2：解析結果と考察）
福武毅芳（清水建設）・濁川直寛・田地陽一
1006　地盤の逆断層型破壊に伴う地震動的不規則波生成の有限変形シミュレーション
山岡大祐（名大）・山田正太郎・野田利弘・浅岡　顕
1007　横ずれ断層に伴う地表面のリーデルせん断帯の発生に及ぼす材料的初期不整の影響
豊田智大（名大）・野田利弘・山田正太郎・浅岡　顕

●９月２日（水）　午前（I）の部　第６会場
【地盤防災－地震　地盤震動②】　9:00 ～ 10:30
座　長：野津　厚（港湾空港技術研究所）
1008　宮城県北部を震源とする歴史地震による鳴瀬川流域での強震動の評価
酒井久和（法政大）・秦　吉弥・一井康二
1009　高密度中小地震観測に基づく和歌山県広川町でのサイト増幅特性の評価
秦　吉弥（大阪大）・常田賢一・湊　文博
1010　高密度常時微動計測に基づく和歌山県串本町の津波来襲予想地域における強震動予測
湊　文博（大阪大）・秦　吉弥・山田雅行・常田賢一・鍬田泰子・小山真紀
1011　強震動予測と歩行実験のハイブリッド評価に基づく津波避難余裕時間の試算
山田雅行（大阪大）・湊　文博・秦　吉弥・常田賢一・鍬田泰子・小山真紀
1012　動的変形特性試験を実施する土層の定量的な評価手法の提案
坂井公俊（鉄道総研）・上田恭平
1013　八戸地域特有の火山灰質粘性土の繰返しせん断特性を考慮した一次元地震応答解析
橋詰　豊（八戸工大）・小山直輝・金子賢治
1014　浦安市における常時微動観測結果と表層地盤構造との関係
平井俊之（ニュージェック）・大島昭彦・新井　瞬・堤　杏紗
1015　常時微動観測に基づく地盤の堆積構造の推定
石川　諒（高知大）・原　忠・山田雅行・竹澤請一郎・伊藤佳洋
1016　長野県神城断層地震における宅地被害と表層地盤の振動特性
三辻和弥（山形大）・大野　晋

●９月２日（水）　午前（II）の部　第６会場
【地盤中の物質移動－地下水移動，移流拡散】　10:45 ～ 12:15
座　長：椋木　俊文（熊本大学）
459　地下構造物の幅を考慮した地下水流動阻害影響の評価
高坂信章（清水建設）
460　濃尾平野の長良川扇状地における地下水流動・水温形成の地域性
近藤貴之（岐阜大）・神谷浩二・堀口　翔
461　水圧破砕における進行する亀裂先端の圧力時間変化に関する簡易水理モデル
細田　尚（京大）・岸田　潔・安原英明・Derek Elsworth
462　不整合メッシュによる地下水浸透流解析システムの開発
鈴木隼人（JP ビジネスサービス）・井田文雄・尾留川剛・西本吉伸
463　河川堤防における高水敷に着目した浸透挙動に関する考察
富澤彰仁（建設技術研究所）・李　圭太・小林猛嗣・小西康之・柚木真介・藤田庸介・小山倫史・大西有三
464　特殊バキュームウェル工法の数値解析法の提案と施工管理への適用（第一報）
本多顕治郎（エーバイシー）・植松祐亮
465　多孔質媒体内の微細気泡挙動に関する基礎的研究
濱本昌一郎（東大）・二瓶直登・上田義勝・西村　拓
466　密度変化を有する間隙溶液の移動性評価手法と適用性の検討
野村　瞬（日大）・前野賀彦
467　粒径および熱物性が飽和多孔質媒体内の熱分散現象に与える影響
万代俊之（東大）・濱本昌一郎・井本博美・西村　拓

●９月３日（木）　午前（I）の部　第６会場
【地盤中の物質移動－地盤浸透①】　9:00 ～ 10:30
座　長：進士　喜英（日本原燃）
468　中間貯蔵施設の遮水工設計を想定した砂とベントナイトから構成される二層構造の吸水特性
浦田智仁（早大）・小峯秀雄
469　岩盤割れ目への樹脂の浸透解析
田中靖治（電力中研）

470　火山灰質地盤における透水性能の構造異方性の評価
木村充宏（エス・ビー・シー）・中田隆文・
宮浦征宏
471　礫地盤の透水異方性に関する考察
清水孝昭（竹中工務店）・中島朋宏
472　砂質地盤への透水性向上を目的としたハイドロフラクチャリング（その３：長期性能）
中島朋宏（竹中工務店）・清水孝昭・樋原達夫

●９月３日（木）　午前（II）の部　第６会場
【地盤中の物質移動－地盤浸透②】　10:45 ～ 12:15
座　長：森　友宏（前橋工科大学）
473　サクションポンプの排水効率への影
松本直也（テイコク）・杉井俊夫・余川弘至・
梅基哲矢
474　都市型水害軽減のための雨水浸透桝の設置効果の評価
白　濟民（神戸大）・橋本真基・齋藤雅彦・澁谷　啓・
許　晋碩・小畑博之・齋藤　学
475　土中水分量計測データを用いた河川堤防内の降雨浸透挙動に関する考察
竹下祐二（岡山大）・宅野完了・金　秉洙
476　河川堤防の間隙空気噴発を抑制する透気・防水性シート工の基礎的検討
大場敬士（岐阜大）・神谷浩二・山田周作・
石田正利
477　原位置試験を考慮した不飽和透水特性の評価法の開発
大谷彩圭（ダイヤコンサルタント）・杉井俊夫・
余川弘至・日向　萌・山田公夫

●９月３日（木）　午後（I）の部　第６会場
【地盤中の物質移動－地盤浸透③】　13:15 ～ 14:45
座　長：前田　健一（名古屋工業大学）
478　不完全貫入井戸の揚水流量算定式に関する考察
樋原達夫（竹中工務店）・清水孝昭・中島朋宏
479　三次元浸透破壊実験地盤の詳細解析と透水係数逆解析
舘村　立（神戸大）・田中　勉・永井　茂・
井上一哉
480　Darcy-Brinkman 式による多孔質体周囲の非定常流シミュレーション
佐藤真理（京大）・藤澤和謙・村上　章
481　大気－表流水－地下水混相流連成数値解析
日比義彦（名城大）・冨樫　聡・柏原あゆみ
482　堤体基礎の浸透破壊現象への限界流速の適用
杉井俊夫（中部大）・余川弘至・山田公夫・浅野憲雄・
高田拓哉・小嶋拓也
483　Hydrus による現地計測結果に基づく雨水浸透の逆解析
臼木陽平（大阪大）・小田和広・小泉圭吾・徳田早映・
伊藤真一・竹本　将・藤原　優・森下　泰
484　粘性流体解析による局所動水勾配に関する検討
野原慎太郎（電力中研）

●９月３日（木）　午後（II）の部　第６会場
【地盤中の物質移動－地盤浸透④，浸食】　15:00 ～ 16:30
座　長：野々山　栄人（防衛大学校）
485　二次元 DEM-LBM 連成計算による Hole Erosion Test の数値シミュレーション
藤名瑞耀（京大）・福元　豊・村上　章
486　土粒子と間隙流を効率よく直接解くための PS-MRT Lattice Boltzmann モデル
福元　豊（京大）・村上　章
487　浸透流による盛土内細粒分の下方向の移動に及ぼす要因の実験的検討
堀越一輝（東工大）・高橋章浩
488　管渠周りの地盤の陥没危険度に及ぼす空洞耐力の影響
佐藤弘瑛（名工大）・前田健一・近藤明彦・
新井拓弥
489　粒度分布形状に着目した粒状体の内部浸食のマイクロメカニクス
近藤明彦（名工大）・前田健一・佐藤弘瑛・
新井拓弥
490　多相連成有限要素法による地盤の内部侵食の数値解析
冨田和秀（京大）・赤木俊文・木元小百合
491　透水性鋼矢板周りの浸透流による砂質土の内部侵食に関する実験的研究
丸山貴広（東工大）・小柿　響・堀越一輝・
高橋章浩
492　透水性鋼矢板まわりの内部浸食進展に関する解析的研究
小柿　響（西日本電信電話）・丸山貴広・堀越一輝・
高橋章浩

●９月１日（火）　午前（I）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化①】　9:00 ～ 10:30
座　長：原　忠（高知大学）
885　地下水位低下回復による液状化抑止工法の検討
その１遠心模型実験
石川　明（清水建設）・関口　徹・中井正一・
眞野英之
886　地下水位低下回復による液状化抑止工法の検討
その２評価指標
中井正一（千葉大）・関口　徹・石川　明・
眞野英之
887　小規模建築物に対する液状化対策工法の比較例（その４：課題の整理）
二川和貴（積水化学工業）・権田将也・益子貴幸・
金　哲鎬・佐藤　隆・下村和也・平出　務・
若井明彦
888　小規模建築物に対する液状化対策工法の比較例（その５：解析結果）
渡邉泰介（地震工学研究所）・若井明彦・高田　徹・
松下克也・小川正宏・金子雅文・川崎淳志・
平出　務
889　山留め壁で囲まれた地盤の液状化挙動　－その１.壁との位置関係による影響－
西山高士（大林組）・渡辺和博
890　山留め壁で囲まれた地盤の液状化挙動　－その２.杭の存在による影響－
渡辺和博（大林組）・西山高士
891　既設防潮堤基礎地盤の耐震性評価に関する事例研究（その１）－液状化強度特性－
佐野祥男（神戸大）・片岡沙都紀・若本達也・
タラニディ ロハニ・澁谷　啓
892　既設防潮堤基礎地盤の耐震性評価に関する事例研究（その２）－非排水繰返し強度特性に及ぼすサンプリング方法の影響－
若本達也（神戸大）・片岡沙都紀・佐野祥男・
タラニディ ロハニ・澁谷　啓

●９月１日（火）　午前（II）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化②】　10:45 ～ 12:15
座　長：内田　明彦（竹中工務店）
893　既設戸建住宅に適用可能な高圧噴射撹拌工法の開発－その１：楕円状コラムの開発に関わる基礎実験－
太田光貴（前田建設工業）・山内崇寛・川西敦士・
宮　　朗・手塚広明
894　既設戸建住宅に適用可能な高圧噴射撹拌工法の開発－その２：確実な品質を確保するための品質管理方法の確立－
川西敦士（前田建設工業）・山内崇寛・太田光貴・
宮　　朗・手塚広明
895　既設戸建住宅に適用可能な高圧噴射撹拌工法の開発－その３：性能確認試験－
山内崇寛（前田建設工業）・川西敦士・太田光貴・
宮　　朗・手塚広明
896　脈状注入工法による液状化対策の提案
大西高明（ライト工業）・林田　晃・入山　修・
井澤　淳・上田恭平・舘山　勝・藤原寅士良
897　脈状注入による液状化対策効果の評価手法に関する検討
小島謙一（鉄道総研）・井澤　淳・上田恭平・
舘山　勝・大西高明・林田　晃・入山　修・
藤原寅士良
898　脈状注入改良地盤の品質確認手法に関する検討
水野弘二（JR 東日本）・藤原寅士良・舘山　勝・
井澤　淳・小島謙一・上田恭平・大西高明・
林田　晃・入山　修
899　連続した地震動を対象とした振動台実験と余震による液状化評価
小林孝彰（港空研）・佐々真志・渡辺啓太・
山崎浩之
900　互層地盤の液状化評価と対策効果の比較
渡辺啓太（港空研）・佐々真志・小林孝彰・
山崎浩之

●９月１日（火）　午後（I）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化③】　13:15 ～ 14:45
座　長：原田　健二（不動テトラ）
901　静的圧入締固め工法の施工本数の違いによる隆起抑制効果について
竹之内寛至（三信建設工業）・山崎浩之・佐々真志・
小西　武・山田和弘・岡見　強・善　功企
902　静的圧入締固め工法の表面拘束効果に関する模型実験
足立雅樹（みらい建設工業）・山崎浩之・佐々真志・
新坂孝志・高田圭太・岡田　宙・高橋　但・
善　功企
903　ジオシンセティックス液状化変形抑制工法の動的遠心模型試験
倉知禎直（エターナルプレザーブ）・高橋章浩・
関　　栄・Avantio Pramadiya・Aung Hla・
久保幹男
904　ジオシンセティックス液状化変形抑制工法の動的遠心模型試験に対する解析的検討
Aung Hla（エターナルプレザーブ）・高橋章浩・
倉知禎直・久保幹男
905　排水性材料による地上構造物の液状化対策
森河由紀弘（名工大）・田中雄也・前田健一・
張　　鋒・佐藤智範
906　排水性材料による埋設構造物の液状化対策
田中雄也（名工大）・森河由紀弘・前田健一・
張　　鋒・佐藤智範
907　既設戸建住宅の基礎に丸太を連結する液状化対策に関する模型振動実験
吉田雅穂（福井高専）・坂下和也・三輪　滋
908　排水機能付き丸太を用いた液状化対策に関する基礎的検討
五十島康平（福井高専）・吉田雅穂

●９月１日（火）　午後（II）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化④】　15:00 ～ 16:30
座　長：高橋　章浩（東京工業大学）
909　丸太打設液状化対策の実施工事例の概要と設計
沼田淳紀（飛島建設）・村田拓海・三輪　滋・
原　　忠・坂部晃子・三村佳織
910　丸太打設液状化対策の実施工地点におけるサウンディング試験
村田拓海（飛島建設）・沼田淳紀・三輪　滋・
原　　忠・坂部晃子・三村佳織
911　丸太打設液状化対策の実施工地点における表面波探査と微動観測
三輪　滋（飛島建設）・原　　忠・沼田淳紀・
村田拓海・三村佳織・坂部晃子
912　丸太打設液状化対策の実施施工地点における液状化試験
坂部晃子（高知大）・原　　忠・三村佳織・沼田淳紀・
村田拓海・三輪　滋
913　鋼管打設による地盤の改良効果に関する研究
その１：室内試験
石濱吉郎（新日鐵住金）・松宮弘信・杉村裕二・
伊勢典央
914　鋼管打設による地盤の改良効果に関する研究
その２：現場試験
杉村裕二（新日鐵住金）・松宮弘信・伊勢典央・
石濱吉郎
915　鋼管打設による地盤の改良効果に関する研究
その３：周辺地盤の応力変化
松宮弘信（新日鐵住金）・杉村裕二・石濱吉郎・
伊勢典央

●９月１日（火）　午後（III）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑤】　16:45 ～ 18:15
座　長：永尾　浩一（佐藤工業）
916　土粒子移動に着目した年代効果メカニズムの解明
田中宏治（東大）・東畑郁生・後藤　茂・
ブラウン フィリップ
917　静的圧入締固め工法の打継ぎ施工
新坂孝志（三信建設工業）・入澤一明・岡野英和・
渡邉英雄・木村陽輔
918　三つの地震による江合川堤防の被害の比較
脇中康太（川崎地質）・安田　進・石川敬祐・
北村友依・岡　賢一・丸山涼友
919　格子状地盤改良工法における格子間隔の簡易設定法
内田明彦（竹中工務店）・津國正一・小西一生
920　三軸 BE 試験による砂の液状化強度と S 波速度に及ぼす細粒分の影響
笹岡里衣（中央大）・國生剛治・林　夏希・
小枝千尋
921　不規則波を用いた非排水繰り返しせん断試験のエネルギー的分析と液状化判定への適用性

國生剛治（中央大）・金子陽輔・岡田侑子

922　砂圧入式静的締固め工法における珪石粉混合材料による圧入効果
久保陽太郎（SAVE-SP 工法研究会）・鵜野雅明・竹内秀克

923　不飽和を考慮した有限変形理論に基づく河川堤防の液状化解析
由井洋和（京大）・木元小百合・岡二三生

●９月２日（水）　午前（I）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑥】　9:00 ～ 10:30
座　長：西村　聡（北海道大学）

924　本震および余震を考慮した浦安市域の地盤の液状化解析
松岡浩志（京大）・木元小百合・由井洋和

925　過圧密・微量のセメント添加・不飽和化の浦安砂の液状化抵抗に及ぼす影響
萩原翔太郎（東京理科大）・塚本良道・兵動太一・高橋耀介

926　砂質土の液状化抵抗に及ぼす液状化履歴の影響
下垣　啓（東京理科大）・塚本良道・兵動太一・高橋耀介

927　グラベルパイルを用いた宅地地盤の液状化対策における地盤改良効果の検討
白井佑季（長岡技科大）・大塚　悟・折戸清治

928　常時液状化にある模型地盤の試作
秋元宏仁（東京都市大）・末政直晃

929　細粒分を含む砂質土を用いた繰返し三軸試験と繰返しねじりせん断試験の液状化強度の比較
上田準也（京大）・岩井裕正・木元小百合

930　A Centrifuge Model Study of Piled-Raft Foundation with Driven and non-Driven piles in Liquefiable Sand
Seyed Mohammad Sadegh Sahraeian（東工大）・竹村次朗・閔　　栄

931　砂の粒子構造が及ぼすコーン貫入抵抗値と液状化強度の関係についての三軸試験
俊成優太（東工大）・國生剛治・井上広基

●９月２日（水）　午前（II）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑦】　10:45 ～ 12:15
座　長：珠玖　隆行（岡山大学）

932　液状化地盤における既設杭基礎シートパイル補強工法に関する模型振動実験
松浦光佑（鉄道総研）・喜多直之・田中隆太・西岡英俊・佐名川太亮・樋口俊一・戸田和秀

933　格子状地盤改良工法における非液状化層厚さと沈下量の関係
津國正一（竹中土木）・野口達也・内田明彦・今井政之・小西一生

934　アーチ効果を受ける埋立地盤の相対密度と土圧の変化
山田かりん（広島大）・高町茉莉・一井康二・洪　汶宜

935　締固め砂杭工法の貫入／造成過程における密度増加に関する考察
原田健二（不動テトラ）・大林　淳・矢部浩史

936　連結基礎による戸建住宅の液状化対策に関する検討
日野和也（東工大）・田村修次・時松孝次

937　液状化強度曲線に与えるサンプリング方法の影響
三上武子（応用地質）・吉田　望・原田健二

938　液状化地盤の変形挙動に関する拡張型相似則の適用性に関する一斉試験
白　　可（京大）・飛田哲男・岡村未対・竹村次朗・井合　進

939　間隙水圧計測を伴う動的コーン貫入試験による不飽和化地盤調査方法の室内実験
永尾浩一（佐藤工業）・中澤博志・末政直晃・神宮司元治

●９月３日（木）　午前（I）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑧】　9:00 ～ 10:30
座　長：小濱　英司（港湾空港技術研究所）

940　供用中の空港における砂圧入式静的締固め工法の適用事例
高山英作（不動テトラ）・梅木洋人・高橋伸一・内生蔵一樹

941　既設河川構造物の耐震化における揺動式高圧噴射撹拌工法の適用事例
伊藤竹史（不動テトラ）・高山英作・岡戸雅則・大竹　洋・江川康夫

942　微生物代謝を利用した固化試料の液状化強度
古山田耕司（鹿島建設）・鈴木康嗣・安達直人・秀川貴彦・上野嘉之

943　東北地方太平洋沖地震において泥流状崩壊した二戸しらすの飽和・不飽和液状化強度試験
清原雄康（八戸高専）

944　小径コラムによる液状化に対する改良効果と締固め設計法への適用性について
山田雅人（旭化成建材）・前嶋　匡・槙枝丈史・牧田晃介

945　液状化試験と各指針による液状化強度との比較について
永井久徳（鴻池組）・大島昭彦・岡二三生・日置和昭・甲斐誠士・佐川厚志・平井孝治・深井晴夫・河崎和文

946　東京国際空港 C10 誘導路における砂圧入式静的締固め工法の適用について
杉本知弘（不動テトラ）・小松　陽・清水　勇・飯島　遼・太田和行

947　時間経過後の締固め砂杭改良地盤特性
林田敏彦（不動テトラ）・小松　陽・田邊重雄・今井優輝

●９月３日（木）　午前（II）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑨】　10:45 ～ 12:15
座　長：高野　大樹（港湾空港技術研究所）

948　砂地盤の締固めを目的とした海上 SCP 工法の改良効果
高田英典（不動テトラ）・尾形　太・鈴木亮彦・竹内秀克

949　盛土の液状化対策における診断および対策に関する一考察
中村　宏（JR 東日本）・三平伸吾・柏木　司・桐生郷史・山内真也

950　上部地盤の弾塑性応答解析に基づいた（地中）観測地震波からの入力地震動の推定　－ 3.11 品川、浦安の事例から－
金田一広（竹中工務店）・浅岡　顕・野田利弘・中井健太郎・澤田義博

951　炭酸カルシウム生成微生物量の変化と微生物固化試料の強度との関係
打木弘一（基礎地盤コンサルタンツ）・野田典広・細堀建司・星山　尚・五十嵐央・伊藤恵輔・佐野厚生・林　三男

952　過剰間隙水圧消散工法を用いた護岸構造物を有する人工埋立地盤の液状化対策効果の数値解析的検討
野中俊宏（名大）・山田正太郎・野田利弘・浅岡　顕

953　格子状地盤改良における非液状化層の効果に関する研究
今井政之（竹中土木）・本多　剛・金田一広・小西一生・東中邦夫

954　常時微動観測による丸太打設液状化対策工法の改良効果の検討
三村佳織（高知大）・原　　忠・坂部晃子・石川　諒・沼田淳紀

955　細粒分が液状化後のせん断変形に及ぼす影響
金　鍾官（東北大）・河井　正・風間基樹・森　友宏

●９月３日（木）　午後（I）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑩】　13:15 ～ 14:45
座　長：渦岡　良介（徳島大学）

956　千葉県浦安市を対象とした液状化ハザードマップの高度化に向けた取り組み
梶原和博（横浜国大）・Rama Mohan Pokhrel・清田　隆・小長井一男・丸山正則

957　千葉県香取市噴砂試料による液状化強度特性とその一考察
佐々木聡樹（木更津高専）・鬼塚信弘

958　地下水流動解析による地下水位低下工法の適用性の検討
蘇　育廷（茨城大）・村上　哲

959　液状化による噴砂発生メカニズムに関する模型実験
堀内佑樹（東大）・Anh Ngo Ngoc・桑野玲子・桑野二郎

960　地震応答解析による液状化地盤の地下水位と水道管被害の関係
五十嵐翔太（東京電機大）・安田　進・石川敬祐・浦野倫宏

961　Undrained cyclic behavior of non-plastic silty sand using hollow cylindrical torsional shear device
Naveed Ahmad（東大）・Ikuo Towhata

962　Increase In Apparent Liquefaction Resistance Due To Drainage For A Thin Saturated Layer
Fred Charles Nelson（愛媛大）・岡村未対

●９月３日（木）　午後（II）の部　第７会場
【地盤防災－地震　液状化⑪】　15:00 ～ 16:30
座　長：竹内　秀克（不動テトラ）

963　薄鋼矢板を用いた液状化被害軽減工法に関する実験的研究　－１／４スケール振動台実験　地震の繰返しによる影響－
金子雅文（住友林業）・安田　進・平出　務・三上和久・尾澤知憲・佐々木修平

964　小型機械撹拌式深層混合処理機における鉛直精度管理システムの開発
立山勲矢（竹中土木）・小西一生・中馬忠司・奈須徹夫

965　軟弱な砂地盤上の本体盛土における押え盛土の地震時残留変形抑制効果に関する実験的研究
鬼塚充明（九工大）・永瀬英生・廣岡明彦・山本芳裕・藤白隆司

966　1g 場振動台模型実験装置を用いた繰返し再液状化実験による地盤特性の変化
野口武彦（茨城大）・村上　哲

967　立体網状スパイラル構造排水材の液状化対策効果に関する解析的研究
津田裕也（中部大）・余川弘至・八嶋　厚・吉原孝保・須田楓可・山田公夫

968　宅地地盤の液状化対策におけるパイプ工法の適用性の検討
北田宗一郎（長岡技科大）・大塚　悟・土田雄大・Trung Nguyen Bao

969　異方性を考慮した砂質土の繰返し弾塑性構成式
木元小百合（京大）・上田準也・岩井裕正・岡二三生

970　液状化時の地盤支持力に関する実験的研究
余川弘至（中部大）・浅野憲雄・杉井俊夫・山田公夫・張　　岩

●９月１日（火）　午前（I, II）の部　第８会場
【DS-3　歴史的地盤構造物の修復と保全】　9:00 ～ 12:15

主催委員会：ATC19 国内委員会
座　長：岩崎　好規（地域地盤環境研究所）
副座長：三村　衛（京都大学）
プログラム：
1. 論文発表（11 編、No.11 ～ 21）

11　墳丘盛土の修復・保存のためのキャピラリーバリアの室内模型実験
澤田茉伊（京大）・三村　衛・吉村　貢

12　古墳墳丘の締固めエネルギーに関する一考察
吉村　貢（ソイルアンドロックエンジニアリング）・三村　衛・澤田茉伊・松浦良信

13　国史跡名越切通「大切岸」の保存対策
小林　恵（応用地質）・橋本直樹・澤田正昭・橋口　稔・高松　誠

14　カッパドキア岩窟教会の風化メカニズムに関する調査研究　－初回調査報告－
小泉圭吾（大阪大）・朴　春澤・渡辺晋生・伊庭千恵美・谷口陽子・佐野勝彦

15　タイ王国アユタヤ遺跡の仏塔の傾斜と地盤との関係についての一考察
藤井幸泰（深田地質研究所）・渡邉邦夫・Uruya Weesakul・Nakhorn Poovarodom・Bhakapong Bhadrakom

16　富岡製糸場西置繭所の基礎と建物の変形
正垣孝晴（防衛大）・中川原雄太・藤井幸泰

17　国指定史跡名越切通における崖面の保存対策工事の効果検証
橋口　稔（応用地質）・小林　恵・橋本直樹・澤田正昭

18　アンコール遺跡基壇盛土材料の選定と締固め特性
福田光治（大成ジオテック）・岩崎好規・本郷隆夫・中川　武・新谷眞人・山田俊亮・石塚充雅・下田一太

19　アンコール遺跡バイヨン中央塔における精密写真測量を用いた塔体・基壇の石積み変状の計測
中西由起（関西大）・小山倫史・橋本涼太・岩崎好規

20　アンコール・バイヨン寺院中央塔重量積石構造物の直接基礎としての砂質盛土地盤特性
岩崎好規（地域地盤環境研究所）・福田光治・原口　強・下田一太・北村篤実・井出善明・徳永朋祥・茂木勝郎・中川　武

21　「三国志」魏志東夷伝に見る古代東アジアの地盤構造物
鬼塚克忠

●９月１日（火）　午後（I, II）の部　第８会場
【DS-11　東日本大震災による住宅地被害からの復興】　13:15 ～ 16:30

座　長：安田　進（東京電機大学）
副座長：橋本　隆雄（千代田コンサルタント）
プログラム：
1. 趣旨説明
安田　進（東京電機大学）
2. 液状化被害からの復興
座長：大林　淳（不動テトラ）
(1) 論文発表（7 編、No.855 ～ 861）、質疑
(2) 討論
3. 丘陵の造成地の被害および津波被害からの復興
座長：橋本　隆雄（千代田コンサルタント）
(1) 論文発表（7 編、No.862 ～ 868）、質疑
(2) 討論
4. 総合討論
座長：安田　進（東京電機大学）

855　2011 東日本大震災における傾斜家屋の修復事例
諏訪靖二（諏訪技術士事務所）・有馬重治・執行　晃・神宮司悠介

856　格子状地中壁工法と個々の既設住宅直下地盤の液状化対策について
尾上篤生（興亜開発）・蔡　　飛・北村謙吉・広井恵二

857　千葉市美浜区における液状化被害概要と対策に向けた取り組み
関口　徹（千葉大）・中井正一

858　埼玉県久喜市南栗橋地区の液状化対策工法
澤田俊一（応用地質）・古関潤一・若松加寿江・松下克也

859　茨城県における住宅地の液状化対策：現状と課題
安原一哉（茨城大）・安田　進・村上　哲・橋本隆雄

860　液状化対策としての広域な地下水位低下方法と排水量
橋本隆雄（東京電機大）・安田　進

861　水位低下による液状化対策における地盤の沈下量と水圧低下
安田　進（東京電機大）・橋本隆雄

862　関東地方のミニ開発造成地における宅地の液状化被害の実態と課題
若松加寿江（関東学院大）・古関潤一

863　切盛境界の被害分析について
山口秀平（復建技術コンサルタント）・佐藤真吾・南　陽介

864　丘陵地造成宅地の地震被害リスクと課題
佐藤真吾（復建技術コンサルタント）・風間基樹・河井　正・森　友宏

865　仙台市の被災造成宅地の復旧・耐震補強設計における課題
門田浩一（パシフィックコンサルタンツ）・本橋あずさ・金子俊一郎

866　仙台市の造成宅地被害とその復旧事業から学ぶべきこと
飛田善雄（東北学院大）

867　地震時被災宅地の復旧から事前対策に向けて
沖村　孝（建設工学研究所）

868　UR 都市機構における震災復興市街地整備事業の概要
西村真二（都市再生機構）

●９月１日（火）　午後（III）の部　第８会場
【特別セッション　汚染水対策・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラムの必要性】　16:45 ～ 18:15

主催委員会：会長特別懇談会
座　長：東畑　郁生（関東学院大学）
副座長：小峯　秀雄（早稲田大学）
プログラム：
1. 概要紹介
東畑　郁生（関東学院大学）
2. 廃炉に向けた各社の人材育成の考え方
(1) 樋口　義弘（清水建設）
(2) 深谷　正明（大林組）
3. フロアディスカッション
4. 総括
小峯　秀雄（早稲田大学）

●９月２日（水）　午前（I）の部　第８会場
【DS-5　多発する地盤災害に挑む時間・空間のマルチスケール解析・実験技術】　9:00 ～ 10:30

主催委員会：TC105 国内委員会
座　長：中田　幸男（山口大学）
副座長：森口　周二（東北大学）
プログラム：
1. 趣旨説明
森口　周二（幹事、東北大学）
2. 論文発表（9 編、No.846 ～ 854）
3. ディスカッション
4. 総括
中田　幸男（委員長、山口大学）

846　山口県防府市石原地区の土石流扇状地の地盤構成と土石流および洪水発生頻度に関する一考察
阪口和之（アジア航測）・松木宏彰・楮原京子・松原輝明・鈴木素之

847　広島市安佐南地区・可部東地区の土石流扇状地の地層構成と発生頻度
松木宏彰（復建調査設計）・阪口和之・鈴木素之・楮原京子

848　土石流危険渓流での地下水圧の現場計測
中田幸男（山口大）・村上豊和・下野宗彦・中本昌希

849　粒子法を用いた広域長期間地形変動解析
松島亘志（筑波大）

850　自然災害予測のための粒子配向に及ぼす力学的堆積環境の影響
前田健一（名工大）・内藤直人・齊藤　啓・奥村勇太

851　Material Point Method の浅い基礎の支持力問題への適用
桐山貴俊（清水建設）

852　粒状体の屈折率マッチング可視化技術を用いた薬液注入過程の再現実験
高野大樹（港空研）・小林孝彰・宮田喜壽・森川嘉之

853　不飽和砂の排水および湿潤過程における間隙水の連続性の評価
木戸隆之祐（京大）・肥後陽介

854　発破後のトンネル切羽の応力状態に関する検討
吉川直孝（安衛研）・伊藤和也・堀　智仁・三田地利之

●９月２日（水）　午前（II）の部　第８会場
【特別セッション　断層の問題　～地盤工学は何ができるのか～】　10:45 ～ 12:15

主催委員会：断層問題に関する理工学合同委員会
座　長：國生　剛治（中央大学）
副座長：大塚　康範（応用地質）
プログラム：
1. 趣旨説明
2. 話題提供（予定）
東畑　郁生（関東学院大学・教授，地盤工学会・会長）
大津　直（北海道立総合研究機構地質研究所・研究主管）
添田　孝史（サイエンスライター）
奈良林　直（北海道大学・教授）
谷　和夫（防災科学技術研究所・契約研究員）
3. フロアディスカッション
4. 総括

●９月３日（木）　午前（I）の部　第８会場
【地盤防災－地震　液状化⑫】　9:00 ～ 10:30
座　長：兵動　太一（東京理科大学）

971　非常に大きな地震動に対して SCP 改良地盤に期待できる耐震効果について
小宮　龍（東北大）・河井　正・野田利弘

972　1g 場振動台模型実験装置を用いた杭基礎による液状化時めり込み沈下抑制効果の検討
吉丸将司（茨城大）・村上　哲・野口武彦

973　液状化地盤の粘性係数同定のためのモデル実験と数値解析
大竹啓介（筑波大）・松島亘志

974　排水繰り返し載荷が緩い豊浦砂の圧縮強度変形特性と液状化強度に及ぼす影響
呉　杰祐（東大）・清田　隆・ガブリエル キアロ・片桐俊彦

975　飽和砂地盤の液状化強度並びに盛土の地震時挙動に及ぼす地震履歴の影響
櫻井里沙（東工大）・竹村次朗・関　　栄

976　ニュージーランド・カンタベリー地震による液状化噴砂試料を用いた大ひずみ非排水繰り返しせん断挙動に関する研究
宮本裕俊（東大）・ガブリエル キアロ・清田　隆・並河　努

977　Numerical analysis to evaluate the change in degree of saturation at different seepage pressure on partially saturated soil.
Narayan Marasini（Ehime University）・Mitsu Okamura・Ryota Kasatani

●９月３日（木）　午前（II）の部　第８会場
【地盤防災－地震　液状化⑬】　10:45 ～ 12:15
座　長：仙頭　紀明（日本大学）

978　残留変形解析による側方境界が直接基礎構造物の沈下や傾斜に与える影響
小泉卓也（東京電機大）・安田　進・石川敬祐・河野佑輔・田中勝利

979　最小間隙比付近まで締固めた砂の液状化強度について
富田真之（東北大）・河井　正・風間基樹・金　鍾官

980　PL 値を用いた液状化危険度評価における影響因子の検討
古田真人（金沢大）・高原利幸

981　累積塑性ひずみエネルギーを用いた液状化による沈下量の検討
宮澤　翔（日大）・山田雅一・安達俊夫

982　有効応力解析を用いた徳島平野における液状化予測
吉田直央（徳島大）・渦岡良介・石川裕規・川崎直人

983　スパイラル杭が振動時の小規模構造物の動的挙動に及ぼす影響について
久保圭史（九工大）・村上俊之・廣岡明彦・永瀬英生・原田剛男

984　緩詰め砂における初期せん断応力が液状化強度や液状化後の特性に与える影響
北村友依（東京電機大）・脇中康太・安田　進・石川敬祐・岡　賢一・丸山涼友

●９月３日（木）　午後（I）の部　第８会場
【地盤防災－地震　その他】　13:15 ～ 14:45
座　長：中澤　博志（防災科学技術研究所）

1017　縦ずれ断層変位に対する地表面変形低減手法に関する基礎的検討
田中隼矢（不動テトラ）・東畑郁生・Abbas Ghalandarzadeh

1018　地震動のような繰返し載荷を受けた火山灰質盛土の耐液性能に関する模型実験
古舘聖斗（室蘭工大）・川村志麻

1019　既存施設内での PS 検層の課題とその解決
山田　透（荒谷建設コンサルタント）・森伸一郎・松村裕樹

1020　3 本の活断層を横切る断面での常時微動測定
松村裕樹（荒谷建設コンサルタント）・森伸一郎・山田　透

1021　活断層通過の恐れがある敷地内の地盤構造の把握
森伸一郎（愛媛大）・山田　透・松村裕樹

1022　茨城県西部地域地盤沈下における平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の影響
川部優太（茨城大）・村上　哲・安原一哉

1023　東日本大震災における仙台市の造成宅地被害要因の統計的分析
川田美邦（東北大）・風間基樹・森　友宏

1024　Estimation of geological structure at a site on a possibly extending active fault using surface wave exploration
プラサド　トヤナ ラトナ（愛媛大）・森伸一郎・山田　透・松村裕樹

●９月１日（火）　午前（I）の部　第９会場
【地盤防災－地すべり・落石①】　9:00 ～ 10:30
座　長：小山　倫史（関西大学）

1083 岩塊転動のリスク評価に向けた検討（1）
～大型転動実験による岩塊の挙動と衝突荷重の分析～
獅子目修一（鉄道総研）・阿部慶太・中村　晋・吉田郁政・中瀬　仁

1084 岩塊転動のリスク評価に向けた検討（2）～小型転動実験による岩塊の到達距離の分析～
阿部慶太（鉄道総研）・獅子目修一・中村　晋・吉田郁政・河井　正・中瀬　仁

1085 異なるセンサーの計測変化と崩壊予兆に関する実大斜面実験
玉手　聡（安衛研）・堀　智仁・渡田洋介・末政直晃

1086 高エネルギー吸収型土砂防止柵の開発
正木　聡（神鋼建材工業）・川添英生・掃部孝博・阿部真也

1087 押え盛土による地すべりの変形の抑制効果 ～上信越自動車道 香坂地区～
長尾和之（ネクスコ東日本エンジニアリング）・西村光司・天野淨行・安積淳一

1088 風を誘因とする落石発生源に関する研究
市川夏輝（中日本建設コンサルタント）・杉井俊夫・浅野憲雄・余川弘至・渡會匠也

1089 敷砂緩衝材の載荷速度依存性に着目した衝撃力発生メカニズム
内藤直人（名工大）・前田健一・山口　悟・牛渡裕二・鈴木健太郎・川瀬良司

●９月１日（火）　午前（II）の部　第９会場
【地盤防災－地すべり・落石②】　10:45 ～ 12:15
座　長：内村　太郎（東京大学）

1090 砂と礫の混合割合及び表層の礫層厚の違いによる緩衝性能
奥村勇太（名工大）・前田健一・内藤直人・山口　悟・牛渡裕二

1091 雪上滑走型岩石なだれの長距離運動条件－実現象の観察と実験結果からの洞察
山崎新太郎（北見工大）・川口貴之・中村　大・山下　聡

1092 落石シミュレーションに用いる反発係数の特性に関する検討
中村公一（鳥取大）・島内哲哉・小野和行

1093 リングせん断試験を用いた粘性土における通電時強度特性に関する研究
片山直道（愛媛大）・ネトラ バンダリ

1094 粘性土の残留状態におけるせん断クリープ破壊モデル
ネトラ バンダリ（愛媛大）・酒井啓太・小阪　岳

1095 連続ステップ式孔内試験の地すべり地への適用例
太田史朗（川崎地質）・宍戸拓磨・榊原信夫

1096 陽イオン濃度調節水溶液を用いた地すべり粘土の強度・鉱物特性
藤田直丈（愛媛大）・ネトラ バンダリ・中島淳子

1097 クリープ型地すべり粘土を想定した粘土の残留せん断強さに及ぼすせん断速度の影響
浅倉優介（日大）・梅村　順

●９月１日（火）　午後（I）の部　第９会場
【地盤防災－地すべり・落石③　その他】　13:15 ～ 14:45
座　長：石澤　友浩（防災科学技術研究所）

1098 建設工事中の斜面崩壊による労働災害の調査・分析
伊藤和也（安衛研）・吉川直孝・豊澤康男

1099 マレー半島斜面災害履歴データベースを用いた風化と斜面崩壊の相関性の分析
西ヶ谷友美（茨城大）・村上　哲

1100 法面からの墜落災害防止のためのアンカーによる親綱固定方法に関する衝撃載荷実験
岡庭翔一（東京都市大）・末政直晃・伊藤和也

1101 ドラム遠心載荷装置における大規模津波実験の開発と防波堤基礎の安定性への適用
角田紘子（東洋建設）・三宅達夫・宮本順司・鶴ヶ崎和博・澤田　豊・前田健一・松田達也

1102 津波越流が持続する時の防波堤基礎地盤の安定性に関する遠心模型実験
宮本順司（東洋建設）・三宅達夫・鶴ヶ崎和博・角田紘子・前田健一・松田達也

1103 メコンデルタにおける地盤沈下進行状況の変化
杉本裕樹（茨城大）・村上　哲・安原一哉

1104 信頼性地盤沈下マッピングによるメコンデルタの地盤沈下図の作成
村上　哲（茨城大）・杉本裕樹

●９月１日（火）　午後（II）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定①】　15:00 ～ 16:30
座　長：松木　宏彰（復建調査設計）

1025 覆土した盛土の安定に関する実大試験（その 1）
－実験計画と観測状況－
菅野浩樹（新日鐵住金）・澤石正道・和田昌敏・高橋章浩

1026 覆土した盛土の安定に関する実大試験（その 2）
－補強材の引抜き抵抗力－
澤石正道（新日鉄住金エンジニアリング）・和田昌敏・菅野浩樹・高橋章浩

1027 覆土した盛土の安定に関する実大実験（その 3）
－追加試験計画のための解析－
上村健太（東工大）・澤石正道・和田昌敏・菅野浩樹・高橋章浩

1028 平成 26 年 8 月豪雨時の広島まさ土斜面の降雨浸透・流出特性について
岩田直樹（中電技術コンサルタント）・柳崎　剛・渡邉　聡・片山弘憲・笹原克夫

1029 平成 26 年 8 月豪雨時の広島まさ土斜面の降雨に伴うせん断変形について
中井真司（復建調査設計）・岩田直樹・笹原克夫

1030 火山砕屑物からなる斜面崩壊箇所分布の地形解析手法の研究
浅野憲雄（中部大）・山下航平・武藤大和・余川弘至・野々山栄人

1031 火山砕屑物の物理特性に関する研究
武藤大和（中部大）・余川弘至・浅野憲雄・野々山栄人

1032 粒子法による火山砕屑物堆積斜面の崩壊予測の試み
野々山栄人（名大）・中野正樹・野田利弘・余川弘至・浅野憲雄・武藤大和

●９月１日（火）　午後（III）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定②】　16:45 ～ 18:15
座　長：小泉　圭吾（大阪大学）

1033 赤城山沼尾川源頭部における表層崩壊の検討
（その 1：現地調査）
小川将史（群馬大）・住田啓輔・若井明彦

1034 赤城山沼尾川源頭部における表層崩壊の検討
（その 2：遠心模型実験）
住田啓輔（群馬大）・小川将史・若井明彦

1035 平成 25 年台風 26 号による伊豆大島表層崩壊箇所の透水特性と原位置モニタリング結果に関する検討
寺田悠祐（応用地質）・野並　賢・上野将司

1036 平成 25 年台風 26 号による伊豆大島土砂災害箇所の強度特性と崩壊機構の検討
野並　賢（応用地質）・寺田悠祐・上野将司

1037 Use of wave velocity with modified refraction method for landslide prediction
陳　宇龍（東大）・内村太郎

1038 2013 年伊豆大島台風災害で崩壊した源頭部斜面の降雨浸透シミュレーション
若井明彦（群馬大）・深津貴之・蔡　飛・横内啓隆・後藤　聡

1039 Investigation and Analysis of Weathered Rhyolite based on Cone Resistance data
土田　孝（広島大）・矢葺健太郎・アタパッツ エー．エム．アール．ジー．・丸野雄太朗

1040 工事斜面における浅い部分のせん断ひずみの現場計測
渡田洋介（東京都市大）・末政直晃・玉手　聡・堀　智仁

●９月２日（水）　午前（I）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定③】　9:00 ～ 10:30
座　長：荒木　功平（山梨大学）

1041 山麓に位置する施設内斜面の変状事例
木内雄太（創造社）・斎藤孝夫・藤田信幸・佐々木一栄

1042 広域斜面の降雨時安定性解析モデルを用いた再現解析
浅野嘉文（JR 東海）・布川　修・大木基裕・舟橋秀麿・今井賢一・杉山友康

1043 土／水連成を考慮した SPH 法の斜面変形解析への適用
佐久間茉由（国土交通省）・竹山智英・高橋章浩

1044 集水ボーリングにおける簡易削孔システムの適用範囲に関する検討
藤原直哉（奥山ボーリング）・米澤尚武・藤原聖一・小松順一

1045 融雪期における盛土内水位等の挙動
宮下優也（鉄道総研）・高柳　剛・太田直之・佐藤亮太・伊藤賀章・杉山友康

1046 亀裂の埋め戻し対策を模擬した模型盛土の散水実験
阪東聖人（鉄道総研）・太田直之・布川　修・宮下優也

1047 受圧板付き補強材による斜面安定性の向上
谷田　某（総務省）・関　栄・小井戸菜海・高橋章浩

●９月２日（水）　午前（II）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定④】　10:45 ～ 12:15
座　長：外狩　麻子（鉄道総合技術研究所）

1048 切盛境界に位置する鉄道盛土の降雨による崩壊原因と復旧対策
清水谷美佳（JR 西日本）・西田幹嗣・横山真也・後藤田育司・杉山友康

1049 安定解析に基づく斜面崩壊メカニズムの検討－平成 25 年台風 18 号による福井県嶺南地域の斜面崩壊を事例として－
小林泰三（福井大）・重本誉幸・平成 25 年台風 18 号福井地盤災害調査団

1050 The coupled SPH analysis of dike failure due to rising water level and piping
ウェイジェ ジャン（名工大）・前田健一・斎藤　啓

1051 降雨時の傾斜地盤内における空気圧の挙動について
川勝拓哉（神戸大）・大川紀郁・河井克之・飯塚　敦

1052 火山灰斜面における表層崩壊予測の現地調査と斜面崩壊リスクの低減
永川勝久（基礎地盤コンサルタンツ）・山本健太郎・平　瑞樹・寺本行芳・伊藤泰隆

1053 斜面内のせん断ひずみと間隙水圧の計測に基づく斜面崩壊発生予測
笹原克夫（高知大）

1054 飽和不飽和浸透流解析および剛塑性有限要素法を組み合わせた斜面安定解析
安藤　悠（早大）・須田健太郎・小西真治・赤木寛一

●９月３日（木）　午前（I）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　その他】　9:00 ～ 10:30
座　長：酒匂　一成（鹿児島大学）

1075 鉄道橋梁橋脚の健全度評価指標に関する実験的検討
名取　努（鉄道総研）・阿部慶太・小湊祐輝

1076 常時微動のパワースペクトル面積比を用いた洪水時の橋脚健全度指標に関する模型実験
小湊祐輝（鉄道総研）・阿部慶太・名取　努

1077 中山間地を対象とした流出・氾濫解析に関する基礎検討
渡邉　論（鉄道総研）・湯浅友輝・阪東聖人・太田直之

1078 人工知能技術と統計学的手法を用いた集中豪雨時の土砂災害に対する危険斜面抽出
伊藤真一（大阪大）・小田和広・小泉圭吾・臼木陽平・原口勝則・鏡原聖史・鳥居宣之・森　俊彦・福島克章

1079 統計的手法による降雨シナリオ作成法の提案
後藤貴哉（茨城大）・村上　哲

1080 斜面勾配が表面流出に及ぼす影響に関する実験的考察
檀上　徹（防災科研）・石澤友浩・酒井直樹

1081 雨水浸透施設の浸透性能と施設長の関係
田部井香月（サムシングホールディングス）・神村　真

1082 危険斜面における地下水位の直接測定と土壌雨量指数の比較
高原利幸（金沢大）・和田滉平・上野勝利

●９月３日（木）　午前（II）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定⑤】　10:45 ～ 12:15
座　長：酒井　直樹（防災科学技術研究所）

1055 斜面変状の多点監視：機器の開発とその有効性の検討
衛藤一平（東大）・内村太郎・王　林・陳　雨龍

1056　現地観測データを用いた二次元モデル作成に関する基礎的研究
　　徳田早映（大阪大）・小泉圭吾・小田和広・臼木陽平・伊藤真一・竹本　将・藤原　優・森下　泰
1057　道路に近接した自然斜面における表層崩壊土層の土質特性について
　　藤井正雄（神戸大）・鏡原聖史・文岩秀貴・澁谷　啓・鳥居宣之・小泉圭吾・原口勝則・森　俊彦・福島克章・小田和広
1058　降雨斜面模型実験と解析
　　Chueasamat Anusron（東京農工大）・向後雄二・堀　俊和・斉藤広隆
1059　近年の集中豪雨に伴う盛土構造物への影響
　　野口祥悟（福島高専）・金澤伸一・林　久資
1060　小型模型斜面における散水時の変動挙動の把握
　　大西貴之（大阪大）・小泉圭吾・小田和広・竹本　将・藤原　優・Yoshio Fukuda・Maria Feng
1061　室内斜面模型実験による地盤内浸透流の挙動解明および数値解析による再現性の検証
　　石田純平（長崎大）・蒋　宇静・大嶺　聖・杉本知史・李　　博・池田　翔

●９月３日（木）　午後（I）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定⑥】　13:15 ～ 14:45
座　長：阪口　和之（アジア航測）

1062　神戸市における 2014 年台風 11 号による斜面崩壊の特徴
　　植田允教（ダイヤコンサルタント）・沖村　孝・奥野　潔・岡本裕也・荒木繁幸・鏡原聖史
1063　2014 年 8 月広島豪雨による土石流の現地調査の知見と考察
　　常田賢一（大阪大）
1064　2014 年 8 月 広島豪雨災害における土石流とリニアメントの関係
　　濱沖俊史（西日本高速道路エンジニアリング中国）・下野宗彦・中田幸男・村上豊和
1065　供用中の高速道路における土石流災害の分析
　　永田政司（NEXCO 総研）・田山　聡・篠田雅男・安藤　伸
1066　数値シミュレーションに基づく道路に近接した渓流からの集中豪雨時の土砂流出に関する考察
　　小田和広（大阪大）・梅村恭平・原口勝則・鏡原聖史・鳥居宣之・小泉圭吾・伊藤真一・森　俊彦・福島克章
1067　降雨形態に着目した赤土の流出特性に関する実験的研究
　　岩見康平（九大）・荒木功平・安福規之

●９月３日（木）　午後（II）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨　斜面安定⑦】　15:00 ～ 16:30
座　長：川村　志麻（室蘭工業大学）

1068　MEMS 加速度計を用いた傾斜センサによる斜面の観測事例
　　菅野瑞穂（中央開発）・山口弘志
1069　キャピラリーバリアののり面への適用性に関する基礎的研究
　　小橋俊也（大阪大）・小泉圭吾・小田和広・大西貴之・竹本　将・藤原　優・森下　泰
1070　補強材打設角度と頭部連結が斜面安定化に与える影響に関する遠心模型実験
　　副田尚輝（日鐵住金建材）・岩佐直人・笠原　啓・伊藤和也
1071　山腹斜面崩壊地における長尺ネイルサンプリングの適用事例
　　鏡原聖史（ダイヤコンサルタント）・松村法行・松本修司・文岩秀貴・藤井正雄・澁谷　啓・西田一彦
1072　高解像度 DEM データを用いた豪雨時斜面崩壊の地形要因分析
　　加藤大佑（長岡技科大）・大塚　悟
1073　河川堤防の浸透流解析による地盤安定性検討
　　花田光司（千葉工大）・鈴木　誠・吉波康行
1074　伊豆大島の火山性堆積斜面における雨水浸透過程
　　萩野　知（東大）・内村太郎

●９月１日（火）　午前（I）の部　第 10 会場
【地盤防災－平成 23 年台風 12 号に関する地盤災害報告①】　9:00 ～ 10:30
座　長：三田村　宗樹（大阪市立大学）

1127　平成 23 年台風第 12 号による降雨と大規模斜面変動の関係
　　平井孝治（アテック吉村）・大石　哲・江種伸之・高尾秀之・伊藤修二・三田村宗樹
1128　平成 23 年台風 12 号により発生した和歌山県日高・西牟婁地域における大規模斜面崩壊の特徴
　　矢野晴彦（中央開発）・鍋島康之・野並　賢・谷垣勝久・石田優子・後　誠介
1129　降雨による斜面崩壊に及ぼす湧水の影響に関する実験的考察
　　鍋島康之（明石高専）
1130　平成 23 年台風 12 号により発生した三重県紀北町鍛冶屋又谷の大規模崩壊箇所の素因検討
　　石川昌幹（東邦地水）・酒井俊典・岡島賢治・阪口和之・長谷川謙二・林　健二・片岡　泰・古根川竜夫・由井恒彦・中谷　仁
1131　平成 23 年台風 12 号により発生した三重県紀北町鍛冶屋又谷の大規模崩壊の解析的検討
　　林　健二（フォレストエンジニアリング）・酒井俊典・岡島賢治・石川昌幹・阪口和之・長谷川謙二・片岡　泰・古根川竜夫・由井恒彦・中谷　仁
1132　平成 23 年台風 12 号による新宮市高田口の土石流災害
　　谷垣勝久（タニガキ建工）・後　誠介・古根川竜夫・木村好延・森山将斗・江種伸之
1133　想定外の水圧を受けるコンクリート特殊堤防基礎周囲の矢板が浸透破壊に与える影響
　　岡島賢治（三重大）・酒井俊典・林　健二・石川昌幹・長谷川謙二・古根川竜夫・阪口和之・由井恒彦・片岡　泰・中谷　仁

●９月１日（火）　午前（II）の部　第 10 会場
【地盤防災－平成 23 年台風 12 号に関する地盤災害報告②】　10:45 ～ 12:15
座　長：深川　良一（立命館大学）

1134　東紀州地域における平成 23 年台風 12 号での表層崩壊と降水量との関係
　　酒井俊典（三重大）・片岡　泰・石川昌幹・古根川竜夫・由井恒彦・阪口和之・岡島賢治・長谷川謙二・林　健二・中谷　仁
1135　平成 23 年 12 号台風により発生した三重県東紀州の斜面崩壊に関する現地調査結果
　　由井恒彦（松阪鑿泉）・酒井俊典・岡島賢治・石川昌幹・古根川竜夫・阪口和之・中谷　仁・長谷川謙二・林　健二・片岡　泰
1136　平成 23 年 12 号台風により発生した三重県熊野市五郷町寺谷地区の崩壊状況
　　片岡　泰（キンキ地質センター）・酒井俊典・岡島賢治・石川昌幹・古根川竜夫・阪口和之・中谷　仁・長谷川謙二・林　健二・由井恒彦
1137　三重県熊野古道「横垣峠」における斜面崩壊の素因と誘因に関する考察
　　石田優子（立命館大）・佐田浩介・木林　幹・古根川竜夫・酒井俊典・岡島賢治・藤本将光・深川良一
1138　熊野古道「横垣峠」における崩壊時の地下水位推定
　　木林　幹（立命館大）・石田優子・古根川竜夫・酒井俊典・岡島賢治・藤本将光・深川良一
1139　平成 23 年台風 12 号により発生した和歌山県東牟婁地域の斜面崩壊の特徴
　　藤井翔太郎（和歌山大）・江種伸之・石田優子・後　誠介
1140　2011 年台風 12 号豪雨によりの奈良県野迫川村地区で発生した斜面表層崩壊のメカニズムの考察
　　文岩秀貴（神戸大）・鳥居宣之・加藤正司・小泉圭吾・鏡原聖史・松本修司・三田村宗樹・澁谷　啓・川畑将大

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 10 会場
【地盤防災－地盤の安定①】　13:15 ～ 14:45
座　長：橘　伸也（埼玉大学）

1105　津波による防波堤挙動に関する遠心模型実験
　　鶴ヶ崎和博（東洋建設）・宮本順司・角田紘子・中瀬　仁・岩本哲也
1106　SPH-DEM カップリング解析を用いた津波による防波堤捨石マウンドの浸透流を考慮した変形シミュレーション
　　岩本哲也（東電設計）・中瀬　仁・鶴ヶ崎和博・宮本順司
1107　地震動が路面下空洞の拡大化に与える影響の検討 模型実験報告（その 1）
　　瀬良良子（ジオ・サーチ）・太田雅彦・桑野玲子・堀内佑樹・菊池徹朗
1108　地震動が路面下空洞の拡大化に与える影響の検討 模型実験報告（その 2）
　　太田雅彦（ジオ・サーチ）・瀬良良子・桑野玲子・堀内佑樹・中村治人
1109　路面下空洞の発生状況に関する考察（その 7）開削調査による実態報告
　　奥田みのり（ジオ・サーチ）・中村治人・阿部匡彦
1110　路面下空洞の発生状況に関する考察（その 8）発生規模と空洞周辺のゆるみ状況について 3
　　中村治人（ジオ・サーチ）・奥田みのり・北島輝也・高橋佑輔
1111　路面下空洞発生状況に関する考察（その 9）大型地下構造物の周辺に発生する路面下空洞
　　小池　豊（ジオ・サーチ）・中村治人・瀬良良子・崔　然宇

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 10 会場
【地盤防災－地盤の安定②】　15:00 ～ 16:30
座　長：後藤　聡（山梨大学）

1112　道央自動車道 本茅部地区高盛土のり面災害復旧の報告
　　小山良生（NEXCO 東日本）
1113　Laboratory model tests to examine the effect of pipe flow on stability of slopes
　　アタパッツ エー．エム．アール．ジー．（広島大）・丸野雄太朗・土田　孝・矢葺健太郎
1114　ジェット流の作用による地盤内の過剰間隙水圧発生メカニズムと洗掘に関する考察
　　松田達也（豊橋技科大）・山口敦志・前田健一・三宅達夫・宮本順司・角田紘子・鶴ヶ崎和博
1115　土中水計測に基づく融雪水浸透に関する一考察
　　外狩麻子（JR 東日本）・山口英俊
1116　新第三系泥岩の流れ盤からなる切土のり面の崩壊と地質構造の関係
　　佐藤直行（奥山ボーリング）・糸井菜月・藤原直哉・小松順一
1117　円柱構造物周辺における波浪による海底地盤の不安定化に関する解析的研究
　　齋藤裕也（豊橋技科大）・三浦均也・松田達也
1118　吹付法面における補修方法の適用性に関する原位置試験
　　窪塚大輔（日特建設）・宇次原雅之・若井明彦・三田　淳・江口喜彦・関　晴夫

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 10 会場
【地盤防災－地盤の安定③】　16:45 ～ 18:15
座　長：宮武　裕昭（土木研究所）

1119　流出氾濫シミュレーションに適用する鉄道沿線における排水設備のモデル化に関する基礎検討
　　湯浅友輝（鉄道総研）・渡邉　論・阪東聖人・太田直之・杉山友康
1120　切土のり面の長期安定性に関する検討
　　篠田雅男（NEXCO 総研）・藤岡一頼
1121　有限地盤層厚を考慮した波浪場における地盤内水圧変動と海底面流速の相互作用による土砂流動の考察
　　佐藤隼可（豊橋技科大）・加藤悠貴・松田達也・三浦均也・齋藤裕也
1122　火山砕屑岩からなる切土法面の削剥主要因
　　村井政徳（川崎地質）・廣田清治・横山俊治
1123　異なる地盤条件のジェット流による防波堤背後地盤の洗掘メカニズム
　　山口敦志（名工大）・前田健一・松田達也・齊藤　啓・Zhaoqing Li
1124　ネパール・ポカラで頻発する自然堆積地盤の陥没調査
　　新井逸郎（東大）・清田　隆・桑野玲子・R.M. Pokhrel・G. Chiaro・片桐俊彦
1125　水位変動の繰り返しを考慮したサイゴン川河岸斜面の浸透・安定連成解析
　　大矢綾香（立命館大）・平岡伸隆・飯田　悟・藤本将光・深川良一
1126　降雨時の斜面モニタリングと崩壊発生予測の基礎的検討
　　石澤友浩（防災科研）・檀上　徹

●９月２日（水）　　午前（I, II）の部　　第 10 会場
【DS-6　最近のエネルギー事情と岩盤工学】 9:00 ～ 12:15

主催委員会：岩盤工学企画委員会
座　長：鈴木　健一郎（大林組）
副座長：小早川　博亮（電力中央研究所）
プログラム：
第１部
1. 発表
(1) 今後のエネルギー需給と技術開発
内山　洋司（筑波大学名誉教授）
(2) 苫小牧地点におけるＣＣＳ大規模実証試験の概要
川島　文治（日本ＣＣＳ調査）
(3) 一般発表（3 編、No.60 ～ 62）
2. ディスカッション
休　憩
第２部
1. 発表
(1) 最近のエネルギー事情とエネルギー備蓄
大竹　健司（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）
(2) メタンハイドレート開発を目的とした未固結地層におけるフラクチャー挙動の実験的研究
伊藤　高敏（東北大学）
(3) 再生可能エネルギーによる圧縮空気貯蔵
中川　加明一郎（ダイヤコンサルタント）
(4) 一般発表（3 編、No.63 ～ 65）
2. ディスカッション

60　堆積軟岩の原位置加熱実験－比抵抗トモグラフィによる加熱・不飽和帯進展状況のモニタリング－
窪田健二（電力中研）・鈴木浩一・池野谷尚史・高倉　望・谷　和夫
61　CFD-DEM によるグラウト動的注入工法のシミュレーション
保木勇介（関西大）・小山倫史・清水浩之
62　地中熱利用における採熱量期待値表示システム
船引彩子（日大）・小熊正人
63　女川層タイトオイル開発と水圧破砕デザイン
玉川哲也（石油資源開発）
64　地熱開発の現状と地熱増産システム（EGS）技術開発
海江田秀志（電力中研）
65　圧縮空気を用いたエネルギー貯蔵技術について
末永　弘（電力中研）・田中姿郎・伊藤由紀・窪田健二・野原慎太郎・木村治夫

●９月３日（木）　　午前（I）の部　　第 10 会場
【地盤材料－砂質土①】 9:00 ～ 10:30
座　長：片岡　沙都紀（神戸大学）
223　飽和砂質土の有効応力低下による塑性降伏応力状態と変相線の関係について
鈴木彩斗美（茨城大）・村上　哲
224　Albany 硅砂の弾塑性構成パラメータの同定
吉富　力（神戸大）・河井克之・飯塚　敦・タラニディ ロハニ
225　非関連性を考慮した非線形移動硬化則に基づく繰返し弾塑性構成式
岡二三生（京大）・木元小百合
226　地盤の微視的構造の復元と力学特性評価　－リバースエンジニアリングの地盤工学への応用－
松村　聡（港空研）・水谷崇亮
227　中空ねじりせん断試験による砂の体積ひずみと塑性ひずみエネルギーの関係 その２
堂野前大貴（日大）・山田雅一・山田峻作・道明裕毅・安達俊夫
228　低・中拘束圧で単調・繰返し載荷を受ける豊浦砂の力学特性に関する実験的研究
細谷旭弘（名工大）・顧　琳琳・張　　鋒
229　三軸液状化試験における砂供試体の局所変形特性の直接・間接評価
星野龍一郎（東大）・古関潤一・宮下千花・佐藤剛司
230　継続時間の異なった不規則荷重を受ける細粒分含有砂の液状化特性
春野友希（九工大）・永瀬英生・廣岡明彦・小野虎太郎

●９月３日（木）　　午前（II）の部　　第 10 会場
【地盤材料－砂質土②】 10:45 ～ 12:15
座　長：河井　克之（近畿大学）
231　異なる締固め状態の砂質土のせん断特性に及ぼす排水条件の影響
糟谷優太（東京理科大）・大谷勇樹・増田貴樹・菊池喜昭・龍岡文夫・兵動太一
232　DEM シミュレーションを用いた平均粒径の変化とスレスホルドラインに関する研究
金　秉洙（岡山大）・工藤　匠・加藤正司・竹下祐二
233　藤沼ダム上部砂層の密度と定常状態強度
倪　　帥（首都大学東京）・吉嶺充俊
234　模型斜面すべり面上の応力再配分機構と安定解析
熊原拓希（日大）・重村　智・徳江俊秀・堂原智樹
235　脱窒反応により生成するバイオガスを利用した飽和砂質土の不飽和化に関する基礎的研究
中野晶子（九大）・Leon Van Paassen・紅林良亮
236　Image-based quantification of size and shape of colored siliceous sand
Mao Ouyang（東工大）・高橋章浩
237　細粒分を多く含む砂の最大・最小密度試験方法の検討
武田　陽（東京電機大）・安田　進・石川敬祐・後神拓也
238　東部南海トラフ堆積物とその模擬試料の孔隙径分布および透水係数
野田翔兵（産総研）・伊藤拓馬・木村　匠・金子広明・皆川秀紀

●９月３日（木）　　午後（I）の部　　第 10 会場
【地盤材料－砂質土③】 13:15 ～ 14:45
座　長：海野　寿康（宇都宮大学）
239　非塑性シルトを含む細砂の液状化特性と液状化後の非排水せん断挙動
榎本忠夫（国総研）
240　繰返し三軸試験と繰返しねじり試験における液状化強度の比較
深井晴夫（基礎地盤コンサルタンツ）・大島昭彦・岡二三生・日置和昭・甲斐誠士・河崎和文・佐川厚志・平井孝治・永井久徳
241　せん断試験方法の相違が液状化強度に与える影響
所　義登（日大）・山田雅一・安達俊夫
242　複数回液状化時の特性変化に関する多層リング繰返し単純せん断試験（その３）
青柳悠大（東大）・古関潤一・佐藤剛司・宮下千花
243　過剰間隙水圧の残留・転移が余震時の液状化に与える影響
佐藤　大（東工大）・時松孝次
244　砂質土の液状化強度に及ぼす圧密時間による影響
白井翔也（長岡技科大）・豊田浩史・高田　晋
245　透水が地盤の液状化挙動に与える影響
―2 質点オンライン地震応答実験を用いた検討―
山田峻作（日大）・山田雅一・道明裕毅・安達俊夫
246　ベンダーエレメント試験による防振材の材質とその厚さが振動低減効果に及ぼす影響
高田　晋（長岡技科大）・豊田浩史・高崎秀明・金田　淳・池本宏文

●９月１日（火）　　午前（I）の部　　第 11 会場
【地盤材料－軟岩・硬岩①】 9:00 ～ 10:30
座　長：清木　隆文（宇都宮大学）
247　原位置岩盤引張り試験装置の開発とモルタルを用いた試験法の検証
納谷朋広（ダイヤコンサルタント）・岡田哲実
248　頁岩を対象とした原位置岩盤引張り試験法の検証
岡田哲実（電力中研）・岡崎幸司・谷口友規・中村大史
249　堆積軟岩の温度・クリープ特性のモデル化と多層系有限要素解析
蔭山　星（名工大）・山田貴大・井谷優介・神部智也・邱　暁燁・張　　鋒
250　き裂面を有する凝灰岩の SHS 型三軸せん断試験による強度回復現象の評価
酒井慎治（京大）・矢野隆夫・大野正登・岸田　潔
251　スレーキングを受けた富津泥岩試料の繰返し一面せん断挙動
沈　智偉（東京理科大）・塚本良道・兵動太一・青木佳祐
252　K0 条件下で数 Hz の動的載荷を受ける藤森粘土の微視的・巨視的挙動
栗本悠平（名工大）・小枝幸真・王　　乾・山本由弦・阪口　秀・氏家恒太郎・張　　鋒
253　デコルマ形成メカニズムの数値実験による検証
小枝幸真（名工大）・栗本悠平・王　　乾・山本由弦・阪口　秀・張　　鋒
254　風化砂岩を対象とした岩盤不連続面の一面せん断試験
関口　陽（電力中研）・岡田哲実・中村大史

●９月１日（火）　　午前（II）の部　　第 11 会場
【地盤材料－軟岩・硬岩②】 10:45 ～ 12:15
座　長：岡田　哲実（電力中央研究所）
255　三軸圧縮試験による堆積軟岩の骨格曲線の推定
宮下千花（東大）・古関潤一・並川賢治・松本正士
256　撥水材による軟岩のスレーキング抵抗性の改善
照井秀幸（鹿島建設）・北本幸義・岡本道孝・上本勝弘・三上大道
257　地化学作用を考慮した花崗岩不連続面の透水特性評価
前田健太（愛媛大）・安原英明・木下尚樹
258　μフォーカス X 線 CT によるき裂を有する花崗岩の二相分離化
石川智優（京大）・安原英明・澤田　淳・岸田　潔
259　地震荷重を受ける軟岩斜面の不安定化機構に関する実験的研究
郡司圭悟（東大）・東畑郁生

●９月１日（火）　　午後（I）の部　　第 11 会場
【地盤材料－特殊土①】 13:15 ～ 14:45
座　長：林　宏親（寒地土木研究所）
373　盛土併用真空圧密を模擬した三軸試験による泥炭の強度および変形特性 その１
－せん断弾性係数の変化－
鈴木　京（秋田大）・荻野俊寛・柳田陽平・高橋貴之・及川　洋
374　盛土併用真空圧密を模擬した三軸試験による泥炭の強度および変形特性 その２
－非排水せん断強度の変化－
柳田陽平（秋田大）・荻野俊寛・鈴木　京・高橋貴之・及川　洋
375　有機質火山灰土の化学的安定処理に関する研究
北園芳人（熊本大）
376　みがき砂の工学的特性～その１：物理的セメンテーションの影響～
西岡孝尚（協和設計）・北野智哉・片岡沙都紀・澁谷　啓
377　みがき砂の工学的特性～その２：化学的セメンテーションの影響
北野智哉（神戸大）・西岡孝尚・片岡沙都紀・澁谷　啓
378　繰返しせん断応力載荷履歴を受けた月面模擬土の体積変化
鈴木翔太（秋田大）・荻野俊寛・高橋貴之・及川　洋

●９月１日（火）　　午後（II）の部　　第 11 会場
【地盤材料－特殊土②】 15:00 ～ 16:30
座　長：鳥居　宣之（神戸市立工業高等専門学校）
379　地層内バイオメタン生産技術における過酸化水素を利用した褐炭の有機物分解に及ぼす固液比の影響
荒牧憲隆（北海道科学技術総合振興センター）・玉村修司・A.K.M. Badrul Alam・金子勝比古
380　252Cf から放出する中性子線の吸収または捕獲
鈴木聡彦（ソイルアンドロックエンジニアリング）・小峯秀雄・成島誠一・水野正之・吉村　貢・稲元裕二・氏家伸介・齊藤祐磨・新井靖典
381　ベントナイトブロック接合における電磁波浸透の効果メカニズム
谷野由宗（早大）・小峯秀雄
382　サンゴ礫混じり土の間隙比及び安息角に対する礫含有率の影響
中村　礼（山口大）・中田幸男・兵動正幸・内野隆太郎
383　繰返し載荷を受けた泥炭のせん断剛性に及ぼす過剰間隙水圧の影響
山木正彦（寒地土研）・山梨高裕・林　宏親
384　前橋泥流堆積物の分布および液状化強度特性
北村和輝（群馬大）・篠崎智至・樋口邦弘・若井明彦

●９月１日（火）　　午後（III）の部　　第 11 会場
【DS-1　地盤工学会における基準の国際化対応 】
16:45 ～ 18:15

主催委員会：ISO 国内委員会
座　長：今村　聡（大成建設）
副座長：浅田　素之（清水建設）
プログラム：
1. 委員長挨拶
今村　聡（委員長、大成建設）
2. 報告（4 編、No.22 ～ 25）
(5) 地盤工学会基準の英訳化状況報告
地盤工学会　前　基準部長　佐藤　毅（アサノ大成基礎エンジニアリング）
3. 特別講演
(1)（仮題）建設関係 ISO に関する国土交通省の取り組み
高村　裕平（国土交通省 大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長）（予定）
(2) 第２世代ユーロコードと地盤設計規格 － CEN/TC25 と SC7 の活動
松井　謙二（土木技術研究所）
4. 総括
地盤工学会　基準部長（予定）

22　地盤関連 ISO の審議状況と地盤工学会における ISO 活動－平成 26 年度－
浅田素之（清水建設）・今村　聡
23　室内土質試験方法の国際規格審議状況
－ 2014 年度－
豊田浩史（長岡技科大）
24　ISO ／ TC190（地盤環境）の審議状況
－ 2014 年度－
川端淳一（鹿島建設）・古川靖英・浅田素之
25　ISO ／ TC221 国内専門委員会活動報告－ジオシンセティックス関連規格に関する現状と今後の展開－
椋木俊文（熊本大）・宮田喜壽

●９月２日（水）　　午前（I）の部　　第 11 会場
【地盤材料－中間土①】　9:00 ～ 10:30
座　長：杉本　知史（長崎大学）
207　砂と粘土の混合土の特性
田中洋行（北大）・高橋諒伍・渡辺葉子
208　砂・細粒土混合土の繰返しせん断特性
渡邉真悟（復建調査設計）・兵動正幸・東　佑介
209　ため池堤体土における不撹乱および撹乱試料の強度特性比較
神山　惇（山口大）・鈴木素之・河内義文・松下英次
210　一面せん断試験から得られる強度定数に及ぼす凍結融解の影響
佐々木貴（北見工大）・川口貴之・中村　大・川尻峻三・山下　聡
211　海底地盤の地層変形現象を模擬した室内模型実験
荻迫栄治（清水建設）・西尾伸也・傳田　篤
212　μフォーカス X 線 CT を用いた高圧三軸圧縮下のハイドレート固結砂の可視化
米田　純（産総研）・片桐　淳・天満則夫
213　減圧法によるメタンガス生産時におけるメタンハイドレート含有海底地盤の動的解析
赤木俊文（京大）・木元小百合
214　超音波による細粒土の減容化特性に関する研究
上　俊二（徳山高専）・大内光徳・福田　靖・桑嶋啓治

●９月２日（水）　　午前（II）の部　　第 11 会場
【地盤材料－中間土②】　10:45 ～ 12:15
座　長：西尾　伸也（日本大学）
215　太平洋十勝沖での表層ガスハイドレート調査と海底堆積土の土質特性
三輪昌輝（北見工大）・山下　聡・小川恵介・山崎新太郎・片岡沙都紀・南　尚嗣・坂上寛敏・八久保晶弘・舘山一孝
216　深海底表層地盤におけるコーン貫入試験の評価
大島弘己（北見工大）・山下　聡・山崎新太郎・片岡沙都紀・南　尚嗣・八久保晶弘・坂上寛敏・舘山一孝
217　北海道十勝沖海底地盤より採取した堆積土の強度特性
城山翔平（神戸大）・片岡沙都紀・山下　聡・山崎新太郎・三輪昌輝・大島弘己・澁谷　啓
218　メタンハイドレートを含む種々の粒子特性からなる砂の力学および分解特性
梶山慎太郎（山口大）・兵動正幸・中田幸男・吉本憲正・加藤　晃・田平一平
219　メタンハイドレートを含む砂のせん断強度に及ぼす粒度分布の影響
日下部真佑（山口大）・兵動正幸・中田幸男・吉本憲正・加藤　晃・中島晃司
220　メタンハイドレートにより固結した細粒分を含む砂のせん断挙動の評価
兵動正幸（山口大）・西村　顕・梶山慎太郎・中田幸男・吉本憲正
221　加熱法によるメタンハイドレート胚胎砂の分解時の熱・水・ガス挙動
吉本憲正（山口大）・朝倉さや香・兵動正幸・中田幸男
222　CO2 ハイドレート含有地盤材料への弾粘塑性構成式の適用
岩井裕正（京大）・小西陽太・木元小百合

●９月３日（木）　　午前（I）の部　　第 11 会場
【地盤材料－不飽和土①】　9:00 ～ 10:30
座　長：杉井　俊夫（中部大学）
347　応力履歴が B 値発現に及ぼす影響（実験）
玉井三友紀（神戸大）・杉山友理・田中博之・河井克之・飯塚　敦
348　応力履歴が B 値発現に及ぼす影響（解析）
田中博之（神戸大）・杉山友理・河井克之・飯塚　敦・玉井三友紀
349　連続加圧方式による新しい保水性試験方法について（その 5）
京野　修（応用地質）・畠山正則・阿部廣史
350　乾燥過程におけるスラリー粘性土の体積収縮への画像解析の適用（その 2）
瀬谷　曜（信州大）・河村　隆・梅崎健夫
351　土の水分特性と吸排水時の水位変動
大井翔平（東北大）・森　友宏・風間基樹
352　マイクロ X 線 CT を用いた排水・吸水履歴による砂の不飽和化実験
高津裕斗（京大）・肥後陽介・澤田茉伊・木戸隆之祐・南野佑貴・田中麻穂
353　マイクロ X 線 CT を用いた排水・吸水履歴による砂の間隙空気封入メカニズムに関する研究
肥後陽介（京大）・木戸隆之祐・高津裕斗・林　幹朗・山内崇寛・田中麻穂

●９月３日（木）　　午前（II）の部　　第 11 会場
【地盤材料－不飽和土②】　10:45 ～ 12:15
座　長：肥後　陽介（京都大学）
354　Effect of Water Content on Mechanical Behavior of Unsaturated Soil under Cyclic and Monotonic Stress States
Narendra Dongol（埼玉大）・桑野二郎・橘　伸也
355　砂層の乾燥密度が傾斜キャピラリーバリアの性能に及ぼす影響評価
小林　薫（神戸高専）・松元和伸・森井俊広・中房　悟
356　海底地盤からのサンプリングに伴う応力変化が強度特性に及ぼす影響
中谷奈央（神戸大）・杉山友理・飯塚　敦・河井克之
357　モーメント法による土の引張強度測定法の検討
村上雄亮（広島大）・一井康二
358　A new index to evaluate liquefaction resistance of partially saturated sandy soils
王　海龍（東大）・古関潤一・宮下千花
359　船積み鉄鉱粉の液状化に関する不飽和浸透－変形連成解析
松丸貴樹（東大）・古関潤一・王　海龍

●９月３日（木）　　午後（I）の部　　第 11 会場
【地盤材料－不飽和土③】　13:15 ～ 14:45
座　長：向後　雄二（東京農工大学）
360　水分特性モデルの間隙比依存性を考慮した不飽和土の非排気－非排水条件での三軸圧縮試験の要素シミュレーション
石川　椋（京大）・赤木俊文・木元小百合
361　河川堤防内の細粒分含有率による不飽和土地盤特性に関する研究
上田健人（岡山大）・金　秉洙・加藤正司・竹下祐二・桐岡大典
362　砂質土の締固めに伴う力学特性とサクションの変化
三鍋佑季（北見工大）・川尻峻三・川口貴之・中村　大・山下　聡
363　低サクション制御を受けた不飽和土の繰返し三軸試験結果
松本政文（総合地盤研究所）・西村友良
364　飽和度および粒度分布が盛土材料の工学的特性に及ぼす影響に関する実験的検討（その 1:室内試験結果）
李　俊憲（神戸大）・土井達也・片岡沙都紀・タラニディ ロハニ・澁谷　啓
365　飽和度および粒度分布が盛土材料のせん断強度に及ぼす影響に関する実験的検討（その 2：実験結果の考察）
土井達也（JR 西日本）・山田孝弘・岸村　信・片岡沙都紀・李　俊憲・澁谷　啓

●９月３日（木）　　午後（II）の部　　第 11 会場
【地盤材料－不飽和土④】　15:00 ～ 16:30
座　長：山田　正太郎（名古屋大学）
366　繰返しせん断時の不飽和砂の体積ひずみにおける含水比の影響
佐藤恭兵（東電設計）・北爪貴史・後藤　聡・荒木功平
367　繰返しせん断時の不飽和砂の体積ひずみにおける周波数の影響
北爪貴史（東電設計）・佐藤恭兵・後藤　聡・荒木功平
368　ベンダーエレメントを用いた不飽和供試体のせん断挙動の検討
妹川賢司（神戸大）・河井克之・飯塚　敦・タラニディ ロハニ
369　振動台を用いた不飽和砂質地盤の地震時破壊形態に関する実験的考察
藤森弘晃（山梨大）・荒木功平・後藤　聡・北爪貴史
370　飽和・不飽和土の液状化特性と液状化前後の弾性波速度変化
金山未来（北見工大）・山下　聡・川尻峻三・川口貴之
371　不飽和土の繰り返し載荷による変形特性とそのシミュレーション
佐藤友孝（東京農工大）・Tun Tun Win・斉藤広隆・向後雄二
372　静的・動的締固めによる締固め特性の違いについて
宮崎雄佑（埼玉大）・熊谷昇悟・橘　伸也・桑野二郎

●９月１日（火）　　午前（I）の部　　第 12 会場
【地盤材料－改良土・軽量土①】　9:00 ～ 10:30
座　長：赤木　寛一（早稲田大学）
295　可塑性グラウトのレオロジー特性に関する基礎的研究
田中麻穂（前田建設工業）・安井利彰・清水英樹・寺西浩司
296　可溶性珪酸塩を主材とする新しい溶液型高強度グラウトの浸透特性と力学的性質
岡田和成（日本基礎技術）・Riccardo Perlo・永山殖朗・山口　晶・小野寺健太・氏家　悠
297　超微粒子球状シリカ系改良材を浸透注入した地盤の一軸圧縮強さの推定
高坂祐介（東北学院大）・山口　晶・岡田和成・飛田善雄
298　薬液注入材の体積変化に伴う拘束効果に関する検討
佐々木隆光（強化土エンジニヤリング）・末政直晃・小山忠雄・島田俊介
299　加熱養生によるゲルの長期強度変化測定の検証
滝浦駿介（東京都市大）・末政直晃・佐々木隆光
300　A New Definition of Onset of Liquefaction in Improved Soils
Rouzbeh Rasouli（五洋建設）・林健太郎・仙頭紀明・有本拓麻
301　強震時における溶液型薬液改良砂の非排水繰返しせん断特性
仙頭紀明（日大）・有本拓麻・林健太郎

●９月１日（火）　　午前（II）の部　　第 12 会場
【地盤材料－改良土・軽量土②】　10:45 ～ 12:15
座　長：熊谷　隆宏（五洋建設）
302　無機系廃棄物を原料とした固化材の地盤改良への適用性
中瀬悠也（明石高専）・稲積真哉・山崎淳一・新坂孝志・橋本　亮・湯田周二・中岸良裕・

吉本敦哉・水田智幸・西村豪志
303 炭酸カルシウム析出時の飽和度の違いが液状化強度特性に及ぼす影響
小阪佳平（愛媛大）・岡村未対
304 薬液注入固化砂の繰返しせん断特性の一考察
水野健太（若築建設）
305 極超微粒子材を用いた液状化対策工に関する現地注入実験（その１：事前検討および実験概要）
王寺秀介（中央開発）・西原　聡・西江俊作・橋本和佳・塚本良道・兵動太一・玉田智宏・金沢智彦
306 極超微粒子材を用いた液状化対策工に関する現地注入実験（その２：現地実験による対策効果の考察）
橋本和佳（中央開発）・西原　聡・西江俊作・王寺秀介・塚本良道・兵動太一・玉田智宏・金沢智彦
307 液状化抑止のための超微粒子シリカ注入工法　ーバブルホワイトの開発ー
三森章太（東京都市大）・末政直晃・上村健太郎・佐々木隆光・永尾浩一
308 シリカ微粒子の土粒子間注入に関する研究
上村健太郎（東京都市大）・末政直晃・佐々木隆光・永尾浩一

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 12 会場
【地盤材料ー改良土・軽量土③】　13:15 ～ 14:45
座　長：並河　努（芝浦工業大学）
309 模型機械式撹拌機の検討
松野遼太郎（東京都市大）・末政直晃・平間慎一郎
310 変形特性評価が可能な遠心引張り試験装置の開発とその適用
西田裕昭（横浜国大）・早野公敏
311 セメントスラリー添加を考慮した地盤掘削用気泡安定液の性状について
堅尾祐太（早大）・赤木寛一・安井利彰
312 低水比のセメントミルクを用いた地盤改良体の強度特性
河野貴穂（竹中工務店）・青木雅路・米澤敏男・玉木信二
313 HGS 気泡混合土の補修方法に関する実験（その 2）
車田佳範（五洋建設）・加藤俊二・土橋聖賢
314 極超微粒子セメント注入材の砒砂への室内浸透固化試験
玉田智宏（東京理科大）・塚本良道・兵動太一・橋本和佳・王寺秀介・西原　聡・金沢智彦
315 石灰安定処理土の正規・過圧密領域における力学特性
山栗祐樹（金沢大）・重松宏明

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 12 会場
【地盤材料ー改良土・軽量土④】　15:00 ～ 16:30
座　長：鍋島　康之（明石工業高等専門学校）
316 固化阻害因子と固化材特性が安定処理土の一軸圧縮強さに及ぼす影響
天本優作（太平洋セメント）・松山祐介・杉山彰徳・酒巻克之
317 火山灰質粘性土を対象としたほぐし造粒の適用性に関して
富吉俊介（横浜国大）・早野公敏・山内裕元・和栗成樹
318 生石灰または高炉スラグで改良した北関東の火山灰質土の強度特性
大野進太郎（鹿島建設）・村上武志・岡本道孝・宇髙　泰・徳田啓輔・横須賀昭男・加藤康生
319 関東ロームの水溶性成分による固化処理土の強度への影響
佐藤貴宣（住友大阪セメント）・茶円朋彦・吉田雅彦・清水和也
320 高炉スラグ高含有セメントを用いた地盤改良体の特性（その 9）
熊給哲哉（竹中工務店）・河野貴穂・青木雅路・米澤敏男・植木康知
321 鉄鋼スラグ混合土の透水性および一軸圧縮強度特性について
植松尚大（神戸大）・片岡沙都紀・田口未由希・タラニディ ロハニ・澁谷　啓
322 Basic Study on Strength Characteristics of Industrial Waste Sludge Mixed with Slag or Stabilizer
有國允人（九工大）・永瀬英生・廣岡明彦

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 12 会場
【地盤材料ー改良土・軽量土⑤】　16:45 ～ 18:15
座　長：笠間　清伸（九州大学）
323 セメント系地盤改良における尿素および微生物の併用効果に関する検討
畠　俊郎（富山県立大）・谷川友浩・甲村雄一・金田一広
324 尿素を用いたセメント系地盤改良の施工実験
谷川友浩（竹中工務店）・甲村雄一・金田一広・畠　俊郎
325 セメント改良土の微生物併用による劣化抑制に関する室内実験
三原一輝（富山県立大）・畠　俊郎
326 カルシア改質土の深掘り窪地埋戻し材への適用
赤司有三（新日鉄住金）・太田哲郎・小杉知佳・三木　理
327 浚渫土に含まれる砂分の含有率や粒径が製鋼スラグ混合土の強度特性に及ぼす影響
金子　崇（港空研）・渡部要一・水谷崇亮・鞘師弘一・島村章吾
328 カルシア改質材の粒径がカルシア改質土の強度特性、透水特性に及ぼす粒径の影響
田中洋輔（東亜建設工業）・御手洗義夫
329 海水環境下において固化処理土に生じる変質の Ca 溶出抑制効果とその生成条件
原　弘行（山口大）・末次大輔・松田　博・丸山雄一郎
330 マグネシウム系固化材による改良土の力学特性に及ぼす温度の影響
福田　靖（徳山高専）・上　俊二・桑嶋啓治・阿野憲一・中堀陽平

●９月２日（水）　午前（I）の部　第 12 会場
【地盤材料ー改良土・軽量土⑥】　9:00 ～ 10:30
座　長：大野　進太郎（鹿島建設）
331 セメント改良土の一軸引張試験
安藤嘉哉（芝浦工大）・並河　努
332 セメント改良土の繰返し一軸圧縮試験と結果の評価方法
並河　努（芝浦工大）・塚原巧矢・鈴木吉夫・鬼丸貞友
333 中空ねじりせん断によるセメント改良粘土の力学特性ー粘土の種類による影響ー
中浜悠史（日大）・山田雅一・安達俊夫
334 中空ねじりせん断によるセメント改良粘土の変形特性ーダイレイタンシー特性ー
寺木　亨（日大）・山田雅一・安達俊夫
335 ベンダーエレメントを用いたせん断弾性係数測定によるセメント固化処理土の強度予測
脇岡宏行（広島大）・Gyeong O Kang・土田　孝
336 セメント改良した高含水比粘性土の力学挙動に関する実験的研究
福和彩果（名大）・中野正樹・山田正太郎・酒井崇之・岡野雄馬
337 セメント改良土の力学挙動の再現に向けた SYS Cam-clay model の拡張
山田正太郎（名大）・中野正樹・野田利弘・酒井崇之
338 拡張した SYS Cam-clay model によるセメント改良土の力学挙動の再現
岡野雄馬（名大）・中野正樹・野田利弘・山田正太郎・酒井崇之・福和彩果

●９月２日（水）　午前（II）の部　第 12 会場
【地盤材料ー改良土・軽量土⑦】　10:45 ～ 12:15
座　長：原　弘行（山口大学）
339 海成粘土を対象とした石灰による改良土の強度発現性
堀口亜季子（川崎地質）・三嶋信雄・小林　一・渡辺忠明
340 海水中養生したセメント固化処理土の強度発現と劣化特性
藤澤拓馬（九大）・石藏良平・安福規之・河野貴穂
341 粒状固化処理した泥土の締固め特性について
松尾雄治（九州産業大）・林　泰弘・松丸沙織・藤　龍一・山岡礼三
342 セメント安定処理土と土質の関係についての統計的考察 3
野尻博美（金沢大）
343 セメント混合シルト質現地発生土の盛土材料としての適性の評価
小山智也（神戸大）・片岡沙都紀・タラニディ ロハニ・澁谷　啓・西岡孝尚
344 フライアッシュ系改良材による液状化対策効果と掘削性に関する実験的検討
小池陽平（元横浜国立大）・清田　隆・片桐俊彦・藤田哲之・小長井一男
345 石灰系固化材を用いた浚渫土の繰返し変形特性
島津英介（木更津高専）・鬼塚信弘
346 養生中に撹乱を受けた改良土の強度予測に関する研究
牧野真大（東工大）・竹山智英・北詰昌樹

●９月３日（木）　午前（I）の部　第 12 会場
【地盤材料ーリサイクル材料①】　9:00 ～ 10:30
座　長：吉本　憲正（山口大学）
260 アスファルト再生骨材と笠岡粘土の混合材料に関する力学特性
福島宏文（土研）・横濱勝司・山梨高裕・佐藤厚子
261 アスファルト再生材と豊浦砂の混合物の排水せん断強度
横浜勝司（北大）・福島宏文
262 清掃工場から発生する溶融スラグと粘性土を混合した混合土のせん断特性
矢島寿一（明星大）・二宮健太
263 災害廃棄物の木片腐朽過程を考慮した力学特性の把握に関する試み
浜島圭佑（名大）・中野正樹・野々山栄人・新木　毅・神野琢真
264 粒状固化処理した軟弱土の非排水せん断特性
松丸沙織（九州産業大）・林　泰弘・松尾雄治
265 製鋼スラグのエージング処理が硬化特性に及ぼす影響
大林沙紀（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・武藤昌己・齋藤駿介
266 製鋼スラグ微粉末を添加した地盤材料の締固め時の強度特性
菊池喜昭（東京理科大）・大林沙紀・兵動太一・齋藤駿介・武藤昌己

●９月３日（木）　午前（II）の部　第 12 会場
【地盤材料ーリサイクル材料②】　10:45 ～ 12:15
座　長：松尾　雄治（九州産業大学）
267 タイヤチップ混合固化処理土の動的変形特性
荒孝太郎（茨城大）・村上　哲
268 津波堆積物分別土の一面せん断試験によるせん断強度の評価
多田有汰（香川高専）・小竹　望・山中　稔・山内聡士
269 海砂を混合した高炉水砕スラグの強度特性
中村奨哉（山口大）・松田　博・原　弘行・石井祐充
270 再生石膏とベッドアッシュを用いた低アルカリ固化材の地盤改良材としての力学的・化学的特性の評価
杉本知史（長崎大）・丹田実花・蒋　宇静・大嶺　聖
271 乾湿繰返し試験を用いた石炭灰混合材料の耐久性評価手法の検討（その１：乾燥温度の影響）
梅田真志（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣
272 リサイクル材を有効利用した空洞充填材の適用性
和田幸二郎（飛島建設）・杉浦乾郎・坂本昭夫・加藤一郎

●９月３日（木）　午後（I）の部　第 12 会場
【地盤材料ーリサイクル材料③】　13:15 ～ 14:45
座　長：藤川　拓朗（福岡大学）
273 低混入率短繊維混合補強土の締固め度と強度特性
平野孝行（西松建設）・吉田直人・土橋聖賢
274 PVA 繊維および PP 繊維を混入した流動化処理土の圧縮強度特性
奥墨直人（ジャパンホームシールド）・藤井　衛・深谷敏史・武智耕太郎
275 製紙スラッジ焼却灰利用による砂地盤の改良効果
足立望美（愛媛大）・中田直樹・木下尚樹・安原英明
276 PS 灰改良材の課題と適用性の検討
望月美登志（フジタ）
277 津波外力に耐えたタイヤ被覆擁壁の強度特性
鈴木　衛（九大）・Hemanta Hazarika・原　忠・

竹澤請一郎・黒田修一・栗林健太郎・古市秀雄・大角恒雄

278 破砕コンクリートの工学的性質に関する一考察
平川大貴（防衛大）・宮田喜壽

279 脱水固化処理して作製した浚渫土砂ブロックの材料特性
堂本佳世（九大）・笠間清伸・平澤充成・善　功企・古川全太郎・八尋裕一・中道正人・坂本光信・上田達也・片桐雅明

●９月１日（火）　午前（I）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土①】　9:00 ～ 10:30
座　長：石原　雅規（土木研究所）

545 空気注入不飽和化工法の高速道路盛土への適用性検討（その 5）空気注入実験の比較
山根信幸（東亜建設工業）・藤原斉郁・矢部浩史・大内正敏・中園康平・紙田直充・岡村未対

546 空気注入不飽和化工法の高速道路盛土への適用性検討（その 6）事後解析
大石雅彦（オリエンタル白石）・藤原斉郁・居場博之・矢部浩史・曽根照人・内田純二・岡村未対

547 空気注入不飽和化工法の高速道路盛土への適用性検討（その 7）事後調査と適用性検討のまとめ
内田純二（NEXCO 西日本）・藤井　直・藤原斉郁・居場博之・矢部浩史・橋本欣也・岡村未対

548 排水機能を有するスパイラル羽根付き鋼管による地盤補強工法の開発と適用に関する検討（その 1）
浜崎智洋（NEXCO 西日本）・笠間清伸・殿垣内正人・松方健治・水田富久・和田昌敏

549 排水機能を有するスパイラル羽根付き鋼管による地盤補強工法の開発と適用に関する検討（その 2）
松川耕治（ドーユー大地）・浜崎智洋・松方健治・板清　弘・田口浩史・秋吉亮平

550 砕石竪排水工の対策効果について－その 1：盛土模型実験－
濱田泰治（川崎地質）・藤岡一頼・安部哲生・新井寿和・三嶋信雄・塚本将康

551 砕石竪排水工の対策効果について－その 2：遠心力模型実験－
安部哲生（NEXCO 総研）・藤岡一頼・新井寿和・三嶋信雄・濱田泰治・塚本将康

●９月１日（火）　午前（II）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土②】　10:45 ～ 12:15
座　長：横田　聖哉（高速道路総合技術研究所）

552 既設道路盛土の地山・盛土補強土工法による耐震補強（背景と調査）
澁谷　啓（神戸大）・中西典明・片岡沙都紀・龍岡文夫・小阪拓哉・歳藤修一・田尻英之・上辻和樹

553 既設道路盛土の地山・盛土補強土工法による耐震補強（設計）
鈴木　聡（複合技術研究所）・澁谷　啓・田尻英之・上辻和樹・小阪拓哉・龍岡文夫

554 既設道路盛土の地山・盛土補強土工法による耐震補強（繰り返し注入型地山補強土）
川添英生（ライト工業）・歳藤修一・澁谷　啓・片岡沙都紀・中西典明・田尻英之・上辻和樹

555 既設道路盛土の地山・盛土補強土工法による耐震補強（法先補強土擁壁）
中西典明（復建調査設計）・澁谷　啓・片岡沙都紀・龍岡文夫・小阪拓哉・田尻英之・上辻和樹

556 スレーキング率の高い軟岩材料を盛土材として活用するための試験・調査事例（その 1）
川口小由美（応用地質）・畠山正則・持田文弘・林　満年・大内博夫

557 スレーキング率の高い軟岩材料を盛土材として活用するための試験・調査事例（その 2）
畠山正則（応用地質）・持田文弘・林　満年・川口小由美・大内博夫

558 スレーキング率の高い軟岩材料を盛土材として活用するための試験・調査事例（その 3）
持田文弘（応用地質）・畠山正則・林　満年・川口小由美・大内博夫

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土③】　13:15 ～ 14:45
座　長：豊田　浩史（長岡技術科学大学）

559 本四道路における盛土の調査及び補強対策検討
中村哲也（本州四国連絡高速道路）・磯江　浩・村上博基

560 本四道路における盛土補強対策の効果検証
村上博基（本州四国連絡高速道路）・磯江　浩・中村哲也

561 スレーキング特性の異なる泥岩のせん断特性に及ぼす乾湿経験回数の影響
工藤佳祐（名大）・中野正樹・酒井崇之・倭　大史・福田雄斗

562 スレーキング特性の異なる 3 種類の泥岩砕石集合体の力学挙動に関する骨格構造概念による解釈
中野正樹（名大）・酒井崇之・倭　大史・福田雄斗・工藤佳祐

563 道路盛土のすべり変形評価における改良 O 型 Newmark 法の適用性の検証
魚谷真基（大阪大）・常田賢一・吉川登代子・上出定幸・三好忠和

564 軟弱地盤上の盛土に対する改良 O 型 Newmark 法の適用性に関する検討
吉川登代子（大阪大）・常田賢一・魚谷真基・秦　吉弥・上出定幸・三好忠和

565 E －ディフェンスを利用した盛土を対象とした好適な振動実験
谷　和夫（防災科研）

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土④】　15:00 ～ 16:30
座　長：石川　達也（北海道大学）

566 東北地方太平洋沖地震津波により被災した二重の盛土の侵食特性に関する現地調査
嶋川純平（大阪大）・常田賢一・植田裕也

567 堤内ふとんかごの地下水位低減効果に関する解析的検討
北口峻輝（大阪大）・常田賢一

568 液状化地盤上の盛土の地震時～地震後における沈下量の簡易推定法の提案
上田恭平（鉄道総研）・井澤　淳・小島謙一

569 液状化強度の空間的変化を有する地盤の模型振動台実験
長尾洋太（鉄道総研）・佐藤武斗・松丸貴樹・木口峰夫

570 盛土中に建設された橋脚の耐震性能評価に関する動的解析手法の提案
酒井大央（鉄道総研）・井澤　淳・室野剛隆・西村隆義

571 積雪寒冷気候下にある道路盛土の動態観測とその評価
福津向基（室蘭工大）・川村志麻

572 EPS 置換による道路盛土の沈下補修に関する解析的検討
林　宏親（寒地土研）・山梨高裕・橋本　聖・山木正彦

573 高岡市および射水市の地盤と車体上加速度データの関係
村越祐介（日大）・峯岸邦夫

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土⑤】　16:45 ～ 18:15
座　長：佐々木　哲也（土木研究所）

574 アーチカルバート縦断方向地震時挙動に及ぼす盛土形状の影響に関する遠心模型実験
宮崎祐輔（京大）・澤村康生・岸田　潔・木村　亮

575 強地震時における 3 ヒンジプレキャストアーチカルバートの損傷形態に関する実験的検討
澤村康生（京大）・石原央之・岸田　潔・木村　亮

576 数値解析によるジオテキスタイルを用いた補強盛土工法の耐震メカニズムの把握
酒井崇之（名大）・中野正樹

577 緩い砂質土で構成される盛土体の液状化に関する模型振動台実験
佐藤武斗（鉄道総研）・長尾洋太・松丸貴樹・木口峰夫

578 地震時および地震後の液状化地盤上道路変状防止対策の有効応力解析
伊藤浩二（大林組）・江尻譲嗣

579 表層凍結および浸透水の影響を受ける模型盛土の加振時挙動に関する一考察
岸田久徳（北見工大）・川尻峻三・川口貴之・中村　大・山下　聡

●９月２日（水）　午前（I）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土⑥】　9:00 ～ 10:30
座　長：廣岡　明彦（九州工業大学）

580 沖積粘土地盤における高炉水砕スラグを使用した盛土斜路の設計、施工および動態観測
吉武英樹（JFE スチール）・着　浩二・中田年春・銭谷説予・近藤浩二郎

581 水路近接箇所における道路盛土の軟弱地盤対策
田中　淳（基礎地盤コンサルタンツ）・白井康夫・田上　裕・金丸功希・井手　昇・中西正幸

582 谷部を地盤改良で横断する高速道路盛土で生じた変状原因の推測
澤野幸輝（ネクスコ・エンジニアリング東北）・菊池慎司・高坂敏明・外崎靖也・木下　肇

583 道央自動車道 江部乙地区における盛土の変状発生について
山本陽一（NEXCO 東日本）

584 鉄道沿線における地下流水音探査事例と適用性について
荒平義生（レールテック）・髙馬太一・佐々木良・金山幸司・木上和也

585 排水性補強材を敷設した盛土に関する飽和不飽和浸透流解析
中村大樹（九大）・笠間清伸・浜崎智洋・古川全太郎

586 供用中の道路盛土における強度増加率 m の検討
太田雅之（ダイヤコンサルタント）・山田智史・新井新一

587 空気間隙率が盛土の力学特性に及ぼす影響
梶取真一（土研）・加藤俊二・佐々木哲也

●９月２日（水）　午前（II）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土⑦】　10:45 ～ 12:15
座　長：峯岸　邦夫（日本大学）

588 補強土壁盛土の形状が耐津波安定性に及ぼす影響について
井上貴大（九工大）・廣岡明彦・永瀬英生・佐原邦朗・高尾浩司郎

589 橋台背面盛土の被災状況に擬似津波の流況が及ぼす影響に関する遠心模型実験
吉崎文朗（九工大）・藤岡大千・廣岡明彦・永瀬英生

590 On Tsunami wave pressure acting on embankment with the reinforced earth method calculated by using CADMAS-SURF
黄　　旭（九工大）・廣岡明彦・永瀬英生・佐原邦朗・高尾浩司郎・小宮　聡・上野　淳

591 橋台の耐震補強工法に関する実験的検討
池本宏文（JR 東日本）・高崎秀明

592 地下構造物の交通地盤振動の振動遮断効果に関する遠心模型実験
中村潤也（東工大）・関　　栄・竹村次朗

593 常時微動観測によるスパン長の異なる GRS 一体橋りょうの振動特性の把握
田中浩平（鉄道総研）・宇佐美敦浩・坂井公俊・小島謙一・小田文夫・野田軍治

594 氾濫流による鉄道バラスト道床法面の崩壊シミュレーション
小野田元（横浜国大）・早野公敏

595 Arch action in embankments subjected to subsidence of foundation
ティラポン ピパットポンサー（京大）・宮田凱斗・タナチョート テチャウォンサコン・竹村次朗

●９月３日（木）　午前（I）の部　第 13 会場
【地盤と構造物－路盤，路床①】　9:00 ～ 10:30
座　長：木幡　行宏（室蘭工業大学）

596 段差抑制効果に及ぼすジオグリッド補強路床構造の影響
Manh Hung Ho（埼玉大）・山口純平・岡崎真崇・武井靖幸・橘　伸也・桑野二郎

597 鉄道路盤に用いる水砕スラグモルタルの材料特性
川中島寛幸（JR 東日本）・藤原寅士良・棚村史郎・藤木信男

598 地震時および常時のバラスト軌道水平安定性の発現機構
山本紗穏里（JFE エンジニアリング）・中村貴久・早野公敏・桃谷尚嗣

599　急速施工可能な鉄道路盤に関する研究
　　加藤精亮（JR 東日本）・鈴木啓晋
600　Shear strain distribution of ballasted railway tracks subjected to cyclic loading
　　Janaka Kumara（Tokyo University of Science）・早野公敏・菊池喜昭

●９月３日（木）　午前（II）の部　第 13 会場
【地盤と構造物ー路盤，路床②】　10:45 ～ 12:15
座　長：吉田　信之（神戸大学）

601　衝撃加速度を用いた品質管理方法の路盤・路床への適用性の検討について
　　山田　充（寒地土研）・山梨高裕・佐藤厚子
602　混合地盤材料の路床弾性係数に及ぼす CBR と応力の影響
　　山中光一（日大）・峯岸邦夫・野田遼斗
603　低温時の路盤における小型 FWD 試験による K 値の検討
　　木幡行宏（室蘭工大）・山本健一・齊藤昌之
604　アスファルト舗装切断水の物理化学特性とその有効利用に関する検討
　　松本亜里紗（横浜国大）・山口裕央・星野繁文・高橋俊樹・松戸大輔・早野公敏
605　不飽和路床材の繰返し塑性変形に及ぼす主応力軸回転の影響
　　瀬戸　哲（北大）・石川達也・Dareeju Biyanvilage・Gallage Chaminda

●９月３日（木）　午後（I）の部　第 13 会場
【地盤と構造物ー土構造物　その他】　13:15 ～ 14:45
座　長：早野　公敏（横浜国立大学）

606　鋼矢板と蛇籠を用いた防波堤基礎の耐津波補強に関する津波越流模型実験
　　西村謙吾（九大）・ヘマンタ ハザリカ・バブルー チョードゥリー・門司直也・安福規之・石藏良平
607　道央自動車道茶志内地区の地すべり規模ととのり面変状対策
　　飯田　茂（NEXCO 東日本）・佐藤　貢・日下田亮・北川純一
608　土舗装材を主体とした屋外歩行施設の試験施工
　　早川真未（木更津高専）・鬼塚信弘・小山実納・多田悟士・中野　誠・青嶋義行
609　長期間の粒子摩耗現象解明のための回転ドラム実験と DEM 解析
　　伊藤伸晃（筑波大）・松島亘志・河野昭子
610　Analysis of Breakwater Stability Considering Combined Effect of Earthquake and Tsunami
　　バブルー チョードゥリー（九大）・ヘマンタ ハザリカ・門司直也・西村謙吾・安福規之・石藏良平・原　　忠・山崎直哉
611　土構造物ー地盤系の刺激係数を用いた固有振動モードの揺れやすさの評価
　　後藤敬彦（名大）・山田正太郎・野田利弘・浅岡　顕

●９月３日（木）　午後（II）の部　第 13 会場
【地盤と構造物ーグラウンドアンカー】　15:00 ～ 16:30
座　長：山本　彰（大林組）

719　杭基礎建物に採用した圧縮型グラウンドアンカー緊張力の経時変化特性
　　森　利弘（熊谷組）
720　グラウンドアンカーの海洋環境下における長期耐久性に関する研究／ SuperMC アンカー
　　佐藤　守（SuperMC アンカー研究会）・清宮　理・加藤絵万・武山光成・茂木康弘・飯沢　誠
721　RPD による連続打撃動的貫入試験を利用したアンカー地盤の評価について
　　近藤史祥（興和）・小林雄三・堀松　崇・中野義仁
722　グラウンドアンカーの相互作用に関する実大実験
　　田久　勉（NEXCO 総研）・田山　聡・窪塚大輔
723　グラウンドアンカーの残存引張り力を測定する簡易な装置の適用事例
　　中野　亮（日特建設）・宇次原雅之・芥川真一
724　グラウンドアンカーの損傷事例分析について
　　近藤益央（土研）・宮武裕昭・藤田智弘
725　盛土地震対策用の拡径型アンカーにおける高耐力化への取り組み
　　岡崎賢治（日特建設）・佐川浩紀・菅　浩一・山本　忠・伊藤企陽司・中村　宏・山内真也・山本　淳
726　グラウンドアンカー工の健全性評価における簡易評価手法について
　　常川善弘（相愛）・酒井俊典

●９月１日（火）　午前（I）の部　第 14 会場
【地盤と構造物ートンネル①】　9:00 ～ 10:30
座　長：砂金　伸治（土木研究所）

765　大桑層での NATM トンネル施工における坑内変位計測と FEM 解析（その 1：工事概要および大桑砂の力学的特性）
　　松本樹典（金沢大）・田中大二朗・大谷達彦・佐藤喬一・川本勝彦・小林俊一
766　大桑層での NATM トンネル施工における坑内変位計測と FEM 解析（その 2：二次元変形解析の試み）
　　田中大二朗（金沢大）・大谷達彦・佐藤喬一・川本勝彦・松本樹典・小林俊一
767　高レベル放射性廃棄物地層処分の人工バリアに用いる緩衝材の地震応答評価におけるパラメータ設定方法
　　佐藤　伸（大林組）・伊藤浩二・山本陽一・鈴木　覚
768　高レベル放射性廃棄物地層処分の人工バリアの地震時挙動について
　　山本陽一（原子力発電環境整備機構）・鈴木　覚・佐藤　伸・伊藤浩二
769　連壁本体利用構造物における簡易一体解析手法の適用性
　　小林克哉（鉄道総研）・小島謙一・藤井公博・松丸貴樹・大野進太郎
770　連壁本体利用構造物における擬似一体解析と分離計算法の比較検討
　　關　泰史（ジェイアール東海コンサルタンツ）・佐藤僚生・松丸貴樹・小島謙一
771　本体利用した仮土留めが開削トンネルの地震時挙動に及ぼす影響
　　桐生郷史（ジェイアール東日本コンサルタンツ）・井澤　淳・小島謙一

●９月１日（火）　午前（II）の部　第 14 会場
【地盤と構造物ートンネル②】　10:45 ～ 12:15
座　長：津野　究（鉄道総合技術研究所）

772　中央環状品川線の概要と地質条件
　　寺島善宏（首都高速道路）
773　切開き工法における根入れの無い山留め壁の設計と施工時挙動
　　森田大介（鹿島建設）・渡邉洋介・寺島善宏・立石　明
774　仮設支保工を省略する非開削工法（パイプルーフ工法）の開発
　　橋本　勇（鹿島建設）
775　パイプルーフ工法の施工計画と実績
　　三室恵史（鹿島建設）
776　トンネル間導坑掘削による上下同時掘削掘削と実績
　　畝田篤志（鹿島建設）
777　地盤改良アーチ工法の計画と施工実績
　　小田切芳春（鹿島建設）・西嶋宏介
778　狭隘な空間に施工可能な小型グラウンドアンカー台座の開発と適用
　　山下善幸（鹿島建設）
779　本線トンネル U ターン路の施工計画と実績
　　梶川初太郎（鹿島建設）

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 14 会場
【地盤と構造物ートンネル③】　13:15 ～ 14:45
座　長：吉川直孝（労働安全衛生総合研究所）

780　トンネル吹付けコンクリートの支保効果に関する数値解析検討
　　谷　卓也（大成建設）・青木智幸
781　トンネル天端の傾斜角度の変化を利用した切羽前方地山評価
　　坂井一雄（大成建設）・谷　卓也・青木智幸
782　函体推進工法における箱形ルーフの曲げ試験および数値解析
　　富樫陽太（鉄道総研）・中村智哉・岡野法之・津野　究・小島芳之
783　低土被り部のトンネル掘削影響評価に関する一考察
　　角田晋相（錢高組）
784　鋼管内における無線センサを用いたモニタリング手法
　　津野　究（鉄道総研）・中村智哉・富樫陽太・岡野法之
785　剛性の異なる多層軟弱地盤に建設される浅いボックスカルバートの耐震性能に関する研究
　　西　遥輝（名工大）・岡　良亮・Hamayoon Kheradi・顧　琳琳・張　　鋒
786　北海道横断自動車道余市～小樽間第二天神トンネル発破掘削に伴う地すべり土塊への影響検討及び施工について
　　小澤隆二（NEXCO 東日本）・川口真史・松田拓也
787　北海道横断自動車道余市～小樽間における含軽石火山礫凝灰岩地山のトンネル掘削に伴う変位特性について
　　菅田謙一（NEXCO 東日本）・林　　稔・村上和行・海老子川啓・佐藤　正・日野道雄

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 14 会場
【地盤と構造物ートンネル④】　15:00 ～ 16:30
座　長：土門　剛（首都大学東京）

788　道東自動車道 大夕張トンネル避難抗における変状対策の中間報告
　　加藤文啓（NEXCO 東日本）・斉藤正起・池川真也・大越　保
789　地盤／地形が地震被害に及ぼす影響
　　鈴木直人（東京都市大）・末政直晃
790　プレキャストアーチカルバートにおける層間変位と損傷過程の関係の評価
　　久保田伸一（土研）・篠原聖二・石田雅博
791　Seismic Performance of Uneven Multi-section Tunnels for Subway
　　小西真治（東京地下鉄）・辻　貴大・尾上豊弘・川上幸一・西垣祐弥・前川宏一
792　換気所建物を支持する開削トンネルの耐震性の検討
　　谷口祥基（阪神高速道路）・高田佳彦・藤野秀隆・米元佑介・沼田紫央里
793　開削トンネルに作用する列車荷重による土圧に関する検討
　　柳川一心（鉄道総研）・牛田貴士・仲山貴司・焼田真司
794　高速道路トンネルに生じた変状とトンネル地質特性
　　安田賢哉（ネクスコ・エンジニアリング東北）・菊池慎司・宮沢一雄・鶴原敬久・増渕善明・長瀬　修・永井　宏
795　ボックスカルバートが近接する河川堤防の地震時挙動に関する考察
　　上野舞子（建設技術研究所）・李　圭太・岡嶋義行・小西康之・柚本真介・藤田庸介・小山倫史・大西有三

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 14 会場
【地盤と構造物ートンネル⑤，シールド】　16:45 ～ 18:15
座　長：小西　真治（東京地下鉄）

796　プレキャストアーチカルバートのせん断剛性の評価
　　篠原聖二（土研）・久保田伸一・石田雅博
797　耐震補強を考慮した地中構造物の地震時損傷確率評価に関する検討
　　浦野和彦（安藤ハザマ）・西村　毅・前田博司
798　上載荷重が作用したシールドトンネルに作用する土圧の基礎的検討
　　鈴木　誠（千葉工大）・田口大輔・中井照夫・シャヒン ホサイン
799　上載荷重が作用した大深度シールドトンネルの挙動検討
　　田口大輔（千葉工大）・鈴木　誠・中井照夫・シャヒン ホサイン
800　都心部での非開削切拡げ工法における曲線パイプルーフの挙動再現に関する検討
　　松本拓未（長岡高専）・岩波　基・齊藤悠耶
801　シールドセグメントの限界状態設計法の終局限界状態における荷重係数の選定について
　　藤田貴行（長岡高専）・関すみれ・岩波　基
802　併設シールド掘進に伴う周辺地盤挙動の弾塑性有限要素解析
　　稲垣祐輔（地域地盤環境研究所）・譽田孝宏・Shahin Hossain・中井照夫
803　節付き地中連続壁を用いた立坑の盤ぶくれ抵抗に関する研究
　　光森　章（大林組）・渡邉康司・喜多直之・西岡英俊・神田政幸

●９月２日（水）　　午前（I）の部　　第 14 会場
【地盤と構造物－ケーソン基礎，杭基礎①】　9:00 ～ 10:30
座　長：本多　剛（竹中工務店）

637　部分排水条件下における防波堤マウンド材の繰返しせん断強度に関する考察
山崎直哉（高知大）･原　　忠･ヘマンタ ハザリカ･門司直也・バブルー チョードリー

638　洪積砂層におけるケーソン内の平板載荷試験地盤の初期応力に関する一考察
小宅知行（オリエンタル白石）・春日清志・加藤瑞穂

639　耐震・耐津波防波堤の基礎構造の耐震性評価
バブルー チョードリー（九大）・ヘマンタ ハザリカ・門司直也・西村謙吾・石蔵良平・笠間清伸・原　　忠・山崎直哉

640　床付け深度の異なる超高層免震建物を支持する異種基礎―その１：基礎構造計画―
佐原　守（大林組）・鈴木直子・北山宏貴

641　床付け深度の異なる超高層免震建物を支持する異種基礎―その２：常時の沈下挙動解析と計測―
冨安祐貴（大林組）・佐原　守・鈴木直子・北山宏貴

642　床付け深度の異なる超高層免震建物を支持する異種基礎―その３：地震時の水平挙動解析―
鈴木直子（大林組）・佐原　守・北山宏貴

643　押込み杭の貫入抵抗に及ぼす打抜きの影響に関する模型実験（その１：実験概要）
森安俊介（新日鐵住金）・目黒秀昂・松本樹典・小林俊一・下野慎也

644　押込み杭の貫入抵抗に及ぼす打抜きの影響に関する模型実験（その２：実験結果）
目黒秀昂（金沢大）･森安俊介･松本樹典･小林俊一･下野慎也

●９月２日（水）　　午前（II）の部　　第 14 会場
【地盤と構造物－擁壁】　10:45 ～ 12:15
座　長：藤田　智弘（土木研究所）

727　2014 年長野県北部地震で崩壊した混合擁壁の被災要因―その１：被災状況と現地調査―
栗林健太郎（エイト日本技術開発）・原　　忠・坂部晃子・石川　諒・ヘマンタ ハザリカ・菅原大暉・八木　悟・竹澤請一郎・三村佳織・古市秀雄

728　2014 年長野県北部地震で崩壊した混合擁壁の被災要因分析　その２室内試験
品川大地（高知大）・原　　忠・山崎直哉・ヘマンタ ハザリカ・鈴木　衛・栗林健太郎・八木　悟・竹澤請一郎・三村佳織・古市秀雄

729　北海道新幹線に用いた補強盛土一体橋梁（GRS 一体橋梁）の長期挙動
高野裕輔（鉄道･運輸機構）･山崎貴之･丸山　修･青木一二三・佐々木徹也・西岡英俊・小島謙一

730　洗掘を受けた護岸の振動特性を考慮した健全度評価
窪田勇輝（シーエス・インスペクター）・猪木勇至

731　上載荷重に対する L 型擁壁の構造性能に関する実験的研究―載荷位置の影響について―
西尾聡史（旭化成ホームズ）・和田昇三・伊集院博

732　地山補強材により補強された既設もたれ壁の地震時安定性評価に関する検証解析
谷　賢俊（鉄道総研）・中島　進・長尾洋太

733　耐震補強された擁壁に作用する地震時土圧に関する考察
中島　進（鉄道総研）・谷　賢俊・渡辺健治

734　もたれ壁を有する盛土の耐震性に関する振動台実験
細井　学（JR 東日本）・高崎秀明・池本宏文

735　NMM-DDA による地盤と擁壁の相互作用問題に関する研究
川上紘平（京大）・橋本涼太・肥後陽介・三村　衛

●９月３日（木）　　午前（I）の部　　第 14 会場
【地盤と構造物－土留め・山留め①】　9:00 ～ 10:30
座　長：渡邉　康司（大林組）

736　大規模開削工事における土留め工の合理化（その 1）設計計画
戸川　敬（鹿島建設）・吉田　潔・渡辺幹広・竹内業史・坂梨利男・谷澤史剛・志村　敦・渡辺真介

737　大規模開削工事における土留め工の合理化（その 2）施工実績
谷澤史剛（鹿島建設）・坂梨利男・吉田　潔・渡辺幹広・戸川　敬・竹内業史・志村　敦・渡辺真介

738　軟弱地盤における地盤改良を用いた山留め壁の挙動 その１
中津紀幸（竹中工務店）・河野貴穂・山川昭次・中江　滋・砂井貴秀

739　軟弱地盤における地盤改良を用いた山留め壁の挙動 その２
砂井貴秀（竹中工務店）・河野貴穂・中津紀幸・中江　滋・山川昭次

740　軟弱粘性土地盤掘削時の山留め及び背面地盤の変形（その１：現場計測）
小澤貴史（清水建設）・堀田洋之・松原　優・笹野直也

741　軟弱粘性土地盤掘削時の山留め及び背面地盤の変形（その２：数値解析）
堀田洋之（清水建設）・小澤貴史・松原　優・笹野直也

742　吸水性高分子摩擦低減剤の地盤条件を考慮した膨潤・透水特性
宮本克真（信州大）･梅崎健夫･河村　隆･小林優太･岡本功一・服部　晃

743　吸水性高分子摩擦低減剤のせん断抵抗に及ぼす吸水量の影響
古久根晋太郎（信州大）・梅崎健夫・河村　隆・小林優太・岡本功一・服部　晃

●９月３日（木）　　午前（II）の部　　第 14 会場
【地盤と構造物－土留め・山留め②】　10:45 ～ 12:15
座　長：石井　武司（中央大学）

744　アルミ棒積層体を用いたブロック積み擁壁の孕み出しに伴う地盤の変形挙動
平　瑞樹（鹿児島大）・山本健太郎・永川勝久・落合　勇

745　地盤改良体を用いた斜め自立土留めの遠心力模型実験
青木峻二（大林組）･高橋真一･杉江茂彦･嶋田洋一･前田知就

746　土留め工の逆解析と予測解析に関する考察
田中耕一（鹿島建設）

747　大規模根切りにおける地盤改良を用いた自立山留め壁の挙動
前田壮亮（竹中土木）・河野貴穂・岡本圭史郎・山川昭次・青木雅道

748　近接施工の弾性解析による試計算
加藤将史（長岡高専）・岩波　基・井上晋太郎

749　不整形な掘削形状の工事における周辺構造物の変位予測
田口智也（戸田建設）・石丸達朗・金子　治

750　気泡掘削ソイルセメント地中連続壁（AWARD-Hsm 工法）の施工品質について
三反畑勇（安藤ハザマ）・佐久間誠也・増田浩二・近藤義正・上原精治・俵　豊光・一瀬　猛

751　高吸水性ポリマーを用いたポリマー混合度の遮水性・透水性の回復について
中村　淳（早大）･赤木寛一･下坂賢二･近藤義正･三反畑勇･小野田浩二・安井利彰・駒澤辰弥

752　臨海部の大規模土留め壁に生じた引張挙動に関する検討
石山正太郎（長岡高専）・岩渕崇宏・岩波　基

●９月３日（木）　　午後（I）の部　　第 14 会場
【地盤と構造物－岸壁・護岸①】　13:15 ～ 14:45
座　長：飛田　哲男（京都大学）

753　津波による浸透力を考慮した防波堤マウンドの支持力に関する実験と解析
丸山憲治（ジオデザイン）・高橋英紀・佐々真志・森川嘉之・高野大樹・松原宗伸・遠山憲二・平田昭博

754　腹付工を含むケーソン式防波堤マウンドの支持力に関する遠心模型実験と円弧すべり解析
橋爪秀夫（ジオデザイン）・高橋英紀・佐々真志・森川嘉之・高野大樹・丸山憲治

755　岸壁背面における格子状地盤改良対策の地震挙動の検証（その 1）－遠心模型実験－
山尾　祥（新日鐵住金）・高野良広・伊勢典央・杉村裕二・樋口俊一・野田和久・中村　泰

756　岸壁背面における格子状地盤改良対策の地震挙動の検証（その 2）-FLIP による再現解析－
樋口俊一（大林組）･山尾　祥･高野良広･伊勢典央･杉村裕二・野田和久・中村　泰

757　杭式改良による液状化側方流動量の抑制効果に関する研究－その１：遠心模型実験と流体解析による流れの再現
高橋直樹（三井住友建設）・高橋英紀・森川嘉之・東畑郁生・高野大樹・津田和夏希

758　杭式改良による液状化側方流動量の抑制効果に関する研究－その２：遠心模型実験での改良杭への流動力の評価－
津田和夏希（三井住友建設）･森川嘉之･高橋英紀･高橋直樹・東畑郁生

●９月３日（木）　　午後（II）の部　　第 14 会場
【地盤と構造物－岸壁・護岸②】　15:00 ～ 16:30
座　長：樋口　俊一（大林組）

759　岸壁構造への高強度ジオグリッド適用における引抜き試験
水谷　将（五洋建設）・三好俊康

760　防潮堤の転倒対策工のための矢板根入れ深さの検討
谷垣嘉基（徳島大）･大住俊揮･上野勝利･渦岡良介･阿南悠佑

761　津波による防波堤の破壊機構－浸透流の影響について
三浦智久（京大）・飛田哲男・井合　進

762　控え工の先端支持力のモデル化の違いが矢板式岸壁の地震応答解析結果に与える影響について
塩崎禎郎（JFE スチール）・兵頭順一・小堤　治・飛田哲男

763　水位変動による損傷孔を有する矢板裏込めの空洞化実験
阿南悠佑（徳島大）･上野勝利･大住俊揮･矢上千尋･渦岡良介・鈴木　壽

764　地震変形後の荷重を考慮した桟橋の模型振動実験
小濱英司（港空研）・寺田竜士・宇野州彦

●９月１日（火）　　午前（I）の部　　第 15 会場
【地盤と構造物－補強土①】　9:00 ～ 10:30
座　長：桑野　二郎（埼玉大学）

813　ジオテキスタイル拘束土壁工法の地震時挙動に関する振動台実験
伊藤修二（前田工繊）・小嶋啓介・伊藤雅基・藤田凌輔・辻慎一朗

814　ジオテキスタイル拘束土壁工法の耐震性に関する安定解析
辻慎一朗（前田工繊）・伊藤修二・小嶋啓介・伊藤雅基・藤田凌輔

815　ジオシンセティックス補強材を適用した補強土壁の動態観測（1）－壁面の実挙動と張力分布－
尾方武文（ヒロセ）・大谷義則・佐藤　登

816　ジオシンセティックス補強材を適用した補強土壁の動態観測（2）－変形性能－
佐藤　登（ヒロセ）・大谷義則・尾方武文

817　衝撃振動実験による盛土の耐震補強技術の検討
戸村豪治（三井住友建設）・小林敬尚・中田幸男・兵動正幸

818　地層構造の違いによる水平慣性力載荷時の斜面崩壊機構
小林敬尚（山口大）・中田幸男・兵動正幸・戸村豪治

819　補強土壁の維持管理手法構築に向けた変状事例の考察
志村直紀（土研）・藤田智弘・久保哲也・宮武裕昭

820　補強土壁の補強材破断に関する維持管理手法開発に向けた実大模型実験（その 1）
久保哲也（土研）･藤田智弘･志村直紀･宮武裕昭･宮田喜壽

821　補強土壁の補強材破断に関する維持管理手法開発に向けた実大模型実験（その 2）
藤田智弘（土研）･久保哲也･志村直紀･宮武裕昭･宮田喜壽

●９月１日（火）　　午前（II）の部　　第 15 会場
【地盤と構造物－補強土②】　10:45 ～ 12:15
座　長：平川　大貴（中央大学）

822　格子状鉄筋補強材の土中引抜抵抗力の評価－その１：引抜抵抗力の評価式の検討－
住田　聡（ジオシステム）・寺尾邦憲・大出健司・

金　春峰・小川憲保・本郷隆夫
823 格子状鉄筋補強材の土中引抜抵抗力の評価
－その２：評価式の適用性の検討－
大出健司（ジオシステム）・寺尾邦憲・住田　聡・
金　春峰・小川憲保・本郷隆夫
824 ジオシンセティックスおよび矢板を用いた補強方法の実験的研究
木下貴道（名工大）・Hossain Shahin・磯部有作・
中井照夫
825 せん断変形を受ける地盤での鋼矢板を用いた変位抑制工法の検討
磯部有作（地層科学研究所）・木下貴道・
Hossain Shahin・中井照夫
826 改良型ジオセルとジオグリッド補強材の砂・礫盛土地盤からの引抜き抵抗に関する研究
大塚悠太（芝浦工大）・米良有玄・Xinye Han・
清田　隆・片桐俊彦・並河　努
827 背面盛土に礫材を用いた改良型ジオセル補強土擁壁の振動台模型実験
米良有玄（東大）・Xinye Han・清田　隆・
片桐俊彦・大塚悠太
828 補強モルタル吹付工を用いたのり面工の破壊強度に関する実験的検討
高柳　剛（鉄道総研）・太田直之・窪塚大輔・
宇次原雅之
829 格子状補強シートによる液状化対策工の数値解析におけるモデル化手法
小原隆志（鹿島建設）・岡本道孝・北本幸義・
吉田　輝・京川裕之・澤田叔宏

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－補強土③】　13:15 ～ 14:45
座　長：河村　隆（信州大学）
830 長時間の津波越流に粘り強く抵抗する盛土構造の開発
藤井公博（鉄道総研）・渡辺健治・松浦光佑・
工藤敦弘・中島　進
831 HDPE ジオグリッドの引張変形に伴う微細構造変化
小林昂平（防衛大）・宮田喜壽・平川大貴・
畠　俊郎
832 ジオグリッドの施工時損傷性の信頼性解析
宮田喜壽（防衛大）・Richard Bathurst
833 Potential benefit of geosynthetic reinforced soil under cyclic and monotonic loading with circular loading plate
Aung Aung Soe（埼玉大）・橘　伸也・桑野二郎・
森本翔太・米田淳博
834 既設アンカー式補強土壁の健全度評価方法について
橋本　聖（寒地土研）・山梨正裕・林　宏親・
山木正彦
835 格子状地盤改良体から採取した全長コアのせん断波速度分布
天利　実（清水建設）・石川　明
836 ジオグリッドで補強された土の曲げ特性に関する実験的研究
岩佐　茜（国土交通省）・関　　栄・高橋章浩
837 現場使用を想定した新型引抜き試験機の開発
佐原邦朋（ヒロセ）・志村直紀・佐藤　登・岡本力也・
鈴木　博

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－補強土④】　15:00 ～ 16:30
座　長：篠田　昌弘（鉄道総合技術研究所）
838 ジオテキスタイル補強固化土層による道路段差対策工法の耐荷重
三上大道（鹿島建設）・北本幸義・吉田　輝
839 鋼製帯状補強土（テールアルメ）壁のための有限要素法のモデル化
熊田哲規（ヒロセ）・陳　国良
840 豪雨浸透を受けるアンカー補強土壁の地震時挙動に関する実験的研究
小林　睦（豊田高専）・三浦均也・小浪岳治・
桂川隼斗・奥平早香
841 地下水を有するアンカー式補強土壁の地震時挙動に関する遠心模型実験
佐藤寛樹（豊田高専）・小林　睦・三浦均也・
小浪岳治・赤川珠美
842 鋼製帯状補強土壁におけるストリップの残存耐力の評価
浅田陵平（山口大）・鈴木素之・大谷義則・
志村直紀
843 緩勾配斜面における支圧板付きロックボルトの引張補強力発現に関する遠心模型実験
中本詩瑶（東工大）・関　　栄・竹村次朗・
岩佐直人
844 受圧板を有する地山補強土工法ののり面工低減係数に関する考察
小竹　望（香川高専）・濱口竜一・土居正信・
沓澤　武
845 小規模建築物におけるソイルセメントコラムのセメント系固化材添加量に関する考察
深谷敏史（ジャパンホームシールド）・西村祥久・
藤森巳喜

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－ダム・堤防①】　16:45 ～ 18:15
座　長：小高　猛司（名城大学）
493 非排水繰返し載荷に伴うダム・ため池堤体の強度低下特性の評価－篠山地区の事例－
日下拓也（日本工営）・小林浩二・齊藤　淳・
林　良樹・矢野光生
494 非排水繰返し載荷による強度低下を考慮したダムのニューマーク D 法解析事例
石川裕規（日本工営）・佐藤誠一・白石保律・
橋本和明・佐久間和弘・矢野光生
495 非排水繰返し載荷による強度低下を考慮したため池のニューマーク D 法解析事例
白石保律（日本工営）・佐藤誠一・石川裕規・
佐久間和弘・橋本和明・矢野光生
496 遠心模型実験による堤体の液状化対策工の効果の検討
荒木裕行（土研）・谷本俊輔・石原雅規・
佐々木哲也
497 有限要素法を用いた自重変形解析による堤体の液状化対策工の評価
石原雅規（土研）・荒木裕行・谷本俊輔・
佐々木哲也
498 堤防補強構造に関する加速度振幅に着目した解析的研究
藤原覚太（新日鐵住金）・妙中真治・乙志和孝・
戸田和秀・八嶋　厚・沢田和秀・武田和祥・
小堀雄太
499 実堤防断面を対象とした巨大地震に対する堤防補強構造の解析的研究
武田和祥（岐阜大）・八嶋　厚・沢田和秀・小堀雄太・
妙中真治・藤原覚太・乙志和孝・戸田和秀

●９月２日（水）　午前（I）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－ダム・堤防②】　9:00 ～ 10:30
座　長：谷本　俊輔（土木研究所）
500 フィルダムの堤体改修における強度異方性問題（その１）
北島　明（フジタ）・福島伸二・谷　　茂・
酒巻克之
501 フィルダムの堤体改修における強度異方性問題（その２）
福島伸二（フジタ）・北島　明・谷　　茂・
酒巻克之
502 土の締固めにおける乾燥密度、飽和度、含水比の総合的管理
龍岡文夫（東京理科大）
503 飽和度に着目した転圧試験結果の整理
岡本道孝（鹿島建設）・北本幸義・吉田　輝・
小林一三・三上大道・藤崎勝利・龍岡文夫
504 二重鋼矢板堤防の地震・津波複合災害に対する性能評価 その１ 地震時の挙動の検討
戸田和秀（新日鐵住金）・乙志和孝・原　　忠・
谷　美宏・古市秀雄・弘瀬智隆・西　剛整
505 二重鋼矢板堤防の地震・津波複合災害に対する性能評価 その２ 津波外力の検討
谷　美宏（高知大）・原　　忠・戸田和秀・乙志和孝・
古市秀雄・弘瀬智隆・西　剛整
506 現場条件の制約下における海岸堤防の鋼管壁による耐震・耐津波の検証
弘瀬智隆（技研製作所）・古市秀雄・原　　忠・
谷　美宏・西　剛整・戸田和秀・乙志和孝

●９月２日（水）　午前（II）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－ダム・堤防③】　10:45 ～ 12:15
座　長：常田　賢一（大阪大学）
507 降雨がフィルダム浸透量に与える影響の経験的予測手法
太田垣晃一郎（水資源機構）・曽田英揮・
岸田　潔
508 都市型集中豪雨を想定した急速な浸透対策としての通気防水シート及びドレーン工の補強効果
齊藤　啓（名工大）・前田健一・李　兆卿
509 ため池のレベル２耐震診断における崩壊予測手法に関する考察
赤坂幸洋（基礎地盤コンサルタンツ）・野村英雄・
久賀真一・長谷川勝喜・砂川伸雄
510 小型循環水路を用いた模型実験による砂質盛土の耐津波特性の検討
深津圭佑（東京理科大）・久松祐太郎・菊池喜昭・
兵動太一・龍岡文夫・渡辺健治
511 パラペット構造を持つアースダム天端の地震時発生亀裂の要因について
菅野高弘（京大）・靍井翔平・小林　晃・
村上　章
512 砕・転圧盛土の耐侵食性能について
堀田崇由（フジタ）・北島　明
513 非連成浸透流解析による盛土築造時の間隙水圧増加メカニズムの検討
西村　聡（北大）
514 ロックフィルダムの耐震性能照査に用いられる入力物性値の比較と最大すべり変形量に及ぼすロック材のせん断強度の影響
藤川　祥（土研）・佐藤弘行・榎村康史

●９月３日（木）　午前（I）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－ダム・堤防④】　9:00 ～ 10:30
座　長：岡村　未対（愛媛大学）
515 水位変動に伴う剛構造樋門周辺堤防の劣化に関する模型実験
劉　天明（名城大）・崔　　瑛・小高猛司・
李　圭太
516 剛構造樋門周辺堤防の劣化に関する３次元模型実験
崔　　瑛（名城大）・小高猛司・李　圭太
517 小型モーションロガーを用いた透水性基礎地盤に起因する河川堤防の進行性破壊の計測
倉田大輔（国総研）・福原直樹・森　啓年・服部　敦・
吉田直人・石原雅規・佐々木哲也
518 河川堤防の盤膨れ及び亀裂発生の SPH 法による再現解析
下川大介（国総研）・森　啓年・倉田大輔・福原直樹・
服部　敦
519 空気～水～土骨格連成有限変形解析に基づく河川堤防基礎地盤の透水性がパイピング破壊に及ぼす影響評価
加藤健太（名大）・吉川高広・野田利弘・小高猛司・
高稲敏浩・李　圭太
520 空気～水～土骨格連成有限変形解析に基づく南海トラフ地震に対する大規模河川堤防の挙動に及ぼす河川水位の影響評価
野田利弘（名大）・吉川高広・加藤健太・小高猛司・
高稲敏浩・李　圭太
521 締固めエネルギーに対する密度変化に関する考察
曽田英揮（水資源機構）・太田垣晃一郎・
龍岡文夫
522 アップサイクルブロックを用いた盛土の耐津波性に関する模型実験
植田裕也（大阪大）・常田賢一・嶋川純平・森田晃司・
川本卓人

●９月３日（木）　午前（II）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－ダム・堤防⑤】　10:45 ～ 12:15
座　長：野田　利弘（名古屋大学）
523 ニューマーク法による地震時残留すべり解析に適用する非排水繰返しによる強度低下モデルについて
Antoine Duttine（複合技術研究所）・龍岡文夫・
矢崎澄雄・毛利栄征
524 飽和土の非排水繰返し載荷による強度低下率に対する初期せん断応力と締固め度の影響
上野和広（農村工研）・毛利栄征・田中忠次・
龍岡文夫
525 透水性基盤の成層構造条件に着目したパイピング発生メカニズム
李　兆卿（名工大）・前田健一・齊藤　啓・
山口敦志
526 高分解能 GPR による河川堤防漏水箇所の詳細地盤

構造調査
青池邦夫（土研）・金子正洋・稲崎富士

527 粒子法によるすべりと噴砂を伴う河川堤防被災の再現解析
森　啓年（国総研）・下川大介・倉田大輔・福原直樹・服部　敦

528 軟弱粘性土地盤の圧密進行に伴う河川堤防の地震時被災に関する考察－吉田川堤防における事例－
柳畑　亨（国土技術研究センター）・佐々木康・阿部誠司・高田浩穂・千葉孝寿・阿部知之

529 礫質堤防土の力学特性の評価に及ぼす供試体再構成条件の影響
田村太郎（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・小林芳樹・武　　楊・李　圭太

530 砂質堤防土の強度定数評価に及ぼす供試体再構成と凍結過程の影響
武　　楊（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・小林芳樹・田村太郎・李　圭太

●９月３日（木）　午後（I）の部　第 15 会場
【地盤材料－ダム・堤防⑥】　13:15 ～ 14:45
座　長：李　圭太（建設技術研究所）

531 詳細な地盤調査に基づく河川堤防の地震応答解析
高木竜二（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・大野雄貴・李　圭太

532 動的遠心力模型実験によるため池堤体の地震時挙動の検討
ソッキアン スレン（日本工営）・小林浩二・家田浩之・毛利栄征・田頭秀和・佐藤誠一

533 Numerical simulation to validate the effectiveness of countermeasure to prevent liquefaction inside the river dike body
Triandini Tamia（愛媛大）・岡村未対

534 ため池堤体のレベル２地震動に対する地震時変形解析に関する考察
萩原協仁（基礎地盤コンサルタンツ）・野村英雄・坪田邦治・久保裕一

535 気相の影響を考慮した河川堤防の外水位変動シミュレーション
織田裕至（神戸大）・川勝拓哉・河井克之・飯塚　敦

536 地下水位が異なる粘性土地盤上の不飽和盛土の静的／動的空気～水～土骨格連成解析
吉川高広（名大）・野田利弘・小高猛司・高稲敏浩

537 層構造の異なる軟弱地盤上に設置された樋門底面の空洞の比較
吉田直人（土研）・平林　学・石原雅規・佐々木哲也

●９月３日（木）　午後（II）の部　第 15 会場
【地盤と構造物－ダム・堤防⑦】　15:00 ～ 16:30
座　長：森口　周二（東北大学）

538 河川堤防の進行性破壊に関する模型実験におけるのり面勾配および基礎地盤の比較
秋場俊一（土研）・吉田直人・石原雅規・佐々木哲也

539 ベントナイト混合砂の堤体法面被覆材としての適用性の検討
竹内啓介（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・古山翔悟・水田一貴・李　圭太

540 波浪の作用に伴う海岸堤防の不安定性評価手法の提案と Hai Hau 海岸への適用
藤野友彰（茨城大）・村上　哲・安原一哉

541 外水の浸透による微小な堤体表面変位と内部状態の関係に関する実験
伊藤公孝（愛媛大）・岡村未対

542 河川堤防に近接する地中構造物を考慮した三次元浸透挙動に関する考察
田川　央（建設技術研究所）・李　圭太・小林猛嗣・小西康之・柚木真介・藤田庸介・小山倫史・大西有三

543 越流・浸透流を考慮した捨石マウンドの安定重量に関する水理模型実験
井上翔太（九大）・笠間清伸・平澤充成・善　功企・古川全太郎・八尋裕一

544 厚層透水地盤を有する河川堤防における鋼矢板を用いた浸透対策に関する考察
吉川智勝（建設技術研究所）・李　圭太・大橋泰博・小山倫史・大西有三

●９月１日（火）　午前（I）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎②】　9:00 ～ 10:30
座　長：関口　徹（千葉大学）

645 Load tests on pile group and piled raft models having batter piles (Part 1: Outline of the experiments)
アン　トゥアン ブ（金沢大）・吉谷　凌・田中大二郎・松本樹典・小林俊一・下野慎也

646 斜杭を有する群杭およびパイルド・ラフトの模型載荷実験（その２：実験結果）
吉谷　凌（金沢大）・Anh Tuan Vu・松本樹典・小林俊一・下野慎也

647 Experimental study on reinforcement of existing bridge pile foundations(Part 1: Outline of the experiments)
下野慎也（金沢大）・Tanatan Tikanta・松本樹典・Anh Tuan Vu・小林俊一

648 Experimental study on reinforcement of existing bridge pile foundations (Part 2: Results of the experiments)
Tanatan Tikanta（金沢大）・下野慎也・松本樹典・Anh Tuan Vu・小林俊一

649 杭の先端支持力に着目した三次元解析（その１）－単杭－
兵頭順一（東電設計）・藤井紀之・小堤　治・飛田哲男

650 杭の先端支持力に着目した三次元解析（その２）―相対密度 60%―
桑原直範（ニュージェック）・宮下健一朗・曽根照人・増田幸一・飛田哲男

651 杭の先端支持力に着目した三次元解析（その３）―相対密度 75%―
藤井紀之（応用地質）・塩崎禎郎・小堤　治・飛田哲男

652 杭の先端支持力に着目した三次元解析（その４）－相対密度 90% －
宇野州彦（五洋建設）・兵頭順一・増田幸一・飛田哲男

●９月１日（火）　午前（II）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎③】　10:45 ～ 12:15
座　長：濱田　純次（竹中工務店）

653 杭基礎模型に対する水平方向の動・静的載荷試験による減衰量の評価（その１FEM による手法の検討）
本山紘希（鉄道総研）・室野剛隆

654 杭基礎模型に対する水平方向の動・静的載荷試験による減衰量の評価（その２土槽実験）
藤井　達（大林組）・室野剛隆・本山紘希・藤森健史

655 杭基礎模型に対する水平方向の動・静的載荷試験による減衰量の評価（その３減衰量の試算）
室野剛隆（鉄道総研）・本山紘希・藤井　達・藤森健史

656 1G 場振動台を用いた増し杭された群杭基礎の荷重分担機構の検討
白石将大（京大）・寺本俊太郎・平田　望・木村　亮

657 有限要素法を用いた増し杭された群杭基礎の荷重分担機構の検討
寺本俊太郎（京大）・白石将大・木村　亮

658 杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価に関する大型振動台実験 その１実験概要
杉山裕樹（阪神高速道路）・小林　寛・篠原聖二・木村　亮・澤村康生・光吉泰生・磯部公一

659 杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価に関する大型振動台実験 その２乾燥砂地盤
光吉泰生（京大）・杉山裕樹・小林　寛・篠原聖二・木村　亮・澤村康生・磯部公一

660 杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価に関する大型振動台実験 その３液状化地盤
磯部公一（北大）・杉山裕樹・小林　寛・篠原聖二・木村　亮・澤村康生・光吉泰生

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎④】　13:15 ～ 14:45
座　長：冨澤　幸一（寒地土木研究所）

661 遠心載荷実験に基づく上屋・杭基礎－地盤系において変動軸力を受ける円形中空断面杭の動座屈耐力評価 その１円形中杭断面杭の曲げ歪応答に基づく動座屈判定指標
岸野泰典（山下設計）・後藤天志郎・田村修次・木村祥裕

662 遠心載荷実験に基づく上屋・杭基礎－地盤系において変動軸力を受ける円形中空断面杭の動座屈耐力評価 その２液状化地盤における円形中空断面杭の動座屈耐力評価
後藤天志郎（東北大）・岸野泰典・田村修次・木村祥裕

663 鉛直方向杭頭ばね定数に関する JSCA 算定式の精度（プレボーリング節杭工法の載荷試験データ）
小椋仁志（ジャパンパイル）・鈴木　誠・小林　淳

664 鉛直方向杭頭ばね定数に関する土研資料算定式の精度（プレボーリング節杭工法の載荷試験データ）
小林　淳（千葉工大）・小椋仁志・鈴木　誠

665 パイプロハンマ工法による H 鋼杭打設時の支持層確認手法に関する研究
下村修一（日大）・中居正樹・斎藤由浩・佐藤安生

666 場所打ち杭の断面積変化評価手法の開発
阿部秋男（東京ソイルリサーチ）

667 軟弱粘性土地盤における杭の極限水平抵抗力の数値解析
Hong　Nguyen Le（長岡技科大）

668 Localization of acoustic emissions from highly stressed sands near to pile tip
Wuwei Mao（東大）・青山翔吾・後藤　茂・東畑郁生

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑤】　15:00 ～ 16:30
座　長：三辻　和弥（山形大学）

669 遠心力模型実験に基づく液状化中の火山灰質地盤における杭の水平地盤反力係数の評価
江川拓也（寒地土研）・山梨高裕・冨澤幸一

670 遠心載荷実験におけるコンクリート系杭の破壊挙動と上部構造の応答性状変化
林　和宏（豊橋技科大）・田村修次

671 砂質土地盤におけるひずみくさびモデルを用いて非線形材料を考慮した単杭の水平載荷挙動の評価
芦澤拓八（群馬大）・蔡　　飛

672 杭基礎損傷の非破壊検査法の開発を目指した数値解析的検討
和田一範（鉄道総研）・豊岡亮洋・室野剛隆

673 転倒モーメントが群杭内水平力分担に与える影響に関する解析的検討
周　友昊（清水建設）・眞野英之・時松孝次

674 地震時転倒モーメントによる杭基礎沈下とそのメカニズムに関する実験的検討
土屋研太（東工大）・時松孝次・田村修次

675 東北地方太平洋沖地震津波による杭基礎建物の転倒被害
石田通孝（東工大）・時松孝次・井上修作

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑥】　16:45 ～ 18:15
座　長：鈴木　比呂子（千葉工業大学）

676 既設道路橋杭基礎の耐震性能評価に関する検討
篠田隆作（阪神高速道路）・八ツ元仁・小坂　崇・鈴木　威

677 既設杭基礎の液状化地盤における耐震補強技術の実験的検討
冨澤幸一（寒地土研）・山梨高裕・三浦清一

678 地震時における護岸背後地盤の側方流動対策工としての抑止杭に作用する外力特性に関する実験的研究―非液状化層の有無による検討―
加藤一紀（早大）・樋口俊一

679 液状化地盤における摩擦杭基礎の沈下挙動に関する遠心実験
奥村豪悠（竹中工務店）・山中　龍・本多　剛

680 2 層地盤において水平力や地盤変形を受ける杭の変形と応力に関する考察
山中　龍（東工大）・時松孝次

681 砂地盤におけるパイルド・ラフトおよび群杭模型基礎の振動実験
江指健一（金沢大）・イェシム ウンサバー・松本樹典・小林俊一・下野慎也

682 群杭基礎の地盤部分改良工法による耐震補強効果に関する数値実験

岡　良亮（名工大）・Hamayoon Kheradi・西　遥輝・張　鋒

●９月２日（水）　午前（I）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑦】 9:00 ～ 10:30
座　長：下村　修一（日本大学）

683 回転貫入杭の引抜き抵抗力に関する模型実験－Ⅳ
峯　知宏（室蘭工大）・土屋　勉・永井　宏・島田正夫・岡　聖也・中沢楓太

684 小口径鋼管杭の配置が斜面の補強効果に与える影響
菅原大暉（九大）・ヘマンタ ハザリカ・渡邊直人・鱸　洋一・安福規之・石藏良平

685 セメント系地盤改良のためのハイブリッド遅延剤の検討
石川喜章（東京都市大）

686 砂質地盤中のサクションアンカー引抜抵抗に関する遠心模型実験
北　勝利（東海大）

687 電気浸透法を用いたソイルセメント中の鋼材引抜き抵抗低減に関する基礎的実験
松尾健二（前田建設工業）・中本雅也・安井利彰

688 既設構造物に近接した地中連続壁の溝壁安定に関する遠心模型実験
藤井太志（大林組）・渡邉康司・矢部文生・石井武司・齋藤邦夫

689 斜面上に設置された落石防止用杭基礎の耐衝撃挙動に関する模型実験
成田恵祐（東京都市大）・伊藤和也・吉川直孝・若林晋平・末政直晃

●９月２日（水）　午前（II）の部　第 16 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑧】 10:45 ～ 12:15
座　長：竹村　次朗（東京工業大学）

690 水平力を受ける組杭周辺の地盤挙動の観察
梅沢圭佑（長岡技科大）・松村　聡・水谷崇亮・大塚　悟・及川　隆・青木伸之

691 簡易基礎（T-Root 工法）における載荷試験と再現解析
中西　誉（大成建設）

692 ウォータージェット併用バイブロハンマ工法で打設する先端根固め鋼管杭のセメントミルクジェットの圧力損失について
山下久男（調和工業）・菊池喜昭・森川嘉之・水谷崇亮・森安俊介

693 杭先端部に配置したずれ止め筋が杭の挙動に与える影響
篠永龍毅（港空研）・松村　聡・水谷崇亮

694 小規模構造物基礎杭の簡易打設方法
鈴木啓晋（JR 東日本）

695 深礎杭無人化施工システムの開発と試験施工
原　隆史（岐阜大）・沢田和秀・八嶋　厚・細川大治・辻　八郎・今塩屋勝・小倉　功・大高範寛

696 鉄道営業線に近接した高性能型マイクロパイル工法の施工
粕谷悠紀（大林組）・稲川雄宣・高橋真一・山本　彰・渡辺郁夫

●９月３日（木）　午前（I）の部　第 16 会場
【地盤材料－粘性土①】 9:00 ～ 10:30
座　長：川口　貴之（北見工業大学）

177 崩壊性地すべり地におけるハロイサイト含有粘土の力学特性
飛田哲男（京大）・王　功輝・鈴木毅彦・千木良雅弘

178 汽水性粘性土の強度特性
西田浩太（東亜建設工業）・平林　弘・田中洋行

179 繰返し一面せん断を受けた粘性土のせん断弾性係数の変化
荻野俊寛（秋田大）・西尾伸也・高橋貴之・及川　洋

180 繰返し一面せん断試験による海底堆積土試料の強度特性
浅見匡俊（日大）・高橋俊博・三田地利之・西尾伸也

181 サクションの減少による粘性土のせん断強度の変化
齊藤　舜（北大）・田中洋行

182 締固めエネルギーの変化が飽和度に及ぼす影響に関する研究
永井裕之（安藤ハザマ）・三反畑勇

183 非線形コントラクタンシー表現式を用いた弾塑性構成モデルの破壊規準の改良
京川裕之（鹿島建設）・大野進太郎・飯塚　敦

184 室内ベーンせん断強さに及ぼすベーン回転速度及び過剰間隙水圧の影響
平林　弘（東亜建設工業）・田中政典

●９月３日（木）　午前（II）の部　第 16 会場
【地盤材料－粘性土②】 10:45 ～ 12:15
座　長：荻野　俊寛（秋田大学）

185 深海底デコルマ帯の変質を考慮したせん断破壊モデル
戎　健次（神戸大）・杉山友理・佐々木陽亮・飯塚　敦・河井克之

186 スメクタイトの変質作用がデコルマ帯におけるせん断特性に及ぼす影響
佐々木陽亮（神戸大）・杉山友理・戎　健次・飯塚　敦・河井克之

187 粒子電荷による粘土のせん断強度発現機構に関する研究
中山　雅（岩手大）・大河原正文

188 リングせん断試験による層理面の静的および動的残留強度特性
山本拓矢（山口大）・鈴木素之・大谷直毅・井上優朋・Van Hai Nguyen

189 圧縮・圧密特性を考慮した海面処分場に用いる遮水地盤材料の研究
村上博紀（広島大）・土田　孝・高橋源貴

190 海成粘土にゼオライト及びベントナイトを混合した遮水地盤材料の吸着性能
高橋源貴（広島大）・土田　孝・村上博紀

191 セメント固化処理土の力学特性に及ぼす水素イオン濃度の影響
島村章吾（応用地質）・渡部要一・金子　崇・三上武子

192 製鋼スラグを用いた地盤改良特性に関する実験的研究
田辺和康（福山大）・吉澤千秋・渡辺哲哉・須藤達也・牧平暢之

●９月３日（木）　午後（I）の部　第 16 会場
【地盤材料－粘性土③】 13:15 ～ 14:45
座　長：大向　直樹（応用地質）

193 分子動力学法による粘土のコンシステンシー特性のメカニズムに関する研究
齊藤康明（岩手大）・大河原正文・曽我健一・三田地利之

194 アッターベルグ限界に粒度を加えた粘性土の物理特性の表示と乱さない粘性土の圧縮指数
斎藤孝夫（八戸工大）・熊谷浩二・池本栄一

195 東京周辺沖積粘性土の粒度とアッターベルグ限界の特徴と乱さない粘性土の圧縮指数の関係
熊谷浩二（八戸工大）・斎藤孝夫・池本栄一

196 主として青森県東部地域における沖積粘土の粒度・アッターベルグ限界と圧縮指数との関係
池本栄一（東北基礎調査）・斎藤孝夫・熊谷浩二

197 コンシステンシー限界と細孔径分布との関係について
田中政典（港空研）・渡部要一・中島美代子

198 Rheological characteristics of high water content clayey soils
ダブル ウイラクーン（北大）・田中洋行

199 電気化学的作用を受けた浚渫土のコンシステンシー限界の変化特性
桑原拓馬（東亜建設工業）・御手洗義夫

●９月３日（木）　午後（II）の部　第 16 会場
【地盤材料－粘性土④】 15:00 ～ 16:30
座　長：金田　一広（竹中工務店）

200 関口・太田による弾・粘塑性構成モデルにおける応力緩和項の定式化について
平田昌史（前田建設工業）・飯塚　敦・太田秀樹

201 飽和したベントナイトの一次元圧縮・膨潤挙動のモデル化に関する考察
田中幸久（電力中研）

202 中空ねじり試験機による遮水地盤材料のせん断変形後の水平方向透水係数についての研究
片山遥平（広島大）・許　博喆・土田　孝・村上博紀

203 撹乱・減容化工法の開発－海外の試料を用いた撹乱による減容化効果の検証－
木内大介（東亜建設工業）・御手洗義夫・田中洋輔・西田浩太

204 Isotach ／ TESRA 型粘性のひずみ空間多重せん断モデル（Cookie モデル型）への組込み
井合　進（京大）

205 軟弱粘性土の非排水繰返しせん断特性の把握
長谷川将之（名大）・中井健太郎・野田利弘・小川大貴・潮崎彰太

206 地震後長期圧密沈下予測のための構造を有する粘性土地盤の繰返しせん断挙動の把握
西間友洸（北大）・菊地侑希・磯部公一

●９月１日（火）　午前（I）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑨】 9:00 ～ 10:30
座　長：渡邊　徹（大成建設）

697 本設杭に用いるソイルセメント柱列壁の支持力特性に関する研究
荒川　真（大林組）・渡邉康司・石井雄輔・水本　実・佐藤真弘・榎本浩之

698 本設杭に用いるソイルセメント柱列壁の水平抵抗に関する研究
渡邉康司（大林組）・石井雄輔・水本　実・佐藤真弘・荒川　真・榎本浩之

699 ソイルセメントＨ形鋼杭の支持力・沈下特性に関する検討
古賀翔平（大林組）・渡邉康司・山本忠久・北出啓一郎

700 杭－鋼矢板複合基礎の水平、モーメント抵抗発現メカニズムに及ぼす杭表面粗度の影響
山本洋介（東工大）・竹村次朗・関　栄

701 金沢港（大野地区）岸壁（-13m）下部築造工事における近隣施設を考慮した WJV 工法について
杉村佳寿（国土交通省 北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所）・南　靖彦・伴　孝宏・水谷崇亮・山下久男・田邉貢一郎・山田邦明・宮崎賢治・友田尚貴・西村健二

702 金沢港（大野地区）岸壁（-13m）下部築造工事における環境に配慮した改良 CJV 工法について
伴　孝宏（国土交通省 北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所）・杉村佳寿・田邉貢一郎・南　靖彦・山田邦明・宮崎賢治・菅　遥洋・西村健二・山下久男・水谷崇亮

703 金沢港（大野地区）岸壁（-13m）下部築造工事における急速載荷試験での桟橋構造岸壁の支持力性能確認について
南　靖彦（国土交通省 北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所）・杉村佳寿・田邉貢一郎・伴　孝宏・山田邦明・伊藤克浩・橘　涼慈・石田道昭・山下久男・水谷崇亮

●９月１日（火）　午前（II）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑩】 10:45 ～ 12:15
座　長：松本　樹典（金沢大学）

704 遠心載荷実験における粘土地盤の基礎根入れが杭応力に及ぼす影響
尾高大介（東工大）・田村修次・眞野英之・社本康広

705 薄層に支持される鋼管ソイルセメント杭の現場載荷試験の再現解析
金道純一（大阪大）・小田和広

706 変位ポテンシャル法による多層地盤中の鉛直力を受ける節杭を有するパイルドラフトの沈下解析
平井弘義（応地研）

707 深い軟弱地盤上の橋の杭基礎の長期沈下の推定方法と補強方法
塩井幸武（八戸工大）・矢部正明

708 杭の先端支持力に着目した三次元解析　－ 4 本杭と無限本数杭の杭頭荷重－鉛直変位の関係　－
溜　幸生（東電設計）・藤原覚太・森安俊介・飛田哲男

709 場所打ち杭スライム処理における孔底スライムの挙動
野村光寛（大裕）・辻　宗克・西尾慧太

710 先端および中間部に拡径部を有する杭の荷重－沈下特性の評価
佐野大作（戸田建設）・金子　治

711 鉛直載荷模型実験と地盤の変形解析に基づく杭基礎の鉛直支持力における群杭特性に関する検討
片山　啓（長大）・後藤　茂・青山翔吾・東畑郁生・和田昌大・朴　俊豪

●９月１日（火）　午後（I）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－杭基礎⑪】　13:15 ～ 14:45
座　長：水谷　崇亮（港湾空港技術研究所）

712 The Effect of Container Boundary on Screw Pile Load Test under Different Overburden Pressures
Adnan Anwar Malik(埼玉大)･桑野二郎･渋間康夫･榊原大雅

713 開端杭の内周面に作用する土圧係数の推定に関する模型杭貫入実験
倉科　孝（東京理科大）・菊池喜昭・Janaka J. Kumara・兵動太一・矢島貴大

714 杭先端部の加圧時間と支持力に関する実験的研究
大島竜二（JR 東日本）・池本宏文・高崎秀明・矢島寿一

715 地盤密度が直杭の鉛直支持力・引抜き抵抗力に与える影響の実験的検討
鈴木比呂子（千葉工大）・卜部光平・時松孝次・眞野英之

716 貫入時の軸回転が開端杭の先端閉塞効果に与える影響
佐藤宇紘（熊本大）・菊池喜昭・大谷　順

717 岩盤中に強制圧入した鋼杭の鉛直載荷試験
樫本裕輔（オーク）

718 破砕性地盤における杭の貫入量に着目した支持力特性
桑嶋啓治（徳山高専）・上　俊二・福田　靖

●９月１日（火）　午後（II）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－基礎一般①】　15:00 ～ 16:30
座　長：眞野　英之（清水建設）

612 木杭の支持力特性（その 11）
水谷羊介（兼松日産農林）・中村　博

613 木杭の支持力特性（その 12）
中村　博（兼松日産農林）・水谷羊介

614 細径鋼管で補強された地盤の原位置載荷実験（その 1）－実験概要－
渡邊　徹（大成建設）・長尾俊昌・梅森　浩・長坂光泰・富田菜都美

615 細径鋼管で補強された地盤の原位置載荷実験（その 2）－実験結果－
長尾俊昌（大成建設）・渡邊　徹・梅森　浩・長坂光泰・富田菜都美

616 鋼杭補強防波堤における鋼杭根入れ長さが防波堤の抵抗性に及ぼす影響
喜古真次（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・勝呂基弘・長澤宗一郎・森安俊介・田中隆太

617 鋼杭補強防波堤における鋼杭間隔が防波堤の抵抗性に及ぼす影響
勝呂基弘（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・喜古真次・長澤宗一郎・森安俊介・田中隆太

618 静的載荷実験による電化柱砂基礎の非線形特性の検証
西村隆義（ジェイアール総研エンジニアリング）・酒井大央・原田　智・坂井公俊・室野剛隆

619 コッターによる格子状地盤改良体への水平力伝達機構の破壊形状に関する考察
濱田純次（竹中工務店）・本多　剛・金田一広・谷川友浩

●９月１日（火）　午後（III）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－直接基礎】　16:45 ～ 18:15
座　長：西岡　英俊（鉄道総合技術研究所）

629 飽和砂地盤に埋込まれた直接基礎構造物の地震時応答に与える地下水の効果
鈴木康嗣（鹿島建設）・安達直人

630 格子状地盤改良体の動的挙動に関する遠心模型実験
本多　剛（竹中工務店）・濱田純次・中津紀幸

631 傾斜荷重を受ける浅い基礎の三次元支持力メカニズムの解明と設計法への適用
田中恵祐（熊本大）・古賀快尚・大谷　順

632 繰返し載荷を受けた浅い基礎の支持力・変形挙動
黒木孝洋（徳島大）･高辻祐紀･上野勝利･渦岡良介･鈴木　壽・ソッキアン スレン

633 IG SHAKING TABLE TESTS ON PERFORMANCE OF ROCKING FOUNDATIONS OF BUILDINGS ON SHALLOW GROUND UNDERGOING STRONG EARTHQUAKE
Catherine Kariuki（東大）・松丸貴樹・東畑郁生

634 砕石とジオテキスタイルによる地盤補強工法の支持力特性
神村　真（サムシングホールディングス）・出水孝雄・田部井香月

635 住宅の不同沈下とスウェーデン式サウンディング試験結果の関係
神村　真（サムシングホールディングス）・田部井香月・中田幸男

636 遠心載荷実験における地盤－構造物の動的相互作用と上部構造応答
淵崎仁智（東工大）・田村修次・奥村豪悠・本多　剛

●９月２日（水）　午前（I）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－基礎一般②】　9:00 ～ 10:30
座　長：長尾　俊昌（大成建設）

620 地盤改良を併用したパイルド・ラフト基礎を有する免震建物の非線形地震応答解析
重野喜政（竹中工務店）・濱田純次・中村尚弘

621 小規模建築物基礎の部分載荷に伴う柱状改良体頭部の圧壊挙動およびその対処法について
佐々木修平（住友林業）

622 剛塑性解析法におけるディリクレ条件や変形拘束条件の力学的な意味とその取扱について
蓮池康明（金沢大）・小林俊一・清水彩香・松本樹典

623 軸対称モデルによる杭基礎下部地盤の沈下挙動に関する数値解析
河田雅也（清水建設）・鈴木　裕・髙石　孟・佐久間清文

624 高強度および低強度流動化処理土の強度・変形特性
福田　健（戸田建設）・金子　治・田口智也

625 平板載荷試験と小型 FWD 試験を併用した洪積礫質土の支持層管理
山崎貴之（鉄道･運輸機構）･高野裕輔･石徳隆行･西岡英俊・佐名川太亮

626 洪積礫質土における地盤反力係数の載荷幅依存性
佐名川太亮（鉄道総研）・西岡英俊・山崎貴之・高野裕輔・石徳隆行

627 水平力が作用する直接基礎の鉛直支持力（その 1）鉛直力＋水平力が作用する場合
眞野英之（清水建設）・長谷川正幸・吉成勝美

628 水平力が作用する直接基礎の鉛直支持力（その 2）鉛直力＋水平力＋転倒モーメントが作用する場合
吉成勝美（清水建設）・眞野英之・長谷川正幸

●９月２日（水）　午前（II）の部　第 17 会場
【地盤と構造物－埋設管】　10:45 ～ 12:15
座　長：桑野　玲子（東京大学）

804 破損下水道周辺地盤を対象とした不織布による道路陥没抑制機構に関する基礎的研究
永田孝志郎（熊本大）・椋木俊文・大谷　順

805 液状化地盤におけるマンホールへのドレーン工法の適用性
岡本敏郎（芝浦工大）・嶋田慎司

806 土粒子の流出破壊機構と土のせん断強さの関係について
山崎智哉（東北大）･風間基樹･河井　正･森　友宏･株木宏明

807 液状化時の構造物近傍の埋設管路の動的挙動
浦谷啓太（京大）・芦野貴之・飛田哲男・鍬田泰子・佐藤　清・宮本勝利・砂坂義雄・小西康彦

808 プラスチック製地下雨水貯留槽の耐震性照査の一事例
大淵　亮（群馬大）・若井明彦・屋井裕幸・尾崎昂嗣

809 老朽化した下水道管からの漏水による道路陥没のモニタリングープロファイリング手法に関する基礎的研究
川口廣起（日大）・下辺　悟・齊藤準平

810 地盤の不飽和化による地中構造物の浮き上がり対策効果
渡邉翔太（愛媛大）・岡村未対

811 道路下に形成された空洞と路面の変形機構に関する検討
太田敬一（日本工営）

812 既設マンホールを対象とした鋼棒による浮上抑止工法に関する研究
小林陵平（関東学院大）・規矩大義・山口恵美・喜多島恒・眞田和彦・安田　悟・富岡　崇

●９月３日（木）　午前（I）の部　第 17 会場
【地盤材料－補強材・排水材①】　9:00 ～ 10:30
座　長：宮田　喜壽（防衛大学校）

280 越流に対するジオテキスタイル補強防潮堤の転倒・滑動安定性
小山直輝（八戸工大）・橋詰　豊・金子賢治・間　昭徳

281 防潮堤基礎地盤のジオセルを用いた洗堀対策
葛西康世（八戸工大）・小山直輝・橋詰　豊・金子賢治

282 Research on influence of the point of intersection structure that affects the pull-out resistance of geogrid in soil
田口未由希（神戸大）・植松尚大・片岡沙都紀・澁谷　啓

283 補強土壁に用いるクリンカアッシュに対するジオグリッドの引抜き抵抗特性
草野祐樹（山口大）･鈴木素之･山口恭平･中下明文･中村芳弘・若槻好孝・小浪岳治・中村真司

284 補強盛土一体橋梁における載荷速度の違いに着目したジオテキスタイル気中引張試験
佐々木徹也（鉄道総研）・西岡英俊・小島謙一・加藤久也・木口峰夫

285 帯鋼補強土壁における補強材の腐食に関する調査
市川智史（JFE 商事テールワン）・酒井茂賀・大谷義則・佐藤　登

286 帯鋼補強土壁における補強材の引抜き特性
大谷義則（ヒロセ）・佐藤　登・酒井茂賀・市川智史

287 泥炭地盤上のグラベル材を用いた盛土補強工法
松田圭大（ドーコン）・林　啓二・木幡行宏・久保幹男・倉知禎直・安達謙二

●９月３日（木）　午前（II）の部　第 17 会場
【地盤材料－補強材・排水材②】　10:45 ～ 12:15
座　長：金子　賢治（八戸工業大学）

288 竹チップ混合土における締固め及び強度・変形特性
古賀千佳嗣（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗

289 竹を用いた高含水比浚渫土の改良効果
米丸佳克（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣・古賀新太郎

290 短繊維混合土中の繊維の種類及び長さの違いが強度・曲げ特性に及ぼす影響
古賀新太郎（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣・米丸佳克

291 添加材を混合した連続繊維補強土の耐久性に関する基礎的研究
石垣幸整（日特建設）・三上　登・川口貴之・山下　聡・畑中将志

292 繊維材料の土中内での変形・強度特性
宮本慎太郎（九大）･安福規之･石藏良平･笠間清伸･大嶺　聖

293 粉体粘土および砕石混合による二次シラスの改良効果に関する実験
林　満年（応用地質）

294 舗装下に敷設したジオシンセティックスの通水特性
長谷川圭介（日大）・峯岸邦夫・山中光一

5. ディスカッションセッション（ＤＳ）

ディスカッションセッション（DS）は，特定のテーマにしぼったミニシンポジウム形式のセッションです。集中的な討議が行えるよう配慮したセッションで，本年は以下の 10 セッションを開催いたします（DS7 は欠番）。

各ディスカッションセッションにおける進行次第・話題提供・委員会報告・特別報告・投稿論文発表等の詳細については，「研究発表セッション一覧・プログラム」(☞ pp.14)をご参照下さい。

●DS1「地盤工学会における基準の国際化対応」
日　時： 9 月 1 日（火）16：45～18：15
場　所：第 11 会場（北海道科学大学 G 棟 G308）
主催委員会：ISO 国内委員会
座　長： 今村　聡（大成建設）
副座長： 浅田　素之（清水建設）

●DS2「地盤材料試験の技能評価と精度・ばらつきの実態」
日　時： 9 月 2 日（水）9：00～12：15
場　所：第 5 会場（北海道科学大学 G 棟 G205）
主催委員会：技能試験実施委員会
座　長： 日置　和昭（大阪工業大学）
副座長： 澤　孝平（協同組合関西地盤環境研究センター）

●DS3「歴史的地盤構造物の修復と保全」
日　時： 9 月 1 日（火）9：00～12：15
場　所：第 8 会場（北海道科学大学 G 棟 G304）
主催委員会：ATC19 国内委員会
座　長： 岩崎　好規（地域地盤環境研究所）
副座長： 三村　衛（京都大学)

●DS4「地盤情報データベースの整備とその利活用」
日　時： 9 月 1 日（火）15：00～18：15
場　所：第 4 会場（北海道科学大学 G 棟 G204）
主催委員会：ATC10（Urban Geo-Informatics：都市地盤情報）国内委員会
座　長： 三村　衛（京都大学）
副座長： 北田　奈緒子（地域地盤環境研究所）

●DS5「多発する地盤災害に挑む時間・空間のマルチスケール解析・実験技術」
日　時：９月２日（水）9：00～10：30
場　所：第８会場（北海道科学大学 G 棟 G304）
主催委員会：TC105 国内委員会
座　長：中田　幸男（山口大学）
副座長：森口　周二（東北大学）

●DS6「最近のエネルギー事情と岩盤工学」
日　時：９月２日（水）9：00～12：15
場　所：第 10 会場（北海道科学大学 G 棟 G307）
主催委員会：岩盤工学企画委員会
座　長：鈴木　健一郎（大林組）
副座長：小早川　博亮（電力中央研究所）

●DS8「低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する検討」
日　時：９月１日（火）15：00～18：15
場　所：第５会場（北海道科学大学 G 棟 G205）
主催委員会：低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する研究委員会
座　長：西垣　誠（岡山大学）
副座長：千々松　正和（安藤ハザマ）

●DS9「各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性」
日　時：９月１日（火）9：00～12：15
場　所：第４会場（北海道科学大学 G 棟 G204）
主催委員会：関東支部　各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性に関する研究委員会
座　長：規矩　大義（関東学院大学）
副座長：利藤　房男（応用地質）

●DS10「斜面の凍上対策工の調査・設計に関する研究」
日　時：９月１日（火）13：15～14：45
場　所：第４会場（北海道科学大学 G 棟 G204）
主催委員会：北海道支部　凍上対策工の調査・設計法に関する研究委員会
座　長：小野　丘（北海学園大学）
副座長：佐々木　裕一（北海道三祐）

●DS11「東日本大震災による住宅地被害からの復興」
日　時：９月１日（火）13：15～16：30
場　所：第８会場（北海道科学大学 G 棟 G304）
座　長：安田　進（東京電機大学）
副座長：橋本　隆雄（千代田コンサルタント）

6. 展望（一般開放）

日　時：2015 年 9 月 2 日（水）　14:20～16:10
場　所：ロイトン札幌　ロイトンホール

展望　次第

司会：中田　幸男（調査・研究部長　山口大学）

14:20～15:10
講師：池田 憲二 氏（土木研究所　理事，土木研究所寒地土木研究所 所長）
演題：積雪寒冷地における地盤工学の歩みと展望

15:10～15:20　休憩

15:20～16:10
講師：佃 栄吉 氏（産業技術総合研究所 理事，地質調査総合センター代表）
演題：地下の可視化推進と地質情報利活用に向けた産総研の研究戦略

（講師プロフィール・講演要旨は次ページ以降をご覧下さい。）

展望（一般開放）

開催日時	平成 27 年 9 月 2 日（水）14：20～15：10
開催場所	ロイトン札幌　ロイトンホール
講師	国立研究開発法人　土木研究所　理事　寒地土木研究所長 池田　憲二　氏
講演タイトル	積雪寒冷地における地盤工学の歩みと展望
講演概要	寒地土木研究所は，我が国唯一の寒地土木技術の試験研究機関として 1937 年の発足以来，寒地土木技術に関する先駆的な研究や技術開発を行うとともに，広く国内外の積雪寒冷地に研究成果を普及させることにより土木技術の向上と良質な社会資本の効率的な整備及び北海道開発の推進に貢献してきました。 本講演では，特に泥炭性軟弱地盤をはじめとする積雪寒冷地における地盤工学上の特徴と問題点，先達の業績，最新の研究成果を中心に，積雪寒冷地特有の問題を解決するために取り組んできた技術開発をご紹介します。
講師略歴	 1958 年札幌市生まれ。北海道大学工学部土木工学科卒，博士(工学)。 建設省土木研究所 構造橋梁部基礎研究室研究員，外務省 在フィンランド日本国大使館一等書記官，独立行政法人北海道開発土木研究所 構造部構造研究室長，北海道開発局 札幌開発建設部次長，同建設部 道路建設課長，中国地方整備局 山口河川国道事務所長などを経て 2014 年より現職。 2004 年「常時微動計測に基づく非比例減衰系の非反復構造逆解析と長大吊橋の動特性の理解」により土木学会田中賞(論文部門)受賞，2007 年「Structural Identification of a Non-Proportionally Damped System and its Application to a Full-Scale Suspension Bridge」によりアメリカ土木学会 Raymond C. Reese Research Prize 受賞。

展望（一般開放）

開催日時	平成 27 年 9 月 2 日（水）15：20～16：10
開催場所	ロイトン札幌　ロイトンホール
講師	国立研究開発法人　産業技術総合研究所　理事　（大学連携推進担当） （地質調査総合センター代表） 佃　栄吉　氏
講演タイトル	地下の可視化推進と地質情報利活用に向けた産総研の研究戦略
講演概要	産総研地質調査総合センター（Geological Survey of Japan, AIST）は「地質の調査」のナショナルセンターとして，国の知的基盤整備計画に基づく地質情報の整備，自然災害に強い国づくりのための地質の評価，資源の安定確保や地圏の利用と保全にかかる技術の開発，地質情報の管理と成果の普及，人材の育成をミッションとしています。 平成 27 年度からは以下の重点課題に取り組むことにしています。 ①ボーリングデータ整備とその可視化技術(3 次元地質地盤モデル)の開発 ②海洋資源確保と民間等への橋渡しを目指す海洋調査技術の高度化と標準化 ③火山防災と地熱資源についての多面的な研究 ④国際連携を進め，鉱物資源供給元の多元化を図るとともに，アジア・太平洋地域の地震・津波・火山噴火情報発信等へのリーダーシップを発揮 以上の内容も含め，産総研地質調査総合センターの第 4 期中期計画期間の研究内容の概要とともに，成果の社会還元を促進する取り組みなどを幅広くご紹介します。
講師略歴	 1952 年広島市生まれ。広島大学理学部地学科卒。理学博士。 通商産業省工業技術院地質調査所に入所後，主に活断層研究に従事。近畿・中部地域地質センター長，環境地質部地震化学課長，企画室長，産総研活断層研究センター長，研究コーディネータ，研究統括を経て 2012 年より現職。原子力安全委員会専門委員，文部科学省地震調査研究推進本部専門委員，日本地質学会副会長，土木学会原子力土木委員会委員などを努め，現在は日本学術会議連携会員，文部科学省科学技術・学術審議会臨時委員，日本ジオパーク委員会委員，東・東南アジア地球科学計画調整委員会(CCOP)管理理事会議長，島根県原子力安全顧問。 出版物等：Rupturing history of active faults during the last 1000 years in central Japan （2000），阿寺断層ストリップマップおよび説明書　地質調査所(1993)

7. 特別セッション（一般開放）

「地盤工学会におけるダイバーシティの実現」

少子高齢化による労働力人口の減少に対応した人材確保の観点から，様々な機関・企業が“ダイバーシティ”に取り組んでいます。地盤工学分野においても，人材の確保や多様な市場ニーズへの対応，国際競争力の保持などを実現するために，性別，年齢，国籍，学歴などにこだわらない，人材の多様性を受容・育成するためのダイバーシティの推進が必要です。地盤工学会は 2005 年度から企画部(現 事業企画戦略室)で男女共同参画に取り組み始めました。2010 年には男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会を設立し，多様な人材が活躍できる魅力ある学会を実現するために，様々な取組を行ってきました。本年度は，共に手を携え頑張っている土木学会の取組みや，北海道で働くかたの WLB を紹介するとともに，若手からシニアまで，幅広い世代のダイバーシティについて討議を行います。

日　時：2015 年 9 月 1 日（火）午後 I　13:15～14:45
場　所：第 5 会場（北海道科学大学 G 棟 G205）
主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
共　催：公益社団法人土木学会，一般社団法人土木技術者女性の会，札幌市男女共同参画センター
後　援：男女共同参画学協会連絡会
座　長：和田（工藤）里絵（前委員長，応用地質）
プログラム：

13:15～13:20　ダイバーシティ推進のさきにあるもの
　田中　真弓　(男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会委員長・鹿島建設)
13:20～13:35　土木学会のダイバーシティ推進～行動宣言とその後の展開～
　山田　菊子　（土木学会ダイバーシティ推進委員会幹事長・東京工業大学大学院）
13:35～13:50　夫婦で考える働き盛りのワークライフバランスについて
　田本　修一　（国立研究開発法人　寒地土木研究所）
13:50～14:05　若手ワールドカフェ開催報告～学会の未来を若手が拓く～
　隅倉　光博　（清水建設）
14:05～14:20　シニア会員継続WGからシニア活性化委員会へ　　経過と展望
　渋木　雅良　（応用地質）
14:20～14:45　質疑応答，討議

“サロン・土・カフェ W”のご案内(☞ 詳細は pp.58 をご覧ください)

毎年大好評のお茶会を今年も実施します。地盤工学に関わる女性たちが，お茶とお菓子をいただきながら，意見交換などを行うことで人と人との繋がりを深めることを目的としています。地盤工学会の会員以外の方や，男性の方もぜひご参加ください。

日時：2015 年 9 月 1 日（火）　15:00～16:30
場所：北海道科学大学　G 棟 2 階　オープンスペース
費用：300 円（当日、会場で徴収いたします。お菓子の持ちこみ大歓迎）

「汚染水対策・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラムの必要性」

地盤工学は原子力事業の支援技術の一つとして，地下水流動予測や各種地盤改良工法等の技術を通じて被災した福島第一原子力発電所における諸課題の解決に寄与している。これに加えて，被災原子炉の廃止措置に至る今後の過程でも，燃料デブリ取出しの補助技術，地下掘削技術や放射性廃棄物処分技術で重要な役割を果たすことができる。このような背景から地盤工学会では，事故を起こした原子力発電所の廃止措置に向けて，地盤工学の観点から原子力工学技術者と協働し活躍できる人材の育成を進めるべく，文部科学省「国家課題対応型研究開発推進事業」『廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費』申請し，2014 年度フィージビリティスタディに採択された。本特別セッションでは，今後，地盤工学の観点から展開されるべき廃止措置に寄与する研究内容や原子力技術者と協働できる新しい地盤技術者の育成方針について議論する。議論を活発化するために，建設会社および原子力分野の技術者から，廃止措置に向けた人材育成の考え方や方針についてショートプレゼンテーションを行っていただく。これを受けて，フロアーからの活発な意見交換を行い，地盤工学の観点から，被災原子炉の廃止措置に向けた研究・技術開発展開や人材育成の方向性を見出したい。

日　時：2015 年 9 月 1 日（火）午後Ⅲ　16:45～18:15
場　所：第 8 会場（北海道科学大学 G 棟 G304）
主催委員会：福島第一原子力発電所汚染水問題に関する会長特別懇談会
座　長：東畑　郁生（委員長，関東学院大学）
副座長：小峯　秀雄（座長，早稲田大学）

プログラム：

16:45～16:50	開会挨拶（本特別セッションの主旨説明等）	小峯　秀雄　（早稲田大学）
【以下，司会　小峯　秀雄（早稲田大学）】		
16:50～17:10	JGS 文科省廃炉プロジェクトの概要紹介	東畑　郁生（関東学院大学）
17:10～17:30	廃止措置に向けた人材育成	樋口　義弘（清水建設） 深谷　正明（大林組） 朝野　英一（原子力環境整促進・資金管理センター）
17:30～18:10	フロアーディスカッション	
18:10～18:15	総括および今後の展望	小峯　秀雄（早稲田大学）

「断層の問題　～地盤工学は何ができるのか～」

断層問題に関する理工学合同委員会は，理学と工学の狭間にある断層問題について，社会的な視座を持って，その本質を平易に解説する書籍を執筆・刊行することを目的として，（公社）地盤工学会，（一社）日本応用地質学会，（公社）日本地震工学会が連携・協働する組織です。

断層問題については，活断層の認定，活動性や変位の評価，対処の方法等について多様な意見が存在いたします。このセッションでは，編集や執筆に携わる者の中から数名をパネリストに選び，共通認識が確立されていないテーマについて討論を行います。

どなたでも参加いただけます。

日　時：2015 年 9 月 2 日（水）午前Ⅱ　10:45～12:15
場　所：第 8 会場（北海道科学大学 G 棟 G304）
主催委員会：断層問題に関する理工学合同委員会
座　長：國生　剛治（委員長，中央大学・名誉教授）
副座長：大塚　康範（副委員長，応用地質）

プログラム：

10:45～10:50　趣旨説明　　國生　剛治（中央大学）
10:50～11:40　パネラーの話題提供
東畑　郁生（関東学院大学・教授，地盤工学会会長）
大津　直（北海道立総合研究機構・地質研究所・研究主幹）
添田　孝史（サイエンス・ライター）
奈良林　直（北海道大学・原子炉工学・教授）
谷　和夫（東京海洋大学・教授）
11:40～12:10　フロアーディスカッション
12:10～12:15　書籍の宣伝　　大塚　康範（応用地質）

「平成26年度道路保全地盤技術向上に資する調査・研究成果報告」

地盤工学会では，多岐にわたる活動領域での調査・研究事業を行っており，その一環として，平成 24 年度から平成 28 年度までの期間において，「我が国の道路保全技術の向上に資する調査研究事業」に係る日本国内の 45 歳以下の研究者・技術者を対象に，学会が指定する下記の 3 テーマを調査研究課題とする研究助成事業を実施することになっています。

（調査研究課題：地盤工学会が指定する 3 テーマ）

① 切土・盛土部における道路保全技術に関する研究

② 橋梁との接合部における道路保全技術に関する研究

③ 道路下に敷設された埋設物や道路の陥没に関連する道路保全技術の研究

「平成 26 年度 道路保全地盤技術向上に資する調査・研究」については，第 50 回地盤工学研究発表会にて成果報告会を開催し，研究成果の発表の場を設けました。

日　時：2015 年 9 月 2 日（水）午前 I　9：00～10：30

会　場：第 4 会場（北海道科学大学 G 棟 G204）

主催委員会：平成 26 年度道路保全地盤技術向上の調査・研究助成審査委員会

座　長：岡村　未対(委員長，愛媛大学)

プログラム：

9:00～ 9:05 開会挨拶 岡村未対（愛媛大学）

9:05～ 9:20 高速走行中に撮影した画像を用いた路面の健全性・平坦性評価システムの開発 一井康二（広島大学）

9:20～ 9:35 気候変動への対応を視野に入れた盛土内水位予測モデルの開発 西村　聡（北海道大学）

9:35～ 9:50 下水道管渠の老朽化に起因する道路陥没の対策工法の提案に関する研究 椋木俊文（熊本大学）

9:50～ 10:05 真空圧密を併用した盛土の施工における泥炭の強度増加とその推定に関する研究 荻野俊寛（秋田大学）

10:05～ 10:30 質疑応答

「平成26年度地盤工学会賞受賞者講演」

平成 26 年度地盤工学会賞は平成 27 年 3 月 13 日の理事会において 14 件の受賞を決定し，第 57 回通常総会（6 月 11 日）で表彰を行いました。第 50 回地盤工学研究発表会にて受賞者講演を開催し，受賞業績の内容紹介の場を設けました。

日　時：2015 年 9 月 2 日（水）午前Ⅱ　10:45～12:15
会　場：第 4 会場（北海道科学大学 G 棟 G204）
主催委員会：平成 26 年度表彰委員会
座　長：三村　衛(委員長，京都大学教授)

プログラム：

10:45～10:50　平成 26 年度地盤工学会賞に関する報告　三村　衛（京都大学）
10:50～10:55　道路維持管理における放射性物質で汚染された発生土砂の土壌洗浄技術による処理・減容化に関する取組み　熊田正次郎（福島県土木部）
10:55～11:00　災害廃棄物・津波堆積物の復興資材としての再利用に向けた取組－石巻ブロック災害廃棄物処理業務について－　鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木・若築・橋本・遠藤 特定共同企業体
11:00~11:05　三陸鉄道における地盤構造物による災害復旧工事（耐震・津波抵抗性の向上）　(独)鉄道建設･運輸施設整備支援機構
11:05~11:10　土砂災害の警戒避難支援のための斜面崩壊の予兆検知システム　内村太郎（東京大学）
11:10~11:15　小径倍圧型水圧ピストンサンプラー　正垣孝晴（防衛大学校）
11:15~11:20　生態地盤学の創成と展開に関する研究　佐々真志（港湾空港技術研究所）
11:20~11:25　震災履歴を有する河川堤防 20km における地盤調査地点を考慮した液状化危険度解析とその有効性検証　大竹　雄（新潟大学）
11:25~11:30　溶存イオンデータの多変量解析に基づいた広域地下水流動系の評価　神谷浩二（岐阜大学）
11:30~11:35　固体系廃棄物の地盤工学的有効利用における遮水性コーティングの可能性　稲積真哉（明石工業高等専門学校）
11:35~11:40　Stability of caisson-type breakwater foundation under tsunami-induced seepage　佐々真志（港湾空港技術研究所）
11:40~11:45　Centrifuge model tests on piled raft foundation in sand subjected to lateral and moment loads　澤田幸平（大成建設）
11:45~11:50　地盤と構造物の耐震性評価の信頼性向上を目的とした既往の大規模地震において被災地点に作用した地震動の評価　秦　吉弥（大阪大学）
11:50~11:55　2011 年東北地方太平洋沖地震における地震動特性　後藤浩之（京都大学防災研究所）

8. 特別講演会（一般開放）

日　時　：　平成 27 年 9 月 2 日（水）16 時 30 分～17 時 40 分
会　場　：　ロイトン札幌　3F　ロイトンホール
講　師　：　チェンバロ奏者・現代版北前船プロジェクト 代表
　　明楽（あけら）　みゆき　氏
演　題　：　「北前船の軌跡がつなぐ　海の道の未来」

講演概要　：

江戸時代中期から明治時代の中期にわたり北海道と大阪などを日本海経由で結び，近世の物流を一手に担ってきた「北前船」。板子一枚下は地獄と言われた危険な航海に挑みながら，各寄港地に新しい文化の風を吹き込みました。最大の交易品であったニシンや昆布の積み出しで北の港は賑わい，寄港地の繁栄の基礎が築かれました。

新しい時代の波にのまれ,北前船が姿を消して，130 年余り。「現代版北前船プロジェクト」では，北前船の忘れかけられていた歴史・文化を再認識するとともに，この壮大なロマンを現代によみがえらせる活動を行っています。ひとつで繋がる海を活かし，日本の各地域が単なる物流だけでなく，人，文化，芸術，食で地域間の交流がなされ，新たに北海道と各地を結ぶ活力が生まれたなら，どんなに素敵なことでしょう。講演では，北前船の歴史と当プロジェクトが行っている各種の文化交流の取組みを紹介します。北前船主であった 5 代前の先祖の想いを北前船と同時代のチェンバロの音色に乗せて・・・。

チェンバロ

講師　プロフィール：

京都生まれ。大阪音楽大学音楽学部卒業。同学部専攻科修了。大阪音楽大学附属音楽院，大学講師を経て現在札幌にてフリー活動。

V.マルグリス氏（独・フライブルク音楽大学）に師事しアーティストディプロマ取得。フランス国立リヨン・オペラ座管弦楽団及びブリュッセルカルテットのメンバー，古楽集団との共演を始め多数の国内外音楽祭に出演し，好評を博す。2001 年より美術作家とのコラボレーションシリーズ，時計台ニューイヤーシリーズのプロデュース開始。「音と言葉の絆プロジェクト」にて朗読とチェンバロ即興演奏による公演，各地の美術館との多彩なコンサート企画を多数開催。ベルギーを始め欧州各地にてチェンバロコンサート開催。

江戸時代，北海道と大阪を日本海で繋いだ北前船をテーマに，2010 年全国各地の歴史と文化を繋ぐ「現代版北前船プロジェクト」を立ち上げる。各地での文化交流を含む経済交流を通して，異業種間の連携と未来を見据えた地域振興を展開中。

北前船文化交流公演の終着点として 2010，2011 年京都・東福寺にてコンサート。

読売 24 時間テレビ京都会場のメインアーティストとして募金支援コンサート開催。

2012 年 4 月 CD「音楽の花束」をリリース。東日本大震災で親を亡くした子供たちを守る「みやぎこども基金」に収益を寄付の為，2012 年 4 月より限定発売。

北海道神宮，小樽住吉神社，小樽能楽堂，小樽龍徳寺，札幌護国神社を始め，世界遺産天龍寺，建仁寺など全国各地の歴史的建造物にて北前船公演「歴史と音楽のひととき」 開催。4 月岐阜郡上八幡，5 月京都建仁寺公演。ソリスト，通奏低音奏者として活躍。

2014 年 バロック公演にて 札幌市民芸術祭大賞受賞。北海道大学総合博物館市民セミナー講師。古楽研究会「Origo et practica」，日本イタリア古楽協会に所属。

9. 交流会

地盤技術者や研究者の懇親を目的とした交流会を行います。お誘い合わせの上，是非ご参加ください。

日　時　：　9 月 2 日（水）18:00～20:00　（14:00 受付開始）

会　場　：　ロイトン札幌　3F　ロイトンホール　（☞ pp. 10）

＊交流会の前に開催される展望・特別講演会場の隣の部屋になります。事前予約のない方も是非ご参加下さい。

定　員　：　400 名

会　費　：　事前申込み（7 月 31 日まで）6,000 円，大会期間中および当日申込み 7,000 円，ただし学生会員は 2,000 円

申込方法：　事前申込み（7 月 31 日まで）されている方

事前に交流会参加票と領収書をお送りしております。

入場の際は参加票をネームホルダーに入れて入口係員にご提示下さい。

事前申込みをされていない方

総合受付（体育館 ☞ pp.7，交流会当日は 12 時まで），または交流会会場（ロイトン札幌 3F ロイトンホール）の会場受付（☞ pp.10，当日 14 時より受付開始）で，参加のお申込みを受付けております。

交流会参加票を領収書とともにお渡ししますので，会費を現金にてお支払い願います。入場の際は交流会参加票をネームプレートに入れて入口係員にご提示下さい。

ただし，定員に達した場合は，当日のお申し込みをお断りすることがあります。

交流会 次第

平成 27 年 9 月 2 日（水） 18:00～20:00

ロイトン札幌 3F ロイトンホール

14:00 受付開始

18:00 開場

18:10 開会の辞

18:15 実行委員長挨拶

第 50 回地盤工学研究発表会実行委員長 田中 洋行

（北海道大学教授）

18:20 会長挨拶

公益社団法人地盤工学会会長 東畑 郁生

（関東学院大学教授）

18:25 来賓挨拶

国土交通省北海道開発局長 本田 幸一

学校法人北海道科学大学理事長 西 安信

18:40 来賓紹介

18:45 乾杯

公益社団法人地盤工学会 調査・研究部長 中田 幸男

（山口大学教授）

19:15 アトラクション

YOSAKOI ソーラン「粋～IKI～北海学園大学」

19:55 次期開催地代表挨拶

第51回地盤工学研究発表会実行委員会相談役 西垣 誠

（岡山大学教授）

20:00 閉会の辞

第 50 回地盤工学研究発表会実行副委員長 木幡 行宏

（室蘭工業大学教授）

（開会時刻は調整されることがございます。あらかじめご了承下さい）

10. 技術展示コーナー(一般開放)

地盤工学に関する技術の発展はめざましく，新しい施工法，材料，調査法，試験法，設計法，解析法や防災，環境保全に関する技術などが各機関で開発されています。そこで，各機関にこのような技術を紹介していただき，このコーナーで意見を交わしていただくことが，互いの技術の進歩と地盤工学・技術の発展につながると考え，「技術展示コーナー」を企画しました。

技術展示コーナー会場内には，特別会員 PR コーナー(詳細は**「11.特別会員 PR コーナー」** ☞ pp.55)，スタンプラリー，無料ドリンクコーナー，物産販売および休憩・商談スペース（G-CPD 登録機も併設）も設置してあり，ちょっとした打ち合せや休息，昼食の場としてもご利用いただけます。

技術展示コーナー開会に当たっては，開会式を実施します。

開 催 日 ： 9 月 1 日（火）9：00～18：30
9 月 2 日（水）9：00～12：00
9 月 3 日（木）9：00～15：00

会 場 ： 北海道科学大学 体育館（☞ pp. 7）

展示内容： 出展者 59(53 ブース)による実物・模型・パネル・ビデオなどによる最新技術の展示紹介および意見交換

開 会 式： 9 月 1 日（火）9：00～9：15

ご挨拶：公益社団法人地盤工学会会長 東畑 郁生

出展企業等の一覧

出展企業等は，次の一覧表に示すように，59団体で53ブースとなっています。出展者番号は，(☞ pp.7) に示すブース番号と対応しています。出展内容等の詳細については，別冊「技術展示のしおり」をご覧下さい。

出展者の一覧

ブース番号	出展企業等名
1	(株) 不動テトラ
2	(株) 技研製作所
3	TRD 工法協会
4	三信建設工業 (株)
5	静的圧入締固め工法 (CPG 工法) 研究会
6	X-JET 協会
7	SUPERJET 研究会
8	日特建設 (株)
9	(株) 加藤建設
10	日本基礎技術 (株)
11	真空圧密ドレーン工法研究会
12	WILL 工法協会
13	(有) アサヒテクノ
14	日鉄住金セメント (株)
15	(一社) セメント協会
16	既設アンカー緊張力モニタリングシステム研究会
17	VSL 協会，ブイ・エス・エル・ジャパン (株)
18	KJS 協会，アンカー補修協会
19	(株) エスイー
20	フロテックアンカー技術研究会
21	東日本旅客鉄道(株)，ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)，鉄建建設(株)，(株)ジェイテック
22	
23	鹿島建設 (株)
24	あおみ建設 (株)
25	前田工繊 (株)
26	新江州 (株)，(一社)国土環境保全機構 JEPro
27	北海道科学大学

ブース番号	出展企業等名
28	テラグリッド研究会
29	多数アンカー式補強土壁協会
30	ヒロセ (株)
31	大成建設 (株)
32	(株) 大林組
33	西松建設 (株)
34	清水建設 (株)
35	(株) マイダスアイティジャパン
36	(株) 地層科学研究所
37	FLIP コンソーシアム
38	JIP テクノサイエンス (株)
39	(株) シーウェイエンジニアリング，ジーエスアイ (株)
40	(株) アーク情報システム
41	五大開発 (株)
42	寒地土木研究所
43	中央開発 (株)
44	(株) マルイ
45	(株) ダイヤコンサルタント
46	(株) 共和電業
47	GoTEN コンソーシアム
48	川崎地質 (株)
49	(株) レアックス
50	応用地質 (株)
51	ジオ・ラボネットワーク
52	(株) ワイビーエム
53	基礎地盤コンサルタンツ (株)

11. 特別会員ＰＲコーナー(一般開放)

地盤工学会の特別会員の様々な技術等を紹介するパンフレット・資料を展示，配布する「特別会員 PR コーナー」を設置しております。

場　所：北海道科学大学　体育館（☞ pp. 7）

特別会員 PR コーナー　出展者一覧　（出展者番号は入会順）

【3 級】

1.（株）大林組　札幌支店

2. 矢作建設工業（株）

3.（株）拓和

4. 東急建設（株）技術研究所

【4 級】

5. 明治コンサルタント（株）　本店

6. オリエンタル白石（株）

7. 大林道路（株）

8.（株）エイト日本技術開発

9. 日本物理探鑛（株）

10. 新日鐵住金（株）

11. 錦城護謨（株）

12. 山北調査設計（株）

13. 日特建設（株）札幌支店

14. 丸藤シートパイル（株）

15. 海洋工業（株）

16. 兼松日産農林（株）

17. 全国マイ独楽工業会

18.（一社）北陸地域づくり協会　技術部

19. （株）測機社

20.（株）クラレ

21. KTB 協会

22. 東京インキ（株）

23.（株）東京測器研究所　大阪営業所

24. DJM 工法研究会

25. ジェコス（株）

26. 西日本高速道路ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ四国（株）

27. 岡本興業（株）

28. 東洋建設（株）　鳴尾研究所

29.（株）MLT ソイル

30. 中林建設（株）

31. 大東建託（株）　設計部

32. 小規模構造物液状化被害軽減工法研究会

33.（株）ランドクラフト

34. 原子力発電環境整備機構

35. NPO 住宅地盤品質協会

特別会員 PR コーナー　出展目録

【3 級】

1. （株）大林組　札幌支店
   1）URUP 工法カタログ
   2）ジオフレックスドリル工法カタログ

2. 矢作建設工業（株）
   1）CABWALL 工法カタログ
   2）PANWALL 工法カタログ

3. （株）拓和
   1）地下流水音測定装置カタログ
   2）会社案内

【4 級】

4. 東急建設（株）技術研究所
   1）東急建設　技術研究所報 No.40
   2）東急建設　CSR 報告書 2014

5. 明治コンサルタント（株）　本店
   1）Merex-D (拡散レーザ変位計) カタログ
   2）Merex-CR (Area net 傾斜計) カタログ

6. オリエンタル白石（株）
   1）ニューマチックケーソン工法カタログ
   2）補修補強カタログ

7. 大林道路（株）
   1）アイストッパーカタログ
   2）オークドレーンカタログ

8. （株）エイト日本技術開発
   1）分光測色計を用いた酸性水発生岩の識別カタログ

9. 日本物理探鑛（株）
   1）会社案内
   2）磁気探査カタログ

10. 新日鐵住金（株）
    1）新日鉄住金の鋼管杭・鋼管矢板工法
    2）新日鉄住金の鋼製壁体

11. 錦城護謨（株）
    1）キャッスルボードドレーンカタログ
    2）パワーブーストドレーン工法カタログ

12. 山北調査設計（株）
    1）空撮および 3D データの出力
    2）サーモグラフィによる調査方法

13. 日特建設（株）札幌支店
    1）技術総合カタログ
    2）会社パンフレット

14. 丸藤シートパイル（株）
    1）ランドクロス（仮設橋梁）カタログ
    2）RG 杭打機　カタログ

15. 海洋工業（株）
    1）動圧密工法
    2）リフユーズプレス工法

16. 兼松日産農林（株）
    1）環境パイル工法&LP-LiC 工法カタログ

17. 全国マイ独楽工業会
    1）トップベース工法
    2）簡易的支持力試験機エレフット（平板載荷試験の補完試験機）

18. （一社）北陸地域づくり協会　技術部
    1）ほくりく地盤情報システム
    2）フレッシュコンクリート中の単位水量測定器 W/C ミータ MT-400

19. （株）測機社
    1）3D 画像計測統合ソフトカタログ
    2）現場観測機器総合カタログ

20. （株）クラレ
    1）化学接着性防水シート<エバブリッド>・<フィットライナー>
    2）RRR 工法用 <J グリッド>

21. KTB 協会
    1）KTB 工法カタログ
    2）PC フレーム工法カタログ

22. 東京インキ（株）
    1）GIB 工法
    2）テラセル工法

23. （株）東京測器研究所　大阪営業所
    1）間隙水圧測定センサカタログ　小型間隙水圧計
    2）地盤剛性測定システムカタログ　小型 FWD システム

24. DJM 工法研究会
    1）DJM 工法カタログ
    2）DJM 工法技術資料

25. ジェコス（株）
    1）Eco ラム工法カタログ

26. 西日本高速道路エンジニアリング四国(株)
    1）道路性状測定車（イーグル）カタログ
    2）J システムカタログ

27. 岡本興業（株）
    1）重金属吸着・不溶化材カタログ

28. 東洋建設（株）　鳴尾研究所
    1）ドラム型遠心載荷津波水路

29. （株）MLT ソイル
    1）MLT 工法パンフレット
    2）工事経歴書

30. 中林建設（株）
    1）全天候フォレストベンチ工法カタログ
    2）施工実績写真集・施工単価・Q&A 資料

31. 大東建託（株）　設計部
    1）大東建託オリジナル鋼管杭のご紹介

32. 小規模構造物液状化被害軽減工法研究会
    1）K-gen 工法カタログ
    2）SMUP 工法カタログ

33. （株）ランドクラフト
    1）SWS サンプラー・水位計パンフ

34. 原子力発電環境整備機構
    1）パンフレット「知ってほしい今，地層処分」
    2）パンフレット「安全な地層処分の実現を目指して」

35. NPO 住宅地盤品質協会
    1）協会誌「住品協だより vol.9」

12. サロン・土・カフェW（一般開放）

日　時　：2015 年 9 月 1 日（火）15:00～16:30
場　所　：北海道科学大学　G 棟 2 階　オープンスペース
主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
参加費用　：300 円(当日、会場で徴収いたします。お菓子の持ちこみ大歓迎)

内　容
　地盤工学会に所属する女性会員数がどの程度かご存知ですか？会員全体のわずか 3%です。わたしたち男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会では，女性がこの分野でもっともっと活躍することを願っています。
　そこで，地盤工学に関わる女性同士のフェイストゥフェイスの関係を築くべくお茶会を開催します。「サロン・土・カフェW」は地盤工学に関わる女性たちが，お茶とお菓子をいただきながら意見交換を行うことで，人と人のつながりを深めることを目的とした企画です。
　毎年，ダイバーシティに興味のある男性や地盤工学会会員以外のかたもたくさん参加しています。皆さん，奮ってご参加ください。

昨年度北九州大会のサロン・土・カフェ W に参加してくださった皆様

お菓子の確認中「おいしそうな小倉銘菓がたくさん！」

特別セッション（一般開放セッション・参加無料）

『地盤工学会におけるダイバーシティの実現』のご案内

（☞プログラム詳細は pp.44 をご覧ください）

日　時：2015 年 9 月 1 日（火）午後 I　13:15～14:45
会　場：第 5 会場（北海道科学大学 G 棟 G205）
主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
共　催：公益社団法人土木学会，一般社団法人土木技術者女性の会，札幌市男女共同参画センター
後　援：男女共同参画学協会連絡会
座　長：和田（工藤）里絵（前委員長，応用地質株式会社）

13. 見学会

一般の見学ツアーにはない地盤工学会ならではの見学箇所を盛り込んだ 2 つのコースで実施します。

申し込み：

見学会は事前申し込み制で，受付はすでに締め切っております。

服装・所持品など：

汚れても良い服装でお越しください。
天候によっては寒いかも知れませんので，上に羽織るもの（カーディガン・ジャンパーなど）を 1 枚ご持参されることをお勧めします。
1 日コースには，昼食が含まれますので持参不要です。半日コースには昼食は付きませんのでご注意ください。お飲み物は各自ご用意ください。
※　本大会のネームプレートの携行を必ずお願いします。

参加キャンセル時の連絡先：

直前の参加キャンセルは下記へご連絡下さい。

- 連絡先　実行委員会 見学会部会　（部会長：林　憲裕）
- 電話　080-2872-5972（対応可能時間　8:00～17:00）

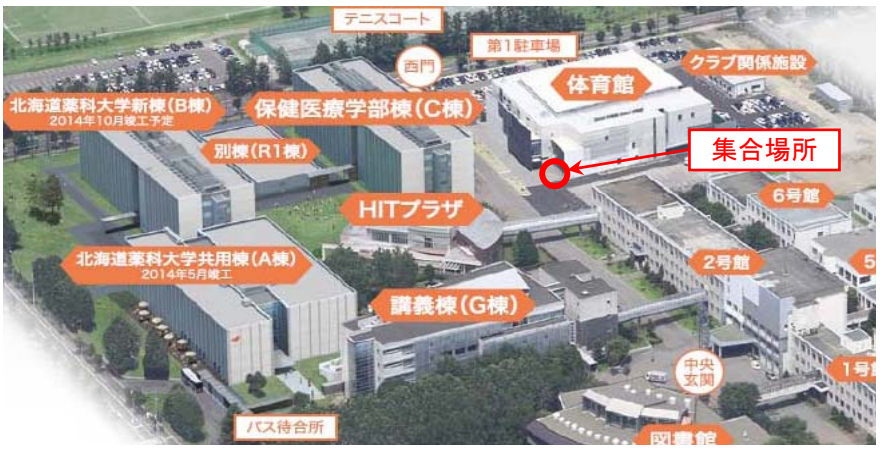
【半日コース】ＬＮＧ基地見学ツアーとＬＮＧ火力発電所の建設現場見学コース

LNG（液化天然ガス）は、そのクリーン性や豊富な埋蔵量などの優位性から日本の基幹エネルギーの一つとして位置づけられています。

現在、将来的な電力の安定供給を目的とした北海道初の LNG 火力発電所の建設が石狩湾新港において進められています。

本コースでは、北海道ガス主催の LNG 基地の見学ツアーおよび北海道電力で現在建設中の LNG 火力発電所の建設現場見学に参加していただく予定です。

日　時：9 月 2 日（水）
定　員：35 名
行　程：13:00 北海道科学大学出発→石狩湾新港（LNG 基地見学ツアーおよび LNG 火力発電所建設現場見学）→17:30 札幌駅到着→17:45 ロイトン札幌（交流会会場）
集　合：12：45　北海道科学大学　体育館入口
解　散：札幌駅またはロイトン札幌
備　考：荒天時はコースを変更する場合があります。



【1 日コース】小樽・余市 土木と歴史浪漫コース

我が国初の本格的外洋防波堤として、100 年以上経った現在も現役として機能している『小樽港北防波堤』、NHK 連続テレビ小説「マッサン」の舞台であり、特殊土「泥炭」との関わりも深い『余市蒸溜所』、NEXCO 東日本が建設中の急峻な山地を通過する『北海道横断自動車道（小樽 JCT～余市 IC 間）』を肌で感じて頂けるコースです。

日　時：9 月 4 日（金）
定　員：35 名
行　程：8:30 札幌駅出発→小樽港（海上見学と資料コーナー見学）→余市蒸溜所ガイド付き見学→（昼食）→北海道横断自動車道（余市 IC～小樽 JCT）現場見学→17:00 札幌駅解散
集　合：8：15　札幌駅北口 鐘の広場
解　散：札幌駅
　　解散後の交通の手配は各自でお願いします。
備　考：荒天時はコースを変更する場合があります。

14. 市民参加行事（一般開放）

「暮らしに役立つ防災への備え！～自然災害は突然に！普段から防災への心構え～」

多くの方に参加していただき，地盤工学や防災について，知識を深め考えいただく機会となるよう，以下の市民参加行事を実施します。
一般の方が自由にご覧頂けます。事前申し込みは不要で入場無料です。
どうぞ会場に直接お越し下さい。

会　場：札幌市北３条広場（アカプラ）　（☞　pp.11）

開催期日：
９月１日（火）11：00～17：00
９月２日（水）10：00～17：00
９月３日（木）10：00～16：00

行事内容：
体験コーナー（降雨体験，地下浸水体験，災害対策車両展示）
パネル展示（防災・地盤に関するパネル展示）

【アクセス】
JR「札幌駅」南口より 徒歩５分
地下鉄南北線「さっぽろ駅」徒歩２分
地下鉄東西線・南北線「大通駅」徒歩５分
札幌駅前通地下歩行空間２番出口／４番出口すぐ

15. インターネット接続

北海道科学大学内では，インターネットの利用が可能です。希望者には総合受付（体育館 ☞pp.7）にて利用のための ID とパスワードを配布いたします。

接続方法

その① 接続方法を選択する

【研究発表会場】

研究発表会場（教室内）では，机上の LAN ポートからの有線接続になります。

なお，LAN ケーブルは総合受付（体育館 ☞ pp.7）にて 100 円で販売しています（数量限定）。

※座席によっては，無線 LAN が利用できる場合がありますが，電波状況は不安定です。

【研究発表会場以外】

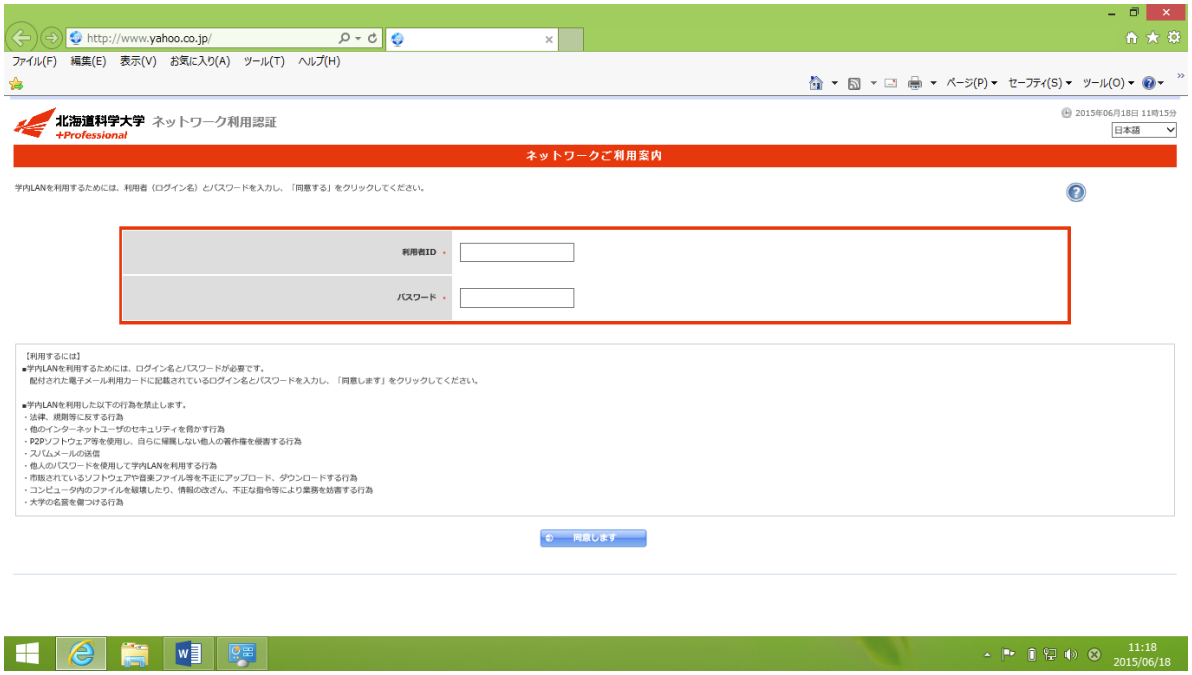
研究発表会場以外（敷地内のほぼ全エリア）では，無線 LAN が利用できます。

利用可能な Wi-Fi から「HUS_WiFi」を選び，セキュリティーキーに「www.hus.ac.jp」と入力してください。

その② ネットワークに接続する

ブラウザを立ち上げ，お好きなページにアクセスしてください。

初回のアクセス時には，以下のようなネットワーク認証画面が表示されますので，配布した「利用者 ID」と「パスワード」を入力してください．これでインターネットへの接続が可能になります。



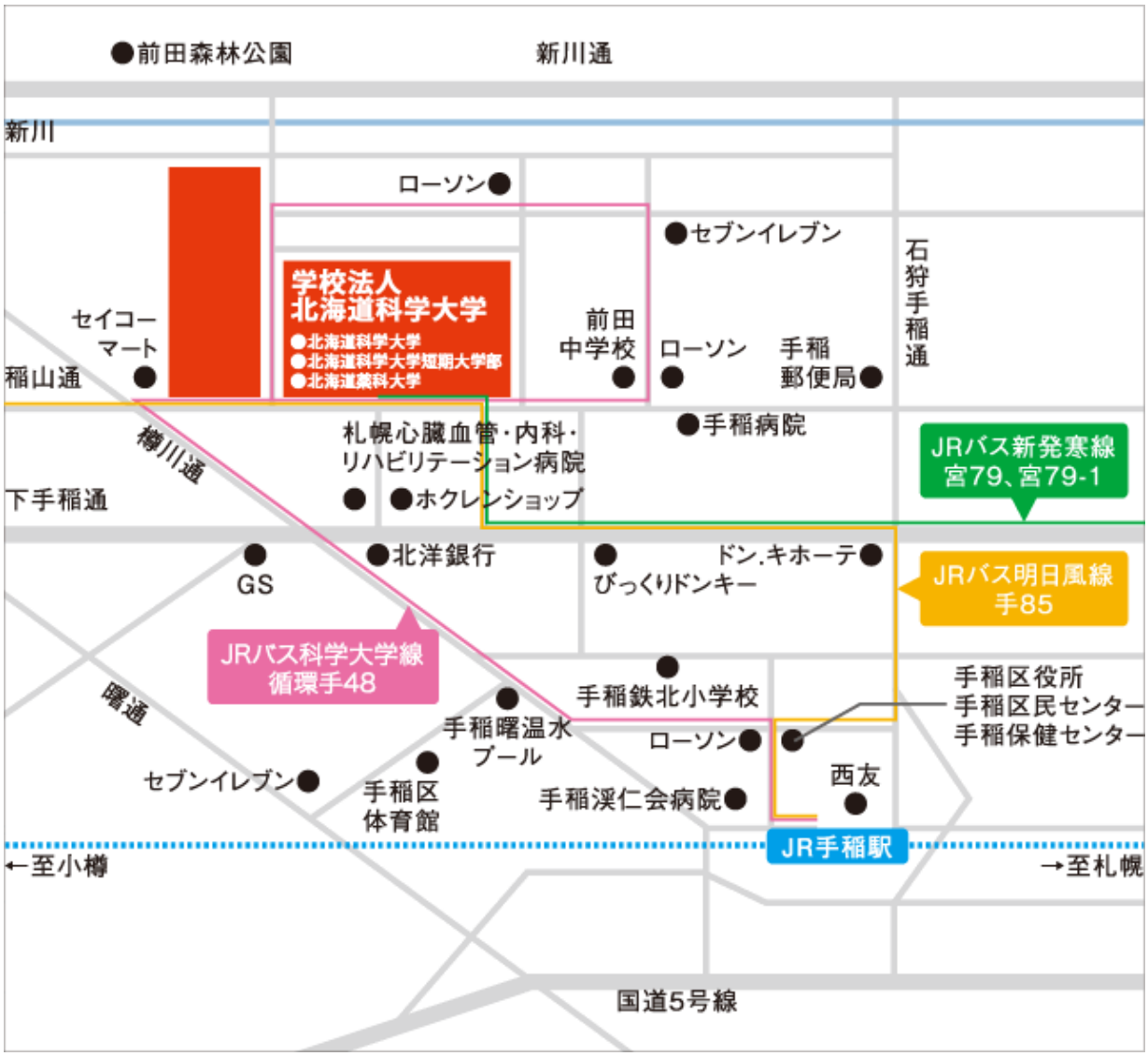
※PC が一定時間以上スリープモードになると，ネットワーク接続が解除されることがあります。

16. 交通案内

会場へのアクセス

a)　北海道科学大学
〒006-8585 北海道札幌市 手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1
大会本部設置（9 月 1 日～3 日）

- JR「札幌駅⇔手稲駅」は約 15 分間隔で運行しています。
- 学会専用バス（無料）を「手稲駅北口⇔北海道科学大学」で運行します。
- 手稲駅までは複数の路線でバスが運行しています。



会場アクセス図

学会専用バス（無料）

手稲駅北口 ⇔ 北海道科学大学

乗場場所：

手稲駅北口：案内スタッフの指示に従ってください

北海道科学大学：体育館横の専用バス停（☞ 巻頭の全体案内図）

その他：

2 日目の 13 時台のみ地下鉄宮の沢駅行で運行します。宮の沢駅からはロイトン札幌へのアクセスが便利です（西 11 丁目駅下車，徒歩 3 分）。（☞ pp.66）

シャトルバス時刻表 9/1（火）1日目

	手稲駅北口発	北海道科学大学発
7	45 50 55	
8	00 10 15 20 25 35 40 45 50	
9	00 15 30 45	00 15 30 45
10	00 15 30 45	00 15 30 45
11	00 15 30 45	00 15 30 45
12	00 15 30 45	00 15 30 45
13	00 15 30 45	00 15 30 45
14	00 15 30 45	00 15 30 45
15	00 15 30 45	00 15 30 45
16	00 15 30 45	00 15 30 45
17	00 15 30 45	00 15 30 45
18		00 15 30 35 40 45 55
19		00

シャトルバス時刻表 9/2（水）2日目

	手稲駅北口発	北海道科学大学発
7	45 50 55	
8	00 10 15 20 25 35 40 45 50	
9	00 15 30 45	00 15 30 45
10	00 15 30 45	00 15 30 45
11	00 15 30 45	00 15 30 45
12		00 15 30 45
13		00※ 15※

※地下鉄 宮の沢駅行

シャトルバス時刻表 9/3（木）3日目

	手稲駅北口発	北海道科学大学発
7	45 50 55	
8	00 10 15 20 25 35 40 45 50	
9	00 15 30 45	00 15 30 45
10	00 15 30 45	00 15 30 45
11	00 15 30 45	00 15 30 45
12	00 15 30 45	00 15 30 45
13	00 15 30 45	00 15 30 45
14	00 15 30 45	00 15 30 45
15	00 15 30 45	00 15 30 45
16	00 15 30 45	00 15 30 45
17		00 15 30 45
18		00

北海道科学大学 ⇒ ロイトン札幌（9/2 のみ）

9 月 2 日（水） 13:00～13:15 観光バスタイプ 5 台運行，先着順に順次発車

※定員に達した時点で乗車をお断りいたします。他の交通機関をご利用ください。

乗場場所：北海道科学大学：体育館横の専用バス停（☞ 巻頭の全体案内図）

路線バス（有料）

■手稲駅北口発

手稲駅北口
↓3番のりば
北海道科学大学乗車時間10分(おおよそ)

[手85]星置駅行　明日風線

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 -
07時 -
08時 -
09時 35
10時 35
11時 35
12時 35
13時 35
14時 35
15時 35
16時 35
17時 -
18時 -
19時 -
20時 -
21時 -

手稲駅北口
↓3番のりば
北海道科学大学乗車時間10分(おおよそ)

[循環手48]手稲駅北口行　科学大学線

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 48
07時 23 43 55
08時 11 35
09時 10 40
10時 10 40
11時 10 40
12時 10 40
13時 10 40
14時 10 40
15時 10 40
16時 10 40
17時 15 45
18時 15 40
19時 13 43
20時 10 50
21時 18 49

■地下鉄宮の沢駅前発

地下鉄宮の沢駅前
↓6番のりば
北海道科学大学乗車時間31分(おおよそ)

[宮79-1]北海道科学大学行　新発寒線
└新発寒５条２丁目→ていねプール前経由

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 -
07時 -
08時 -
09時 30
10時 20
11時 20
12時 20
13時 20
14時 20
15時 20
16時 05 35
17時 -
18時 -
19時 -
20時 -
21時 -

地下鉄宮の沢駅前
↓6番のりば
北海道科学大学乗車時間24～26分(おおよそ)

[宮79]北海道科学大学行　新発寒線
└新発寒５条２丁目経由

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 50
07時 35 58
08時 10 50
09時 -
10時 -
11時 -
12時 -
13時 -
14時 -
15時 -
16時 -
17時 05 35
18時 05 35
19時 38
20時 37
21時 34

■手稲駅北口行

北海道科学大学
↓1番のりば
手稲駅北口乗車時間15分(おおよそ)

[手48]手稲駅北口行　科学大学線
└前田中央通→樽川通経由
[循環手48]手稲駅北口行　科学大学線
└前田中央通経由

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 22 40 58
07時 04 12 22 33 42 53
08時 05 21 45
09時 20 50
10時 20 50
11時 20 50
12時 20 50
13時 20 50
14時 20 50
15時 20 50
16時 20 50
17時 25 55
18時 25 50
19時 23 53
20時 20
21時 00 28 59

北海道科学大学
↓1番のりば
手稲駅北口乗車時間9分(おおよそ)

[手85]手稲駅北口行　明日風線

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 -
07時 -
08時 -
09時 48
10時 38
11時 38
12時 38
13時 38
14時 38
15時 38
16時 38
17時 -
18時 -
19時 -
20時 -
21時 -

■地下鉄宮の沢駅前行

北海道科学大学
↓1番のりば
地下鉄宮の沢駅前乗車時間29分(おおよそ)

[宮79-1]地下鉄宮の沢駅前行　新発寒線
└ていねプール前→新発寒５条２丁目経由

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 -
07時 -
08時 -
09時 26
10時 06
11時 06
12時 06
13時 06
14時 06
15時 01
16時 01
17時 01
18時 11
19時 -
20時 -
21時 -

北海道科学大学
↓1番のりば
地下鉄宮の沢駅前乗車時間23～26分(おおよそ)

[宮79]地下鉄宮の沢駅前行　新発寒線
└新発寒５条２丁目経由

2015年4月1日改正　[平日]

05時 -
06時 11 51
07時 01 09 24 54
08時 04 30
09時 06
10時 -
11時 -
12時 -
13時 -
14時 -
15時 -
16時 -
17時 -
18時 -
19時 01
20時 21
21時 06

b)　ロイトン札幌

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11 丁目

TEL ： 011-271-2711　FAX ： 011-207-3344

- 地下鉄東西線「西 11 丁目駅」徒歩 3 分

札幌市内　地下鉄路線図

c)　札幌市北 3 条広場（アカプラ）

〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目

- JR「札幌駅」・地下鉄「さっぽろ駅」徒歩 5 分
- 地下鉄「大通駅」徒歩 5 分

主　催　
公益社団法人
地盤工学会
http://www.jiban.or.jp

後　援　　国土交通省北海道開発局・北海道・札幌市